注3

大学番号:私026

[平成29年度設置]

計画の区分: 学部の設置

注1



常磐大学 総合政策学部 ^{注2}

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人常磐大学 令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 総務課

トウカッ オオーツキ コキーノリ 職名・氏名 統括 大 槻 行 徳

電話番号 029-232-2517

(夜間) 029-232-2517

F A X 029-231-6078

e — mail soumu@tokiwa.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
 - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

- () 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
- 例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称:◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

大学の設置の場合:「〇〇大学」

・学部の設置の場合:「○○大学 △△学部」

- 学部の学科の設置の場合:「○○大学 △△学部 □□学科」
- ・ 短期大学の学科の設置の場合: 「○○短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合:「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合:「○○大学大学院 ○○研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合:「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合:「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について (依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

巛ᄉ	政策学部	17
邢心 🗀	以宋子口	μ

< 紹	Z営学科>																	$\wedge^{\!\!\!\!\circ}$	ージ
1.	調査対象大学等の概要等・・・	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1
2.	授業科目の概要 ・・・・・・	•	•	•	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	5
3.	施設・設備の整備状況、経費	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1 4
4.	既設大学等の状況 ・・・・・	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	16
5.	教員組織の状況 ・・・・・・	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	18
6.	附帯事項等に対する履行状況等		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	33
7.	その他全般的事項 ・・・・・	•	•	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	35
<注	· 全律行政学科>																	\wedge°	ージ
1.	調査対象大学等の概要等・・・	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	38
2.	授業科目の概要 ・・・・・・	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	42
3.	施設・設備の整備状況、経費	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	51
4.	既設大学等の状況 ・・・・・	•	•	•	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	53
5.	教員組織の状況 ・・・・・・	•	•	•	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	55
6.	附帯事項等に対する履行状況等		•	•	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	72
7.	その他全般的事項 ・・・・・	•	•	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	74
< 総	(合政策学科>																	^ °	ージ
1.	調査対象大学等の概要等・・・	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	77
2.	授業科目の概要 ・・・・・・	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	81
3.	施設・設備の整備状況、経費	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	90
4.	既設大学等の状況 ・・・・・	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	92
5.	教員組織の状況 ・・・・・・	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	94
6.	附帯事項等に対する履行状況等		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	111
7.	その他全般的事項 ・・・・・	•	•	•	•	•	•	• •	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	113

別添資料

7 その他全般的事項(1)設置計画変更事項等別添新旧対照表【常磐大学総合政策学部】

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人常磐大学

- (2) 大 学 名 常磐**大**学
- (3) 調査対象大学等の位置

〒310-8585 茨城県水戸市見和1丁目430番地の1

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を())書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載して ください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変 更 状 況	備考
理事長	(モリ セイイチ) 森 征一 (平成26年11月)	(オビツ シゲヒデ) 小櫃 重秀 (平成31年4月)	任期満了に伴う変更 平成31年4月1日 (元)
学長	(トミタ ノブホ) 冨田 信穂 (平成27年4月)	(トミタ ケイコ) 富田 敬子 (平成31年4月)	任期満了に伴う変更 平成31年4月1日 (元)
学 部 長	(ヒガノ コウキ) 日向野 弘毅 (平成29年4月)	(シオーマサユキ) 塩 雅之 (平成31年4月)	前任者役職昇格に伴う変更 平成31年4月1日 (元)
学科長等	(ムラヤマ モトマサ) 村山 元理 (平成29年4月)		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ()書きで記入してください。
 - (例) 平成30年度に報告済の内容 → (30) 令和元年度に報告する内容 → (元)
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) · 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください (入試 区分ごとではありません)。
 - ・ <u>なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位</u> <u>(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。</u>
 - ・ <u>様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)です</u>が、 完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、 5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を 記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時		備考	
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	1/III
総合政策学部 経営学科	経済学関係	年 4	人 85	年次 一	人 340	
学士(総合政策学)						

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 - ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -(2) 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度	平成29年度	29年度 平成30年度 令和元年度 4		令和2年度	平均入学定員	開設年度から 報告年度まで	備考
区分		春季入学 その他の学期		春季入学 その他の学期	超 過 率	の平均入学定 員超過率	u⊞ ℃
A 入学定員	85人 — 85 (—) [—]	85人 — 85 (—) [—]	85人 — 85 (—) [—]	() []			
志願者数	150 — (—) (—) [—] [—]	179 — (—) (—) [—] [—]	220 — (—) (—) [—] [—]	()()			
受験者数	150 — (—) (—) [—] [—]	179 — (—) (—) [—] [—]	218 — (—) (—) [—] [—]	()()	1. 28倍	_	
合格者数	134 — (—) (—) [—] [—]	166 — (—) (—) [—] [—]	179 — (—) (—) [—] [—]	() ()			
B 入学者数	94 — (—) (—) [—] [—]	115 — (—) (—) [—] [—]	119 — (—) (—) [—] [—]	()()			
入学定員超過率 B/A	1. 10	1. 35	1. 40	·			

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ () 内には、<u>編入学の状況について**外数で**記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「一」を記入してください。
 - 転入学生は記入しないでください。
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 - ・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ 記入してください。完成年度を越えていない場合は「一」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

	対象年度	平成2	9 年度	平成 3	0 年度	令和元	元年度	令和	02年	度	47	備	
学	年	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入	学 そのf	也の学期		IHI .	
		94	_	115	_	119	_						
	1 年次	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[] []			
		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)						
				91	_	118	_						
	2 年次			[-]	[-]	[-]	[-]	[] []			
				(-)	(-)	(5)	(-)	() ()			
						82	_						
	3 年次					[-]	[-]	[] []			
						(-)	(-)	() ()			
	4 年次							[] []			
								() ()			
		9	14	20	06	3	19						
	計	[-]	[-]	[_]]]			
		(—)	(—)	(5)	()			

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
 - ・()内には、 $\underline{\mathbf{BF4}$ の状況について、内数で記入してください。 $\underline{\mathbf{i5}}$ 当がない年には「-」を記入してください。

 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分				内訳) () () () () () () ()
対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	入学した年度	退学	者数	主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
对家年度 \			八子した平反		うち留学生数	
平成29年度	94 人	4 人	平成29年度	4 人	0 人	就職(2人)、他の教育機関への入学(1人)、 就学意欲の低下(1人)
平成30年度	206 人	4 人	平成29年度	3 人	0 人	経済的理由(1人)、就職(1人)、就学意欲の低下(1人)
干成50平及	200 人	4 /	平成30年度	1人	0 人	就学意欲の低下(1人)
			平成29年度	人	人	
令和元年度	319 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
令和2年度	人	,	平成30年度	人	人	
は加工工人			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
合 計		8 人		人	人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)

・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍

- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、<u>留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入</u>してください。
- ・ 在学者数、退学者数には<u>編入学生や転入学生も含めて記入</u>してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(O人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学

・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

2 7 777		
平成29年度の退学者数(a) = 4 平成29年度の在学者数(b) 94	=	4.25 %
【平成30年度】		
平成30年度の退学者数(a) = 4 平成30年度の在学者数(b) 206	=	1.94 %
【令和元年度】		
令和元年度の退学者数(a) = 0 令和元年度の在学者数(b) 319	=	0 %
【令2年度】		
令和2年度の退学者数(a) = 0 令和2年度の在学者数(b) 0	=	#DIV/0! %

(注)・ <u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示</u>されます。

2 授業科目の概要

<総合政策学部 経営学科>

(1)一① 授業科目表

【認可時又は届出時】

				È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科区		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助	
	/,		+ %	修	択	曲	授	教授	師	教	手	兼担
		哲学・倫理学	1-2-3-4前-後	1.0	2		- X	1.2	4,0			1
		人間と宗教	1-2-3-4前-後		2		1					
		文学	1-2-3-4前・後		2							1
	J	·心理学	1-2-3-4前-後		2							1
	文系		1-2-3-4前-後		2							1
	1	歴史学	1-2-3-4前-後		2			1				
		地理学	1-2-3-4前・後		2							1
		言語文化論	1-2-3-4前-後		2							1
	H	法学	1-2-3-4前-後		2							1
		日本国憲法	1-2-3-4前・後		2							1
		経済学	1-2-3-4前-後		2							1
	社		1-2-3-4前-後		2							1
	全系	11 0 114	1-2-3-4前-後		2							1
	7	地域社会論	1-2-3-4前-後		2							1
		文化論	1-2-3-4前-後		2							1
		著作権と情報倫理	1-2-3-4前・後		2							1
	F	生態学	1-2-3-4前-後		2							1
		生態子 物質とエネルギー	1-2-3-4前-後		2							1
	É		1-2-3-4前-後		2			1				
	烈							'				
	系		1-2-3-4前・後		2							1
	牧 匙	科学技術論	1-2-3-4前・後		2		1					
Ŧ	4_	科学史	1-2-3-4前-後		2		1					
E	1	生理学	1-2-3-4前-後		2			1				
	17:	心の科学	1-2-3-4前-後		2							1
	促身	TARELY	1-2-3-4前-後		2			1				
	茅	生命倫理	1-2-3-4前-後		2			1				
		生命の科学	1-2-3-4前-後		2			1				
学	L	食と健康	1-2-3-4前-後		2							1
学部共通科		情報の科学	1-2-3-4前-後		2							1
通	数理		1-2-3-4前-後		2							1
目	١.	数学	1-2-3-4前-後		2							1
	骨幹		1-2-3-4前-後		2							1
	3		1・2・3・4前・後		2							1
		グラフィックデザイン基礎演習	1-2-3-4前-後		2							1
	Γ	文献講読	1-2-3-4前-後		2							1
		日本語表現演習	1-2-3-4前-後		2							1
		ディベート	1-2-3-4前・後		2							1
	美	, 伝統文化論	1-2-3-4前・後		2							1
	超		1-2-3-4前・後		2							1
	弄	芸術鑑賞論	1-2-3-4前・後		2							1
		身体運動の原理	1-2-3-4前-後		2							1
		健康スポーツA	1-2-3-4前・後		1							1
		健康スポーツB	1-2-3-4前-後		1							1
 		英語 I	1前·後	2						1		3
		英語Ⅱ	1前・後	2						1		3
		英語皿	1前・後	2						1		3
		英語Ⅳ	1前・後	2						1		3
		英語V	2前・後	2						1		3
		英語VI	2前・後	2						1		3
	語学	上級英語 I	1-2-3-4前-後	-	2					'		1
	学科	上級英語Ⅱ	1-2-3-4前・後		2							1
	Ħ	上級英語皿	3.4前.後		2							1
		上級英語Ⅳ			2							1
			3・4前・後									
		中国語Ⅰ	1-2-3-4前-後		2							1
		中国語Ⅱ	1-2-3-4前-後		2							1
		中国語皿	1-2-3-4前-後		2							1
ı		中国語IV	1-2-3-4前・後		2			1	1	1		1

【令和元年度】

					Ĺ	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
	E		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助	
				,	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
			哲学・倫理学	1-2-3-4前・後		2							1
			人間と宗教	1-2-3-4前-後		2		1					3
			文学	1-2-3-4前・後		2							3
	教養科目	人文	心理学	1-2-3-4前・後		2							2
		へ 系	思想史	1-2-3-4前・後		2							2
			歴史学	1-2-3-4前・後		2			1				2
			地理学	1-2-3-4前-後		2							1
			言語文化論	1・2・3・4前・後		2							1
			法学	1-2-3-4前-後		2							1
			日本国憲法	1・2・3・4前・後		2							1
			経済学	1-2-3-4前・後		2		1					1
		\sim	政治学	1-2-3-4前・後		2							1
		五系	社会学	1-2-3-4前-後		2							1
			地域社会論	1・2・3・4前・後		2							4
			文化論	1-2-3-4前・後		2							2
			著作権と情報倫理	1-2-3-4前・後	L	2			1				1
			生態学	1-2-3-4前・後		2							1
			物質とエネルギー	1-2-3-4前・後		2							1
		自然	生活と化学	1-2-3-4前・後		2			1				1
		1然系	宇宙の科学	1-2-3-4前・後		2							1
	教		科学技術論	1-2-3-4前-後		2		1					
	養科		科学史	1-2-3-4前-後		2		1					
			生理学	1-2-3-4前-後		2			1				1
			心の科学	1-2-3-4前-後		2							2
		健康	公衆衛生学	1-2-3-4前-後		2			1				
		康系	生命倫理	1-2-3-4前-後		2			1				1
			生命の科学	1-2-3-4前-後		2			1				2
学			食と健康(未開講)	1-2-3-4前-後		2							
部共			情報の科学	1-2-3-4前-後		2							1
通		数四	情報化と社会(<mark>未開講</mark>)	1-2-3-4前-後		2							1
科目		理・	数学	1-2-3-4前-後		2							1
		情報	パズルと論理	1-2-3-4前-後		2							1
		報系	ウェブデザイン基礎演習	1-2-3-4前・後		2							1
			グラフィックデザイン基礎演習	1-2-3-4前-後		2							1
			文献講読	1-2-3-4前-後		2							2
			日本語表現演習	1-2-3-4前-後		2							3
			ディベート	1-2-3-4前・後		2							1
		実	伝統文化論	1-2-3-4前・後		2							1
		践	創作文化演習	1-2-3-4前・後		2							1
		系	芸術鑑賞論	1-2-3-4前・後		2							3
			身体運動の原理	1-2-3-4前・後		2							1
			健康スポーツA	1-2-3-4前・後		1							2
		Ш	健康スポーツB	1-2-3-4前・後	L	1							2
			英語 I	1前·後	2						1		5
			英語Ⅱ	1前·後	2						1		5
			英語Ⅲ	1前・後	2								6
			英語Ⅳ	1前・後	2								6
			英語Ⅴ	2前・後	2						1		5
	#3	<u>.</u>	英語VI	2前・後	2						1		5
		ř	上級英語 I	1-2-3-4前・後		2							5
		‡ }	上級英語Ⅱ	1-2-3-4前・後		2							3
	-	1	上級英語Ⅲ	1-2-3-4前-後		2							2
			上級英語Ⅳ	1-2-3-4前-後		2					1		2
			中国語 I	1-2-3-4前・後		2							2
			中国語Ⅱ	1-2-3-4前・後		2							2
			中国語皿	1-2-3-4前・後		2							1
			中国語IV	1-2-3-4前・後		2					L_		1
	_												

【認可時又は届出時】

	7 D		#1 JV			女	_					兼任
	斗目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
h		静国·胡鲜莎 T	1.2.2.4前.徐	修	択	由	授	授	師	教	手	担 1
		韓韓韓中 で	1-2-3-4前・後		2							1
		韓国・朝鮮語皿	1-2-3-4前・後		2							1
		韓国・朝鮮語Ⅳ	日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本					1				
								1				
								1				
		****		研 後 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1								
	12-3-48-48 2 2 2 2 2 2 2 2 2				1							
	語		1-2-3-4前・後									1
												1
												1
		****										1
		スペイン語Ⅳ	1-2-3-4前・後		2							1
			1-2-3-4前・後									1
												1
学												1
部共												
通道		日本語Ⅷ	1-2-3-4前・後		2							1
科目				_	2							1
	基							3				1
	科			2								
		情報の処理Ⅱ	1前·後	2								2
	ヤ			2								1
	ア											
	育											
							-					1
	4+	プロジェクトA	2·3·4通		4							2
		· ·										
	科											
	П	海外研修C	1-2-3-4前・後		2							1
	本学科部		1前	2			1					2
			1後		400				_			
Н			1前・後		166	0		3	0	1	0	兼40
				_	2		_					1
				2				1				
	学											
	科						1	2				
	本											
								1				1
							1					
				4	_			4				,
				2	2			2				
学科					4	0			0	0	0	兼3
専			2・3前・後									
以科												
目							1					,
	•						1					1
	マネ						'					1
	ネジメ	ベンチャービジネス論					1					'
	ント	国際経営論	3・4前・後		2			1				
	分	NPO・NGO経営論					1					
	野	企業経営と環境問題										
			3·4前·後	0	22	0	વ	1	0	0	0	_
Ш		- at \(H)		J	22	J	J	1	,	٠	,	VKO

【令和元年度】

П	13	州兀平及 】		Ĺ	单位数	女	車	任教	員等	の配	置	兼
	料目区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	<u></u> 助	
4	- /)		+ %	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼 担
		韓国・朝鮮語 I	1-2-3-4前・後		2							2
												2
		韓国・朝鮮語Ⅱ 1226 1226 1226 1226 1226 1226 1226 122										
			### 19									
		ドイツ語Ⅱ	1-2-3-4前・後		2							1
		ドイツ語Ⅲ	1-2-3-4前・後		2							1
		****										1
	科	スペイン語 I	1-2-3-4前・後		2							1
	П	****										1

		日本語皿	1・2・3・4前・後		2							1
学												1
学部共通												
八通												1
科目												-
	소		1前·後	2	_			3		1		
	学	学ぴの技法Ⅱ	1前・後	2				3		1		
	本		1前·後									1
												3
							1					-
					2		•					1
	ア											1
	育科	キャリア演習Ⅱ	<mark>2</mark> 前·後		2							1
	目	インターンシップ						1				2
	特	プロジェクトA										3
	別企	プロジェクトB プロジェクトC(<mark>未開講</mark>)										3
	画	海外研修A						2		1		7
	科目	海外研修B	1-2-3-4前・後		2			2		1		7
		海外研修C			2					1		7
	科部	総合政策概論I										3
_	目基	総合政策概論Ⅱ 小計(99科目)	俊		166	0			0	2	0	3 兼57
		経営学概論	1前・後		100	-		•	•		•	NO1
		国際経済学	2-3-4前-後		2					1		
		マーケティング基礎論	1前·後	2				1				
		消費者行動論										
	学	簿記原理 I 簿記原理 II						-				
	科基	経営者論					-					
	本	キャリア開発論						1				
	科目	ビジネス取引法										1
		ビジネス基礎演習								1		1
		ビジネス専門演習 能力開発演習		4	2							1
		能力開光演者 基礎ゼミナール		2	۷					1		
学科専攻科		小計 (13科目)			4	0			0	_	0	兼2
専び		経営学特論	2.3前.後		2		1					
科口		経営戦略論										
目	経営	経営組織論					1					
	•	企業論 企業倫理					1					1
	マネ	止未 () 上来 () 上	2.3削.後		2							1
	ジメ	ベンチャービジネス論	3・4前・後		2		1					
	ント	国際経営論	3・4前・後		2			1				
	分	NPO・NGO経営論	3・4前・後		2		1					
	野	企業経営と環境問題	3・4前・後		2							1
		ビジネス関連法 小計(11科目)	3・4前・後	0	22	0	3	1	0	0	0	2 兼4
		- HI (117147		v	24	v	Ü		v	v	v	4K.#

【認可時又は届出時】

Г	科目 授業科目の名称			_	ì	单位数	istr .	市	(4)	員等	の配	置	兼
ŧ	¥E	1	哲学利日の夕称	配当	必	選	自	教	准	講	助	助	任
	Σ 5.	ł	技术符合の名称	年 次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
F			サービス産業論	2前・後	19	2	Щ	18	1	יוים	+3,		JE
	19	有業	広告論	2前·後		2							1
			観光経営論	2・3前・後		2							1
		₹ 	観光文化産業論	2・3前・後		2							1
	4	7	商品戦略論	3・4前・後		2			1				
	-	1	流通産業論	3・4前・後		2							1
	7	ブ	ICT戦略論	3・4前・後		2							1
	5	分	マーケティング演習	2前·後		4			1				
	_	ı	小計(8科目)	-	0	18	0	0	1	0	0	0	兼2
			ファイナンス基礎論	2前·後		2		1					
			会計学概論	2前・後		2			1				
			金融概論	2前·後		2							1
			経営分析論	2・3前・後		2			1				
	١.	_	管理会計論	2・3前・後		2			1				
	貝矛		中級簿記	2・3前・後		2			1				
	4	. 4	工業簿記	2・3前・後		2							2
	Ē	+	上級簿記	2・3前・後		2			1				
			原価計算論	2・3前・後		2			1				
			税務会計	3・4前・後		2			1				
	計分野	財務管理論	3・4前・後		2		1						
学到			地域金融論	3・4前・後		2							1
学科専攻科			地域金融システム論	3・4前・後		2							1
攻科			小計 (13科目)	-	0	26	0	1	2	0	0	0	兼3
目			秘書学概論	2・3前・後		2							1
			秘書実務	2·3·4前·後		2							1
		田	国際秘書概論	2・3・4前・後		2							1
		国際	国際文化論	1・2前・後		2							1
		秘書	時事英語 I	2·3·4前·後		2							1
		関	時事英語Ⅱ	2・3・4前・後		2					1		
		連科	Business Writing	2・3・4前・後		2							1
	関	目	英語コミュニケーション演習I	2·3·4前·後		2							1
	連科		英語コミュニケーション演習 II	2・3・4前・後		2							1
	Ħ		異文化間コミュニケーション	2·3·4前·後		20	0	0	0	0	1	0	1
			小計 (10科目) 法学原論	1-2-3-4前-後		20	0	0	U	0	1	U	兼4 1
			政治学原論	1-2-3-4前・後		2							1
		红	経済学原論	1-2-3-4前・後		2							1
		1意:	哲学概論	1-2-3-4前・後		2							1
		科目	倫理学概論	1-2-3-4前・後		2							1
						-							<u> </u>
			小計(5科目)	-	0	10	0	0	0	0	0	0	兼5
		٦	ゼミナール I	2後	2			4	6		1		
	_		ゼミナールⅡ	3前	2			4	6		1		
	卒業研·		卒業論文 I	3後	2			4	6		1		
	研究		卒業論文Ⅱ	4前	2			4	6		1		
	九		卒業論文Ⅲ	4後	2	L		4	6	L	1	L	
L			小計(5科目)	-	10	0	0	4	6	0	1	0	0
			合計 (164科目)	-	64	272	0	4	6	0	1	0	兼52
_	_	_				_		_		_			

卒業要件及び履修方法

学部共通科目から必修科目28単位を含む計42単位以上(教養科目:6系の内5系にわたり10単位以上、語学科目:英語必修科目12単位・選択科目4単位以上、全学基本科目10単位、キャリア教育課目2単位以上、特別企画科目、学部基本科目4単位)、学科専攻科目から必修科目26単位はよびで楽研究10単位を含む計62単位以上を修得し、候りを学部共通科目、所属学科以は所属学科以外の科目(関連科目を含む)から20単位以上修得し、合計124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

【令和元年度】

Г					į	单位数	ŧt	専	任教	員等	の配	置	兼
	科目区分		授業科目の名称	配当	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
[2	Σ 5.	ţ.	汉来行台の石小	年 次					教				兼
H	_			244 (4	修	択	由	授	授	師	教	手	担
	Ē	鲔	サービス産業論	2前・後		2			1				
	*		広告論	2前・後		2							1
		7	観光経営論	2・3前・後		2							1
	4		観光文化産業論	2・3前・後		2							1
	7	7	商品戦略論	3・4前・後		2			1				
	1		流通産業論	3・4前・後		2							1
	5	ブ	ICT戦略論	3・4前・後		2							1
	里	· ·	マーケティング演習	2前・後		4			1				
			小計 (8科目)	-	0	18	0	0	1	0	0	0	兼2
			ファイナンス基礎論	2前・後		2		1					
			会計学概論	2前·後		2			1				
			金融概論	2前·後		2		1					
			経営分析論	2・3前・後		2							1
	B	ıł	管理会計論	2・3前・後		2			1				
		и 务	中級簿記	1-2-3前-後		2			1				
	4	. 4	工業簿記	1・2・3前・後		2			1				
	Ē	Ħ	上級簿記(未開講)	1-2-3前-後		2							1
	夕 里		原価計算論	1-2-3前-後		2							1
	_	,	税務会計(未 <mark>開講</mark>)	2-3-4前-後		2							1
			財務管理論	3・4前・後		2		1					
学			地域金融論	3・4前・後		2		1					1
科専			地域金融システム論	3・4前・後		2		1					1
学科専攻科			小計 (13科目)	-	0	26	0	1	1	0	0	0	兼3
目			秘書学概論	2・3前・後		2							1
			秘書実務	2・3・4前・後		2							1
			国際秘書概論	2・3・4前・後		2							1
		国際	国際文化論(未開講)	1・2前・後		2							1
		秘	時事英語 Ⅰ (未開講)	2・3・4前・後		2					1		
		書関	時事英語Ⅱ	2・3・4前・後		2					1		
		連	Business Writing	2・3・4前・後		2							1
		科目	英語コミュニケーション演習 I (未開講)	2・3・4前・後		2							1
	関連		英語コミュニケーション演習Ⅱ	2・3・4前・後		2							1
	連科目		異文化間コミュニケーション	2・3・4前・後		2							
	ľ		小計 (10科目)	-		20	0	0	0	0	1	0	兼3
		П	法学原論	1-2-3-4前-後		2							1
			政治学原論	1-2-3-4前・後		2							1
		任	経済学原論	1-2-3-4前-後		2							1
		意科	哲学概論	1-2-3-4前-後		2							1
			倫理学概論	1-2-3-4前・後		2							1
			職業指導論	2-3-4前-後		2							1
			小計 (6科目)	-	0	12	0	0	0	0	1	0	兼4
r		٦	ゼミナール I	2後	2			4	5		2		
1			ゼミナール II	3前	2			4	5		2		
	卒業		卒業論文I	3後	2			4	5		2		
	研		卒業論文Ⅱ	4前	2			4	5		2		
1	究	卒業論文Ⅲ	4後	2			4	5		2			
1			小計 (5科目)	-	10	0	0	4	5	0	2	0	0
F			合計 (165科目)	-	64	274	0	4	5	0	2	0	兼64

卒業要件及び履修方法

学部共通科目から必修科目28単位を含む計42単位以上(教養科目:6系の内5系にわたり10単位以上、語学科目:英語必修科目12単位・選択科目4単位以上、全学基本科目10単位、キャリア教育課目2単位以上、特別企画科目、学部基本科目4単位)、学科専攻科目から必修科目26単位対よびで楽研究10単位を含む計62単位以上を修得し、候りを学部共通科目、所属学科又は所属学科以外の科目(関連科目を含む)から20単位以上修得し、合計124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

					Ĺ	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼
	斗 E マ ケ		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
	<u>⊃</u> 7	J.		+ 0	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
П			哲学・倫理学	1-2-3-4前・後	יביו	2		,,	,,	Hill	32	•	1
			人間と宗教	1-2-3-4前-後		2		1					
			文学	1-2-3-4前-後		2							1
		<u>۲</u>	心理学	1-2-3-4前-後		2							1
		文系	思想史	1-2-3-4前-後		2							1
		, iv	歴史学	1-2-3-4前・後		2			1				
			地理学	1-2-3-4前-後		2							1
			言語文化論	1-2-3-4前-後		2							1
			法学	1-2-3-4前-後		2							1
			日本国憲法	1-2-3-4前・後		2							1
			経済学	1-2-3-4前・後		2							1
		社	政治学	1-2-3-4前・後		2							1
		会系	社会学	1-2-3-4前・後		2							1
			地域社会論	1-2-3-4前・後		2							1
			文化論	1-2-3-4前・後		2							1
			著作権と情報倫理	1-2-3-4前-後		2							1
		П	生態学	1-2-3-4前・後		2							1
			物質とエネルギー	1-2-3-4前・後		2							1
		自始	生活と化学	1-2-3-4前-後		2			1				
		然系	宇宙の科学(<mark>未開講)</mark>	1-2-3-4前・後		2							1
	教養		科学技術論	1-2-3-4前・後		2		1					
	養科		科学史	1-2-3-4前-後		2		1					
	目		生理学	1-2-3-4前・後		2			1				
			心の科学	1-2-3-4前-後		2							1
		健	公衆衛生学	1-2-3-4前・後		2			1				
		康系	生命倫理	1-2-3-4前・後		2			1				
			生命の科学	1-2-3-4前・後		2			1				
学			食と健康	1-2-3-4前・後		2							1
学部共通科目			情報の科学	1-2-3-4前・後		2							1
通		数四	情報化と社会	1-2-3-4前-後		2							1
科日		理	数学	1-2-3-4前-後		2							1
		情報	パズルと論理	1-2-3-4前-後		2							1
		私系	ウェブデザイン基礎演習(未開講)	1-2-3-4前-後		2							1
			グラフィックデザイン基礎演習	1-2-3-4前-後		2							1
			文献講読	1-2-3-4前・後		2							1
			日本語表現演習	1-2-3-4前・後		2							1
			ディベート(未開講)	1-2-3-4前-後		2							1
		実	伝統文化論	1-2-3-4前-後		2							1
		八 践 🗷	創作文化演習	1-2-3-4前-後		2							1
		糸	芸術鑑賞論	1-2-3-4前-後		2							1
			身体運動の原理	1-2-3-4前-後		2							1
			健康スポーツA	1-2-3-4前・後		1							1
		Ц	健康スポーツB	1-2-3-4前・後		1							1
			英語I	1前・後	2						1		2
			英語Ⅱ	1前・後	2						1		1
			英語Ⅲ	1前・後	2								2
			英語Ⅳ	1前・後	2						1		2
			英語Ⅴ	2前・後	2						1		3
	111	吾	英語VI	2前・後	2						1		3
	=	学	上級英語I	1-2-3-4前・後		2							1
		計画	上級英語Ⅱ	1-2-3-4前・後		2							1
			上級英語Ⅲ	3・4前・後		2							1
			上級英語Ⅳ	3・4前・後		2							1
			中国語 I	1-2-3-4前-後		2							1
			中国語Ⅱ	1-2-3-4前-後		2							1
			中国語Ⅲ	1-2-3-4前・後		2							1
			中国語Ⅳ	1-2-3-4前・後		2			l		l		1

【平成30年度】

_	•	成30年度』		Ĺ	单位数	女	車	任教	員等	の配	置	兼
科		授業科目の名称	配当	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
区	分	汉本村古の古明	年 次				-	教				兼
-	_	长兴 人四兴		修	択	由	授	授	師	教	手	担
		哲学・倫理学	1-2-3-4前-後		2							1
		人間と宗教 文学	1-2-3-4前-後		2		1					3
	ı		1-2-3-4前-後		2							2
	文	心理学	1-2-3-4前-後		2							1
	系	思想史	1-2-3-4前-後		2							2
		歴史学	1-2-3-4前-後		2			1				3
		地理学	1-2-3-4前-後		2							1
	L	言語文化論	1-2-3-4前-後		2							1
		法学	1-2-3-4前-後		2							1
		日本国憲法	1-2-3-4前・後		2		١.					1
	4.1	経済学	1-2-3-4前・後		2		1			1		2
	社会		1-2-3-4前・後		2							1
	系		1-2-3-4前-後		2							1
		地域社会論	1-2-3-4前-後		2							4
		文化論	1-2-3-4前・後		2							4
	L	著作権と情報倫理	1-2-3-4前・後		2			1				1
		生態学	1-2-3-4前-後		2							1
	1.	物質とエネルギー	1-2-3-4前-後		2							2
	自然	生活と化学	1-2-3-4前-後		2			1				
	系	宇宙の科学	1-2-3-4前・後		2							1
教		科学技術論	1-2-3-4前・後		2		1					
養和		科学史	1-2-3-4前・後		2		1					
E		生理学	1-2-3-4前-後		2			1				
		心の科学	1-2-3-4前-後		2							2
	健	公衆衛生学	1-2-3-4前-後		2			1				
	康系	生命倫理	1-2-3-4前-後		2			1				
		生命の科学	1-2-3-4前-後		2			1				1
学		食と健康(未開講)	1-2-3-4前-後		2							1
部共	r	情報の科学	1-2-3-4前-後		2							1
通	数	情報化と社会	1-2-3-4前-後		2							1
科目	理	数学(未開講)	1-2-3-4前・後		2							1
	情	パズルと論理	1-2-3-4前-後		2							2
	報系	ウェブデザイン基礎演習	1-2-3-4前-後		2							1
	214	グラフィックデザイン基礎演習	1-2-3-4前-後		2							1
	H	文献講読	1-2-3-4前-後		2							2
		日本語表現演習	1-2-3-4前-後		2							3
		ディベート	1-2-3-4前・後		2							1
		伝統文化論	1-2-3-4前・後		2							1
	実践	創作文化演習	1-2-3-4前・後		2							
		芸術鑑賞論	1-2-3-4前・後		2							1
		身体運動の原理	1-2-3-4前・後		2							1
		身体運動の原理 健康スポーツA	1-2-3-4前・後		1							1
		健康スポーツB	1-2-3-4前・後		1							1
+	1_	英語 I		າ	_					1		
			1前・後	2								5
		英語Ⅱ	1前・後	2						1		5
		英語皿	1前・後	2						1		7
		英語Ⅳ	1前・後	2						1		7
		英語 V	2前・後	2						1		7
	語	英語Ⅵ	2前・後	2	١					1		7
	語学	上級英語I	1-2-3-4前・後		2							4
	科 目	上級英語Ⅱ	1-2-3-4前-後		2							4
		上級英語Ⅲ	1-2-3-4前-後		2							4
		上級英語Ⅳ	1-2-3-4前-後		2							3
		中国語 I	1-2-3-4前・後		2							1
		中国語Ⅱ	1-2-3-4前-後		2							1
		中国語Ⅲ	1-2-3-4前・後		2							1
⊥		中国語Ⅳ	1-2-3-4前・後		2							1
		-										

単位数 専任教員等の配置 任 科目 区分 必選目 教 准 講 助 助 授業科目の名称 教 韓国·朝鮮語 I 韓国・朝鮮語Ⅱ 2 韓国・朝鮮語Ⅲ 1-2-3-4前-2 韓国·朝鮮語IV 1-2-3-4前-1 2 1 ドイツ語 I 1-2-3-4前-1 2 1 ドイツ語Ⅱ 1-2-3-4前-後 2 ドイツ語Ⅲ 1-2-3-4前-後 2 ドイツ語Ⅳ 1-2-3-4前-街 2 フランス語 I 1-2-3-4前-後 2 フランス語Π 1-2-3-4前-8 2 フランス語Ⅲ 1-2-3-4前-後 2 フランス語Ⅳ 1-2-3-4前-台 2 スペイン語 I 1-2-3-4前・後 2 スペイン語Ⅱ 1-2-3-4前-後 2 スペイン語Ⅲ 1-2-3-4前-後 2 スペイン語Ⅳ 1-2-3-4前・後 日本語I 1-2-3-4前-後 2 日本語Ⅱ 1・2・3・4前・後 2 日本語皿 1-2-3-4前-街 2 1 日本語Ⅳ 1-2-3-4前-1 2 日本語 Ⅴ (未開講) 1-2-3-4前-8 2 日本語Ⅵ 1・2・3・4前・後 2 1 日本語四 1-2-3-4前-後 2 1 日本語娅(未開講) 1・2・3・4前・後 1 学びの技法 I 1前·後 2 学びの技法Ⅱ 1前·後 2 3 統計の基礎 1前・後 2 情報の処理 I 1前・後 2 2 情報の処理Ⅱ 1前・後 キャ キャリア形成と大学 1 1前·後 2 キャリア形成と産業社会 2前·後 キャリア演習I 2前·後 2 キャリア演習Ⅱ 3前·後 2 インターンシップ 2・3・4前・後 プロジェクトA 2 2·3·4通 4 プロジェクトB 3・4通 4 2 別 プロジェクトC 2・3・4前・後 2 2 画 海外研修A 1-2-3-4前-1 2 海外研修B 1-2-3-4前-4 2 1 海外研修C -2-3-4前-総合政策概論 I 1前 2 1 2 総合政策概論 Ⅱ 1後 小計 (99科目) 28 166 0 3 3 0 1 0 兼41 経営学概論 1前・後 2 2 国際経済学 2-3-4前-4 マーケティング基礎論 1前・後 2 消費者行動論 1前・後 簿記原理 I 1前・後 2 2 簿記原理Ⅱ 1前・後 2 2 経営者論 2前·後 2 本科 キャリア開発論 3前·後 2 ビジネス取引法 2前·後 2 1 目 ビジネス基礎演習 1前·後 4 2 2 ビジネス専門演習 3前·後 4 3 4 能力開発演習 3前・後 2 1 基礎ゼミナール 2前 小計(13科目) 26 3 5 0 0 0 兼5 4 0 経営学特論 2・3前・後 経営戦略論 2・3前・後 2 経営組織論 2・3前・後 企業論 2.3前.後 2 1 企業倫理 2・3前・後 2 人事労務管理論 2.3前.後 2 1 ベンチャービジネス論 3.4前.後 2 国際経営論 3・4前・後 2 NPO・NGO経営論 3.4前.後 2 分 野 企業経営と環境問題 3・4前・後 2 ビジネス関連法 3 · 4前 · 後 2 2 小計(11科目) 3 0 0

【平成30年度】

	Τ.	成30年度】										
I.			#7 .W		单位数					の配		兼任
	日分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	
				修	択	由	授	授	師	教	手	兼担
		韓国·朝鮮語 I	1-2-3-4前・後		2							1
		韓国・朝鮮語Ⅱ	1-2-3-4前-後		2							1
		韓国・朝鮮語Ⅲ	1-2-3-4前-後		2							1
		韓国・朝鮮語Ⅳ	1-2-3-4前-後		2							1
		ドイツ語 I	1-2-3-4前-後		2							1
		ドイツ語Ⅱ	1-2-3-4前-後		2							1
		ドイツ語皿	1-2-3-4前-後		2							1
		ドイツ語Ⅳ	1-2-3-4前-後		2							1
		フランス語Ⅰ	1-2-3-4前-後		2							1
		フランス語Ⅱ	1-2-3-4前-後		2							1
		フランス語皿	1-2-3-4前-後		2							1
	語	フランス語Ⅳ	1-2-3-4前・後		2							1
	学 科	スペイン語 I	1-2-3-4前・後		2							1
	目	スペイン語Ⅱ	1-2-3-4前・後		2							1
		スペイン語皿	1-2-3-4前・後		2							1
		スペイン語皿スペイン語Ⅳ	1-2-3-4前・後									
					2							1
		日本語Ⅰ	1-2-3-4前-後		2							1
		日本語Ⅱ	1-2-3-4前・後		2							1
		日本語皿	1-2-3-4前・後		2							1
学		日本語以	1-2-3-4前-後		2							2
部		日本語V	1-2-3-4前・後		2							2
共 通		日本語Ⅵ	1-2-3-4前・後		2							1
科		日本語Ⅷ	1-2-3-4前-後		2							2
目		日本語Ⅷ	1-2-3-4前-後		2							1
	全	学びの技法 I	1前・後	2				3		1		
	学基	学びの技法Ⅱ	1前・後	2				3		1		
	本	統計の基礎	1前·後	2								1
	科	情報の処理 I	1前·後	2								2
	目	情報の処理Ⅱ	1前・後	2								2
	キャ	キャリア形成と大学	1前·後	2			1					
	IJ	キャリア形成と産業社会	2前・後		2							1
	ア教	キャリア演習 I	2前·後		2							1
	育	キャリア演習Ⅱ	3前·後		2							1
	科目	インターンシップ	2・3・4前・後		2			1				3
		プロジェクトA	1-2-3-4適		4							3
	特	プロジェクトB	2-3-4通		4							3
	別企	プロジェクトC(<mark>未開講</mark>)	1-2-3-4前-後		2							2
	画	海外研修A	1-2-3-4前-後		2			2				9
	科目	海外研修B	1-2-3-4前-後		2			2				9
	н	海外研修C	1-2-3-4前-後		2			2				9
ŀ	本学	総合政策概論 I	1前	2			1	1				9
	科部 目基	総合政策概論 II	1後	2			1	1				9
+		小計 (99科目)	-	28	166	0	4	3	0	2	0	兼59
+		経営学概論	1前・後	2	100		2	_	_	_	•	NK00
		国際経済学	2・3・4前・機	_	2		_			1		
		国际程度子 マーケティング基礎論	1前・後	2	۷			1		'		
		消費者行動論		2				1				
		消食有行動調 簿記原理 I	1前・後	2			4					
	学	簿記原理 I 簿記原理 II	1前·後 1前·後				1	1				
	科			2			1	1				
	基本	経営者論	2前・後	2			1					
	科	キャリア開発論	3前・後	2			1					١, ١
	目	ビジネス取引法	2前・後	2				1				1
		ビジネス基礎演習	1前・後	4			2	2		1		1
		ビジネス専門演習	3前・後	4			3	3				
		能力開発演習	3前・後		2		1					1
学		基礎ゼミナール	2前	2			1	2		1		
科		小計(13科目)	-	26	4	0	3	4	0	1	0	兼3
専攻		経営学特論	2・3前・後		2		1					
科		経営戦略論	2・3前・後		2		1					1
目	経	経営組織論	2・3前・後		2		1					1
	営・	企業論	2・3前・後		2							2
	· マ	企業倫理	2・3前・後		2		1					
	ネ	人事労務管理論	2・3前・後		2							1
	ジメ	ベンチャービジネス論	3⋅4前・後		2		1					
	ント	国際経営論	3・4前・後		2			1				
	ト 分	NPO・NGO経営論	3·4前·後		2		1					
	分野	企業経営と環境問題	3・4前・後		2							1
		ビジネス関連法	3・4前・後		2							2
		小計(11科目)	- 1111 100	0	22	0	3	1	0	0	0	兼6
_		- ar (***********************************		v		v	ŭ		_ ĭ	v	_ ~	AL.

9

Г		_	成29年度】		į	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼
	4目		授業科目の名称	配当	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
نا ا	区 分	ì	22.00	年 次	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼 担
	ř	有	サービス産業論	2前・後		2			1				
	, Airk		広告論	2前・後		2							1
	,	·	観光経営論	2・3前・後		2							
		l	観光文化産業論	2・3前・後		2							
	7		商品戦略論	3・4前・後		2			1				
		1	流通産業論	3・4前・後		2							1
	7		ICT戦略論	3・4前・後		2							1
	夕 里		マーケティング演習	2前・後		4			1				
	#	T.	小計(8科目)	-	0	18	0	0	1	0	0	0	兼1
			ファイナンス基礎論	2前・後		2		1					
			会計学概論	2前・後		2			1				
			金融概論	2前・後		2							1
			経営分析論	2・3前・後		2			1				
	貝	+	管理会計論	2・3前・後		2			1				
	7		中級簿記	2・3前・後		2			1				
	4		工業簿記	2・3前・後		2							2
	100		上級簿記	2・3前・後		2			1				
	5		原価計算論	2・3前・後		2			1				
	_	.,	税務会計	3・4前・後		2			1				
	野		財務管理論	3・4前・後		2		1					
学			地域金融論	3・4前・後		2							1
学科専			地域金融システム論	3・4前・後		2							1
攻科			小計(13科目)	-	0	26	0	1	2	0	0	0	兼3
目			秘書学概論	2・3前・後		2							1
			秘書実務	2・3・4前・後		2							1
			国際秘書概論	2・3・4前・後		2							1
		国際	国際文化論(未開講)	1・2前・後		2							1
		秘	時事英語 I	2・3・4前・後		2							1
		書関	時事英語Ⅱ	2・3・4前・後		2					1		
		連	Business Writing	2・3・4前・後		2							
l	関	科目	英語コミュニケーション演習 I	2・3・4前・後		2							1
l	連		英語コミュニケーション演習Ⅱ	2·3·4前·後		2							1
l	科目		異文化間コミュニケーション	2・3・4前・後	L	2		L					1
1			小計 (10科目)	-		20	0	0	0	0	1	0	兼3
l			法学原論	1-2-3-4前・後		2							1
l			政治学原論	1-2-3-4前・後		2							1
		任	経済学原論	1-2-3-4前-後		2							1
l		意科	哲学概論	1-2-3-4前-後		2							1
l			倫理学概論	1-2-3-4前-後		2							1
1			職業指導論	1-2-3-4前-後		2							1
L			小計(6科目)	ı	0	12	0	0	0	0	0	0	兼5
			ゼミナール I	2後	2			4	6		1		
l	卒業		ゼミナールⅡ	3前	2			4	6		1		
l	業研		卒業論文 I	3後	2			4	6		1		
l	究		卒業論文Ⅱ	4前	2			4	6		1		
l			卒業論文Ⅲ	4後	2			4	6		1		
L			小計(5科目)	ı	10	0	0	4	6	0	1	0	0
Γ			合計 (165科目)	-	64	274	0	4	6	0	1	0	兼51

卒業要件及び履修方法

学部共通科目から必修科目28単位を含む計42単位以上(教養科目:6系の内5系にわたり10単位以上、話学科目:英語必修科目12単位・選択科目4単位以上、全学基本科目10単位、キャリア教育課目2単位以上、特別企画科目、学部基本科目4単位)、学科専攻科目から必修科目26単位および卒業研究10単位を含む計62単位以上を修得し、残りを学部共通科目、所属学科又以所属学科以外の科目(関連科目を含む)から20単位以上修得し、合計124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

【平成30年度】

Н		_	成30年度』		,	¥ /⊹ %		=	コナ おり	吕华	ω#⊐		兼
I	4目	,		配当		単位数					の配		任
	区 分		授業科目の名称	年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
					修	択	由	授	授	師	教	手	担
	百	ğ	サービス産業論	2前·後		2			1				
	当		広告論	2前·後		2							1
	-	,	観光経営論	2・3前・後		2							1
Į	-	ĺ	観光文化産業論	2・3前・後		2							1
	5		商品戦略論	3・4前・後		2			1				
	-	1	流通産業論	3・4前・後		2							1
	1	ブブ	ICT戦略論	3・4前・後		2							1
	5 里	}	マーケティング演習	2前·後		4			1				
	¥	ľ	小計(8科目)	ı	0	18	0	0	1	0	0	0	兼2
			ファイナンス基礎論	2前·後		2		1					
			会計学概論	2前・後		2			1				
			金融概論	2前·後		2		1					
			経営分析論	2・3前・後		2							1
	貝	+	管理会計論(未開講)	2・3前・後		2			1				
	彩		中級簿記	1-2-3前-後		2			1				
	·		工業簿記	1・2・3前・後		2			1				
	Ē	†	上級簿記(<mark>未開講</mark>)	1-2-3前-後		2							
	5里		原価計算論(未 <mark>開講</mark>)	1-2-3前-後		2							
	±	ľ	税務会計(未開講)	2-3-4前-後		2							
			財務管理論	3・4前・後		2		1					
学	<u> </u>		地域金融論	3・4前・後		2							1
学科専攻			地域金融システム論	3・4前・後		2							1
攻,			小計 (13科目)	-	0	26	0	1	1	0	0	0	兼2
科目			秘書学概論	2・3前・後		2							1
			秘書実務	2・3・4前・後		2							1
			国際秘書概論	2・3・4前・後		2							1
		国際	国際文化論	1・2前・後		2							1
		秘	時事英語 I	2・3・4前・後		2							1
		書関	時事英語 Ⅱ	2・3・4前・後		2					1		
		連	Business Writing	2・3・4前・後		2							1
		科目	英語コミュニケーション演習 I (未開講)	2・3・4前・後		2							1
	関連	I	英語コミュニケーション演習Ⅱ	2・3・4前・後		2							1
	科目		異文化間コミュニケーション	2・3・4前・後		2							1
	п		小計 (10科目)	-		20	0	0	0	0	1	0	兼6
			法学原論	1-2-3-4前・後		2							1
			政治学原論	1-2-3-4前・後		2							1
		任	経済学原論	1-2-3-4前・後		2							1
		意科	哲学概論	1-2-3-4前・後		2							1
			倫理学概論	1-2-3-4前・後		2							1
			職業指導論	2-3-4前-後		2							1
1			小計 (6科目)	-	0	12	0	0	0	0	0	0	兼5
			ゼミナール I	2後	2			4	5		2		
	卒		ゼミナールⅡ	3前	2			4	5		2		
	業研		卒業論文I	3後	2			4	5		2		
	究		卒業論文Ⅱ	4前	2			4	5		2		
	,,	卒業論文Ⅲ	4後	2			4	5		2			
L	_		小計(5科目)	_	10	0	0	4	5	0	2	0	0
Г			合計 (165科目)	-	64	274	0	4	5	0	2	0	兼67

卒業要件及び履修方法

学部共通科目から必修科目28単位を含む計42単位以上(教養科目:6系の内5系にわたり10単位以上、語学科目:英語必修科目12単位・選択科目4単位以上、全学基本科目10単位、キャリア教育課目2単位以上、特別企画科目、学部基本科目4単位)、学科専攻科目から必修科目26世位よよび不幸研究10世位を含む計62単位以上を修得し、長りを学部共通科目、所属学科又は所属学科以外の科目(関連科目を含む)から20単位以上修得し、合計124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を 黒字で記入してください。その上で、<u>認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**</u>としてください。
 - ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - · <u>1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入</u>してください。
 - 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

●教育効果の向上を図るため、「国際経済学」の配当年次を「1・2前・後」から「2・3・4前・後」に変更。● 圏修者教等に基づくクラス教の調整により、次の授業科目の専任教員等の配置および担当する兼任・兼担の教員の教を変更。

【平成29年度】

```
「革語Ⅰ」…「兼任・兼担3」→「兼任・兼担2」
 「英語Ⅱ」…「兼任・兼担3」→「兼任・兼担1」
 「英語Ⅲ」…「助数 1」→「助数 0」、「兼任・兼担 3」→「兼任・兼担 2」
 「英語Ⅳ」…「兼任・兼担3」→「兼任・兼担2」
●教育効果の向上を図るため、次の授業科目の専任教員等の配置および担当する兼任・兼担の教員の数を変更。
 「簿記原理Ⅰ」および「簿記原理Ⅱ」…何れも「兼任・兼担0」→「兼任・兼担1」
 「ビジネス基礎演習」…「教授1」→「教授2」、「准教授1」→「准教授2」、「兼任・兼担0」→「兼任・兼担1」
●兼担教員(教授2名)の辞任により、次の授業科目を担当する兼任・兼担の教員の数を変更。
 「観光経営論」「観光文化産業論」および「Business Writing」・・・ 何れも「兼任・兼担1」→「兼任・兼担0」
●教職課程認定申請への対応等のため、「職業指導論」を追加。平成30年度入学生から適用する。
【平成30年度】
●語学教育の充実を目的とする全学的な英語教育プログラムの見直しにより、次の授業科目の配当年次を変更。
 「上級英語Ⅲ」および「上級英語Ⅳ」… 何れも「3・4前・後」→「1・2・3・4前・後」
●教育効果の向上を図るため、次の授業科目の配当年次を変更。
 「プロジェクトA」…「2·3·4通」→「1·2·3·4通」
 「プロジェクトB」…「3・4通」→「2・3・4通」
 「プロジェクトC」…「2·3·4前·後」→「1·2·3·4前·後」
 「中級簿記」「工業簿記」「上級簿記」および「原価計算論」… 何れも「2・3前・後」→「1・2・3前・後」
 「税務会計」…「3・4前・後」→「2・3・4前・後」
 「職業指導論」…「1・2・3・4前・後」→「2・3・4前・後」
●語学教育の充実を目的とする全学的な英語教育プログラムの見直しにより、次の授業科目の専任教員等の配置および担当する兼任・兼担の教員の数を変更。
 「英語 I 」…「兼任・兼担 2 」→「兼任・兼担 5 」
「英語 I 」…「兼任・兼担 1 」→「兼任・兼担 5 」
 「英語Ⅲ」…「助教 0 」→「助教 1 」、「兼任・兼担 2 」→「兼任・兼担 7 」
 「英語IV」…「兼任・兼担2」→「兼任・兼担7」
「英語V」…「兼任・兼担3」→「兼任・兼担7」
 「英語Ⅵ」…「助教1」→「助教0」、「兼任・兼担3」→「兼任・兼担7」
 「上級英語Ⅰ」「上級英語Ⅱ」および「上級英語Ⅲ」… 何れも「兼任・兼担1」→「兼任・兼担4」
 「上級英語Ⅳ」… 「兼任・兼担1」→「兼任・兼担3」
●国際化の推進を目的とする海外研修プログラムの実施方法の見直しにより、次の授業科目の専任教員等の配置および担当する兼任・兼担の教員の数を変更。
 「海外研修A」および「海外研修B」… 何れも「准教授0」→「准教授2」、「兼任・兼担1」→「兼任・兼担9」
 「海外研修 C」…「准教授 O」→「准教授 2」、「兼任·兼担 1」→「兼任·兼担 9」
●教育効果の向上を図るため、次の授業科目の専任教員等の配置および担当する兼任・兼担の教員の数を変更。
 「学びの技法 I 」および「学びの技法 I 」 … 何れも「助教 O 」 \rightarrow 「助教 1 」
 「総合政策概論Ⅰ」および「総合政策概論Ⅱ」… 何れも「准教授0」→「准教授1」、「兼任・兼担2」→「兼任・兼担3」
 「経営戦略論」および「経営組織論」… 何れも「兼任・兼担0」→「兼任・兼担1」
 「企業論」… 「兼任・兼担1」→「兼任・兼担2」
 「金融概論」…「教授○」→「教授1」、「兼任・兼担1」→「兼任・兼担○」
●専任教員(助教1名)の就任により、次の授業科目の専任教員等の配置および担当する兼任・兼担の教員の数を変更。
 「国際経済学」…「助教 0 」→「助教 1 」、「兼任・兼担 1 」→「兼任・兼担 0 」
 「ビジネス基礎演習」および「基礎ゼミナール」… 何れも「助教 0 」→「助教 1 」
 「ゼミナールⅠ」「ゼミナールⅡ」「卒業論文Ⅰ」「卒業論文Ⅱ」および「卒業論文Ⅲ」… 何れも「助教1」→「助教2」
●兼担教員(教授1名、助教1名)の就任により、次の授業科目を担当する兼任・兼担の教員の数を変更。
 「観光経営論」「観光文化産業論」および「Business Writing」・・・何れも「兼任・兼担0」→「兼任・兼担1」
●専任教員(准教授 1 名)の辞任およびこれに伴う担当者の調整により、次の授業科目の専任教員等の配置および担当する兼任・兼担の教員の数を変更。
 「簿記原理Ⅰ」および「簿記原理Ⅱ」… 何れも「教授0」→「教授1」、「准教授2」→「准教授1」、「兼任・兼担1」→「兼任・兼担0」
 「ビジネス専門演習」…「准教授4」→「准教授3」
 「経営分析論」…「准教授1」→「准教授0」、「兼任・兼担0」→「兼任・兼担1」
「工業簿記」…「准教授0」→「准教授1」、「兼任・兼担2」→「兼任・兼担0」
 「上級簿記」「原価計算論」および「税務会計」…何れも「准教授1」→「准教授0」
 ●新学部(看護学部)の開設等を踏まえたクラス数および担当者の調整により、次の授業科目の専任教員等の配置および担当する兼任・兼担の教員の数を変更。
 「人間と完数」…「兼任・兼担0」→「兼任・兼担3」
 「文学」…「兼任・兼担1」→「兼任・兼担2」
 「思想史」…「兼任・兼担1」→「兼任・兼担2」
 「歴史学」…「兼任・兼担0」→「兼任・兼担3」
 「文化論」…「兼任・兼担1」→「兼任・兼担4」
 「著作権と情報倫理」…「准教授 0 」→「准教授 1 」
 「物質とエネルギー」…「兼任・兼担1」→「兼任・兼担2」
 「心の科学」…「兼任・兼担1」→「兼任・兼担2」
 「生命の科学」…「兼任・兼担0」→「兼任・兼担1」
 「パズルと論理」…「兼任・兼担1」→「兼任・兼担2」
 「文献講読」…「兼任・兼担1」→「兼任・兼担2」
 「日本語表現演習」…「兼任・兼担1」→「兼任・兼担3」
```

「キャリア形成と産業社会」「キャリア演習Ⅰ」および「キャリア演習Ⅱ」… 何れも「教授1」→「教授0」、「兼任・兼担0」→「兼任・兼担1」

「キャリア形成と大学」…「教授 0」→「教授 1」、「兼任・兼担 1」→「兼任・兼担 0」

「インターンシップ」…「准教授 0 」→ 「准教授 1 」、「兼任・兼担 1 」→ 「兼任・兼担 3 」 「プロジェクトA」および「プロジェクトB」… 何れも「兼任・兼担 2 」→ 「兼任・兼担 3 」 「日本語Ⅳ」「日本語 V 」および「日本語 W 」 および「日本語 W 」 「 何れも「 兼任・ 兼担 1 」 → 「 兼任・ 兼担 2 」

【令和元年度】

```
●教育効果の向上を図るため、次の授業科目の配当年次を変更。
 「キャリア演習Ⅱ」…「3前・後」→「2前・後」
●教育効果の向上を図るため、次の授業科目の専任教員等の配置および担当する兼任・兼担の教員の数を変更。
 「文学」… 「兼任・兼担2」→「兼任・兼担3」
 「心理学」… 「兼任・兼担1」→「兼任・兼担2」
 「芸術鑑賞論」… 「兼任・兼担1」→「兼任・兼担3」
 「健康スポーツA」「健康スポーツB」… 何れも「兼任・兼担1」→「兼任・兼担2」
 「中国語I」「中国語I」「韓国・朝鮮語I」「韓国・朝鮮語I」・「・ 何れも「兼任・兼担1」→「兼任・兼担2」「キャリア形成と大学」・・ 「兼任・兼担0」→「兼任・兼担2」
 「キャリア開発論」… 「准教授 0 」→「准教授 1 」
 「ビジネス専門演習」… 「兼任・兼担0」→「兼任・兼担1」
 「地域金融論」「地域金融システム論」… 何れも「教授 0」→「教授 1」
●他学部とのクラス数および担当者の調整により、次の授業科目の専任教員等の配置および担当する兼任・兼担の教員の数を変更。
 「上級英語 I 」··· 「兼任・兼担 4 」→「兼任・兼担 5 」
●担当科目数等の調整により、次の授業科目の専任教員等の配置および担当する兼任・兼担の教員の数を変更。
 「経済学」… 「助教 1」→「助教 0」、「兼任・兼担 2」→「兼任・兼担 1」
 「プロジェクトC」… 「教授 1」→「教授 0」、「兼担 1」→「兼担 0」
●クラス数の調整により、次の授業科目の専任教員等の配置および担当する兼任・兼担の教員の数を変更。
 「歴史学」… 「兼任・兼担3」→「兼任・兼担2」
 「文化論」… 「兼任・兼担4」→「兼任・兼担2」
 「パズルと論理」… 「兼任・兼担2」→「兼任・兼担1」
 「情報の処理Ⅰ」「情報の処理Ⅱ」… 何れも「兼任・兼担2」→「兼任・兼担3」
●兼担教員(教授1名)の就任により、次の授業科目の専任教員等の配置および兼任・兼担の教員の数を変更。
 「生活と化学」「生理学」「生命倫理」…何れも「兼任・兼担0」→「兼任・兼担1」
 「生命の科学」…「兼任・兼担1」→「兼任・兼担2」
●兼任教員(1名)の就任により、次の授業科目の兼任・兼担の教員の数を変更。
 「上級簿記」「原価計算論」および「税務会計」… 何れも「兼任・兼担0」→「兼任・兼担1」
●兼担教員(教授1名、准教授4名、助教4名)の辞任およびこれに伴う担当者の調整により、次の授業科目の専任教員等の配置および兼任・兼担の教員の数を変更。
 「物質とエネルギー」… 「兼任・兼担2」→「兼任・兼担1」
 「食と健康」… 「兼任・兼担1」→「兼任・兼担0」
「英語Ⅲ」「英語Ⅳ」…何れも「助教1」→「助教0」、「兼任・兼担7」→「兼任・兼担6」
 「上級英語Ⅱ」… 「兼任・兼担4」→「兼任・兼担3」
 「上級英語Ⅲ」… 「兼任・兼担4」→「兼任・兼担2」
 「上級英語IV」… 「助教 0」 → 「助教 1」、「兼任・兼担 3」 → 「兼任・兼担 2」「インターンシップ」… 「兼任・兼担 3」 → 「兼任・兼担 2」
 「海外研修A」「海外研修B」「海外研修C」··· 何れも「助教O」→「助教1」、「兼任・兼担9」→「兼任・兼担7」
 「総合政策概論Ⅰ」「総合政策概論Ⅱ」… 「兼任・兼担9」→「兼任・兼担3」
 「経営戦略論」「経営組織論」… 何れも「兼任・兼担1」→「兼任・兼担0」
 「企業論」… 「兼任・兼担2」→「兼任・兼担1」
 「時事英語 I 」 … 「助教 O 」 → 「助教 1 」、「兼任・兼担 1 」 → 「兼任・兼担 0 」
 「異文化間コミュニケーション」… 「兼任・兼担1」→「兼任・兼担0」
●兼任教員(3名)の辞任およびこれに伴う担当者の調整により、次の授業科目の専任教員等の配置および兼任・兼担の教員の数を変更。
 「英語Ⅴ」「英語Ⅵ」… 「兼任・兼担7」→「兼任・兼担5」
 「日本語IV」「日本語 V」「日本語 WI」··· 「兼任・兼担 2 」→「兼任・兼担 1 」
 「能力開発演習」··· 「教授 1 」→「教授 2 」、「准教授 0 」→「准教授 2 」、「兼任·兼担 1 」→「兼任·兼担 0 」
```

- 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更.
 - 授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

 - ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。 ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科日数

設置明	の計画			変更	状況		冲
必修 選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	1佣 右
30 科目 134 科目	0 科目	164 科目	30 科目 [0]	135 科目 [1]	0 科目 [0]	165 科目 [1]	

<u>未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入</u>するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を 記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1	食と健康	2	1·2·3·4前·後	一般	選択	専任教員の辞任(後任未定)、次年度開講予定
2	情報化と社会	2	1・2・3・4前・後	一般	選択	担当者の総担当科目数等を考慮、次年度開講予定
3	プロジェクトC	2	1・2・3・4前・後	一般	選択	近年の履修希望者数の推移等を考慮、次年度開講予定
4	経営戦略論	2	2·3·4前·後	専門	選択	専任教員の総担当科目数等を考慮、兼担教員(令和元年9月採用予定)により今年度開講予定
5	経営組織論	2	2·3·4前·後	専門	選択	専任教員の総担当科目数等を考慮、兼担教員(令 和元年9月採用予定)により今年度開講予定
6	人事労務管理論	2	2·3·4前·後	専門	選択	担当者の総担当科目数等を考慮、次年度開講予定
7	上級簿記	2	1.2.3前.後	専門	選択	近年の履修希望者数の推移等を考慮、次年度開講予定
8	税務会計	2	2·3·4前·後	専門	選択	近年の履修希望者数の推移等を考慮、次年度開講予定
9	国際文化論	2	1.2前.後	専門	選択	専任教員の辞任(後任未定)、次年度開講予定
10	時事英語 I	2	2·3·4前·後	専門	選択	担当者の総担当科目数等を考慮、次年度開講予定
1 1	英語コミュニケーション演習I	2	2·3·4前·後	専門	選択	履修希望者少数(10名以下)のため規定により未開講

- (注)・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入して ください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- (4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入して ください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「経営組織論」、「経営戦略論」および「英語コミュニケーション演習 I 」を除くすべての未開講科目は、次年度に開講して履修機会を確保することとしている。「経営組織論」および「経営戦略論」は 令和元(2019)年度中に開講予定として後任者を選考中である。「英語コミュニケーション演習 I 」 は、他の科目を履修する等の代替措置があるため未開講としても支障はない。

学生に対しては、ガイダンスや掲示等を通じて未開講となることを説明し、周知している。また、履 修希望者少数につき未開講となった科目は、当該履修希望者に対し、必要に応じて他の科目を履修する よう指導を行うなど、履修計画に支障が生じないように配慮している。

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目(3)と廃止科目(4)の計 6.7% 設置時の計画の授業科目数の計(A) 164

- (注) •
- 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

3 施設・設備の整備状況,経費

	区		分					内				:	容				備考
(1)		区	分				用	共	用		も用する 学校等の				計		常磐短期大学(必要面積4,800㎡) と共用
		校翁	舎 敷 均	t.			0m²		67, 555. 62)m²		67, 55	5. 62m ^f	(収容定員:480人)
校		運動	力場用地	j			0m²		17, 503. 00)mi		()mi		17, 503	3. 00 m	
地		/J\	計	+			0m²		85, 058. 62	?mi		()mi		85, 058	3. 62m	校舎敷地 。借地面積 21,878.42㎡ 借用期間 30年間他
/r/r		そ	の他	j			0m²		5, 497. 8	m ²		()m²		5, 49	7. 81 m	建動場敷地 借地面積 17,503.00㎡
等		合	計	ŀ			0m²		90, 556. 43	ßm³		()m²		90, 556	3. 43 m	■借用期間 20年間
						専	用	共	用		も用する 学校等の				計		
(2) 校			舎			23	3, 856. 00 m²		19, 401. 02	?m²	2	, 218. 76	im [†]		45, 47	5. 78m	常磐短期大学(必要面積 4,150㎡) と共用 (収容定員:480人)
					(2	3, 856.	00m²)	(19, 4	01.02m²)	(2, 218.	76m²)	(45, 47	75. 78 m	ຳ)	(水台定員:100八)
				講	義	室	演習	室	実験多	習室	情報外	処理学習	加設	語学	学習施	設	
(3) 教		室	等			39室		51室		63室			8室			2室	!
						- OO <u>-</u>		011				肋職員	4人)	(補助	職員	1人)	
							新設学部					室		数			1
(4) 専	任教	対員研究	室		総	合政策	法律	学科 行政学科 政策学科							11 12 12	室 室 室	
	5) 新設学部等			3	N =	Ė	学術:	雑誌			担職官	党資料	機械・器	e a	標	本	
(5)	亲	新設学 の名		(う	ち外国	書〕	〔うちタ	、国書〕	電子ジャ	ーナル	1754105	心具和	TAX TAX	77	175	~	大学全体での共用分 図書 381,858 [83,550]
						m		種	〔うちタ	国書〕		点		点		点	270 760 (02 510)
					718 [8 268 [8		348 [1 345 [1		4 (4 (49 63	۵	639		110	(365, 783 〔82, 171〕) (365, 783 〔82, 171〕) (358, 389 〔6, 218〕) 学術雑誌
	4/3	\ ^ TE #	- 		202 [8		342 (1		4 (12		σ,	000		110	学術雑誌 14,650 [8,584] 14,671 [8,696]
図	1600	合政策	子部		843 [7,		(344 [1		4 [(1,		(9, 379				21, 851 (15, 984) (14, 614 (8, 558)) (14, 607 (8, 657))
書・					433 [7, 077 [7,		(339 [1 (334 [1		4 [4 [-	(1, (1,	180) 163)	(9, 249 (9, 119		(11	8)	(13, 076〔5, 929〕) 視聴覚資料
設備				44,	718 (8	255)	348 [1	34)	4 [1)	12	49					21, 333 (20, 786) 21, 894 (21, 157) 21, 948 (20, 961)
					268 [8 202 [8		345 (1 342 (1		4 [4 [12 12	63 58	9,	639		118	表中の学術雑誌・電子ジャー ナル数は、カウント方法を変 更したために訂正(29)。
		計		(42	843 [7,	0001.)	(344 [1	327)	4 [n	(1,	188)	(9, 379)			機械・器具、標本は、学部単
				(41,	433 [7, 077 [7,	957))		31)	4 [4 [i)	(1, (1,	180)	(9, 249 (9, 119)	(11	8)	位での特定不能なため、大学 全体の数
(C) =		*	& ±		面		積		閲覧層	医席 数	1	収	納可	能	m	数	1. # A /L
(6) 図		書	館				4, 476. 25	m²			472				256,	020⊞	-大学全体
					面		積			体育館以	外のスポ	ピーツ施	設の概要				大学全体
(7) 体		育	館				2, 884. 33		場			弓道場					体育館面積の差異は改築 に伴う計画と登記上の面
	1		_	,	^	Τ.	2, 864. 00	1111	1	^	88=n -		88=n. <i>F</i> -	<u></u>	- -	/- /-	積の誤差である(30)
(9)		経費の見	数昌 1		分皿如理		開設年度 350エロ	完成年度		分 : 購 7 弗		004四	開設年 2 762		完成		-
(8) 経費の)見	の見 積り		人当り 研 3			350千円	350 1 800 1		購入費		00千円 千円	2, 762- 320-			71千円 90千円	届出学部全体
積り及 維持方	zび i法	学生 -	八当	I	1 年次	न	第2年次	1	3年次	第4年		1	320- 5 年次		第6年		- 図書費には電子ジャーナ ル・データベースの整備
の概	要	Ļ	I 人ヨ J J J		1, 280千	Щ	第2年次 1,030千	-	3 年次 1,030千円		F次)30千円		ゥ 年火 				費(運用コスト含む)を含む。
	ŀ			以外の組			壬粉料		i,030千円 直補助金収力	-		 当金収 <i>기</i>					
		子生	州小玉	以かり	唯 付 力 》	ないがき			り維持を図								

(注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び「(2) 校舎」は大学全体の数字を、その他の 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、 その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	常	磐大	学大	学院	2					備	
八子切石亦	173					ш н 1 Ж	定員変更			ИН	77
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地		
	年	人	年次	人		倍	年度	年度	年度		
人間科学研究科			人								
人間科学研究科博士課程(後期)	3	2	-	6	博士 (人間科学)	0.00	-	平成5	茨城県水戸市	平成28年	より定員減
人間科学専攻修士課程	2	10	-	20	修士 (人間科学)	0. 55	_	平成元	- 見和一丁目 430番地の1		
大学院全体		12		26		0.30			-		
大学の名称	常	磐大	学							備	考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地		
	年	人	年次	人		倍	年度	年度	年度		
人間科学部		396	人	1, 581	学士	1. 03	_	昭和58]		
	,			·	(人間科学) 学士					平成31年4	月3年次編入
心理学科	4	90	- 3年次	365	(人間科学)	1.03	_	平成20		学定員募集	,70〜ス幅へ €停止 5→0 月3年次編入
教育学科	4	66	4	244	学士 (人間科学)	1. 16	_	平成20		学定員変更	₹ 2→4
初等教育コース	4	50	3年次 2	183	学士 (人間科学)	1.06	-	平成26		平成31年4 学定員変更	月3年次編入 ₹ 1→2
中等教育コース	4	16	3年次 2	61	学士 (人間科学)	1.48		平成26		平成31年4 学定員変更	月3年次編入 ₹ 1→2
現代社会学科	4	90	-	354	学士 (人間科学)	1. 19	-	平成16			月3年次編入 §停止 4→0
コミュニケーション学科	4	70	-	294	学士 (人間科学)	0. 65	-	昭和58			月3年次編入
健康栄養学科	4	80	-	324	学士 (人間科学)	1. 13	_	平成20		平成31年4	月3年次編入 『停止 4→0
<u>総合政策学部</u>		245	_	735	学士 (総合政策学)	0. 97	_	平成29		一 足员 务 者	elt III. 4 . 0
経営学科	4	85	-	255	学士 (総合政策学)	1. 28	_	平成29	茨城県水戸市		
	4	75	_	225	学士 (総合政策学)	0. 77	_	平成29	・ 見和一丁目 430番地の1		
<u>総合政策学科</u>	4	85	-	255	学士 (総合政策学)	0. 85	_	平成29			
国際学部		_	-	_	学士 (国際学)	_	-	平成8		平成29年学	生募集停止
経営学科	4	-	-	_	学士 (国際学)	_	_	平成20		※平成29年学 (3年次編入学 4月募集停止)	生募集停止 空員は平成31年
英米語学科	4	-	-	-	学士 (国際学)	-	-	平成16		※平成29年学	生募集停止 空員は平成31年
コミュニティ振興学部		-	-	-	学士 (コミュニティ振興 学)	_	_	平成12			生募集停止
コミュティ文化学科	4	-	-	_	学) 学士 (コミュニティ振興 学)	-	-	平成12		※平成29年学: (3年次編入学 4月募集停止)	生募集停止 空員は平成31年
地域政策学科	4	-	-	-	デ/ 学士 (コミュニティ振興 学)	_	_	平成18		※平成29年学	生募集停止 空定員は平成31年
ヒューマンサービス学科	4	-	-	-	デ/ 学士 (コミュニティ振興 学)	_	_	平成12		※平成29年学	生募集停止 空戻員は平成31年
看護学部		80		160	学士 (看護学)	1. 17	_	平成30	茨城県水戸市 見和一丁目 430番地の1		
看護学科	4	80		160	学士 (看護学)	1. 17	_	平成30	茨城県東茨城郡 茨城町桜の郷 280番地		
大学全体		721		2, 476		1. 01					
大学の名称	常	磐短	期大	学						備	考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地		
	年	人	年次	人		倍	年度	年度	年度		
キャリア教養学科	2	100	人	200	短期大学士 (キャリア教養学)	0. 81	_	平成15	茨城県水戸市		
幼児教育保育学科	2	140	_	280	短期大学士	0. 93	_	昭和43	- 見和一丁目 430番地の1		
大学全体	_	240	_	480	(幼児教育保育学)	0.88	_	昭和43	T		
							1			l	

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び 高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。 (専攻科及び別科を除く)。
 - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている 場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を 記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附帯事項	等	履行状況		今後の の実施計画
	・完程を関する性が、では、、では、、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	留意事項	総合政策学科では、12名 の専任教員に対して、3名の 教員が完成年度前に定年年 齢を超えることとなる。た だし、その他の教員の年齢 は各年代に分散しており、 編制上均衡を維持してい る。(29)	履行中	該当する3名の担当分野について、完成年度までには計画的に募集を行い充当する。その際、学科内の教員の年齢構成に留意し、組織編制の適正化を図る。(29)
認可時(平成29年)	・人一を発生を表示して、 ・人のでは、 ・人のでは	留意事項	平成29年度の人間科学部 コミュニケーション学科の 入学者数は前年の36名から 43名に増加したものの、 学定員充足率は0.61に止 学定った。 カリとまでが、カリキュー、 キュラ、入学定員を80名か 70名に変更している。 (29)	履行済	では実ど験視のすにの 29年にかります。 では、シャーのでは、 では、シャーのでは、 では、シャーのでは、 では、シャーのでは、 では、シャーのでは、 では、シャーのでは、 では、シャーのでは、 では、、 では、、 では、、 では、、 でいでも、 でいでも、 でいでも、 でいでも、 でいでも、 でいでも、 でいでも、 でいでも、 でいでも、 でいでも、 でいでも、 でいでも、 でいでも、 でいでも、 でいでも、 でいでも、 でいでも、 でいでも、 でいがす上会校解の入 でいますに、 でいでも、 でいがすと、 でいでも、 でいがすと、 でいでも、 でいがする。 でいが、 でいがする。 でいが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがががががががががががががががががががががががががががががががががががが
	・総合政策学部法律行政学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となってとから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見るしについて検討すること。	改善意見	総合政策学部法律行政学 科の平成30年度定員充足率 平均0.59倍であった。入学 者数は、29年度の39名から 平成30年度は50名で対前年 比128%と増加したものの留 意事項0.7倍には未達であっ た。(30)		設置2年目となり、広報活動による、学科の特色等の周知の効果も出ている活動の決を図る。また大会では表するとして、大会では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年)	・総合政策学部総合政策学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見しについて検討すること。	改善意見	総合政策学部総合政策学 科の平成30年度定員充足率 は0.7倍であった。入学者数 は、平成29年度の58名から 平成30年度は62名へと増加 した。(30)	履行済	
	・同一設置者が設置する既設書等(人間ション学のでは、 一般では、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、	改善意見	人間科学部コミュニケーション学科の平成30年度定員充足率は平均0.6倍であった。入学者数は平成29年度の43名から平成30年度は49名に増加し、単年度では0.7倍に達したものの、平均で未達であった。(30)	履行済	グローバルコミュニケーション領域に関する周のでは、 ・ はないでは、 ・ はないではないではないでは、 ・ はないではないではないではないではないではないではないではないではないではないで

区 分	附帯事項等	履行状況	今後の の実施計画
前 宜 吋	・入学定員未充足の改善 善に努めること。(総 指摘事項 合政策学部法律行政学 (改善) 科)	総合政策学部法律行政学科 の令和元年度入学定員充足 率は、1.14倍であった。 (元) 履行済	

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。</u>) と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、<u>当該大学に付された指摘を</u> 全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<総合政策学部 経営学科>

(1) 設置計画変更事項等

	設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
1	語学科目の配置(教育課程編成の考え方)	① 英語を中心とした語学教育に注力するため、既設学部とともに全学的に「語学科目」の配置を一部変更し、必修英語以外の語学科目はすべて選択科目とした。(別添「新旧対象表」参照)(29)
2	卒業要件(教育方法、履修指導方法及び卒業要件)	② 上記①の変更に伴い、「卒業要件」の内訳を一部変更 した。 (別添「新旧対象表」参照) (29)
3	取得可能な資格	③ 学生の進路選択をより広範なものとすること等を目的として、「高等学校教諭一種免許状(商業)」の資格を取得するための教職課程認定申請と学則変更(平成30(2018)年度入学生より適用)を行った。(29)上記教職課程の認定を受けた(平成29年12月4日付29文科初第1143号)ことに伴い、「司書教諭」の資格を取得するための学則変更(平成30(2018)年度入学生より適用)を行った。(30)
4	学科専攻科目の配置(教育課程編成の考え方)	④ 上記③に対応するため、学科専攻科目に選択科目(1 科目・2単位)を追加した。(別添「新旧対象表」参照) (29)

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

「常磐大学ファカルティ・ディベロップメント委員会」を設置している。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

2018年度は5回開催。

委員会はの構成員は14名(うち教員13名)である。構成員の内訳は次のとおり。

- · 副学長(1名)
- ・各学部において各学科から選出された者(11名)
- ・総合講座委員会において委員のうちから選出された者(1名)
- ・学事センター統括【事務職員】(1名)
- c 委員会の審議事項等 ※「常磐大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程」第3条
- ・FD(ファカルティ・ディベロップメント、以下同じ)に関する研究活動・FD推進のための企画および実施に関すること
- ・FDに関する報告書等の作成に関すること
- その他FDの推進に関すること
- ② 実施状況
 - a 実施内容 b 実施方法 および c 開催状況(教員の参加状況含む)

1) 授業アンケート 学生を対象に、授業の内容、教員や学生自身の授業に対する姿勢・取り組み、到達度等に関するアンケート調査を 実施。2018年度の実施状況等は次項③参照。

2) FDフォーラム

教職員を対象に、本学教員による講演や事例報告からなる集会を開催。2018年度は「新学習指導要領と大学入試改 革」をテーマとして開催し、113名(専任教員58名〔全体の約46%〕、併設短期大学の専任教員4名および事務職員 等51名)が参加。(開催日:2019年3月6日)

3)新任教員研修

新任教員を対象に、着任後直ちに必要となる業務に関するオリエンテーション等を実施。2018年度はFD委員2名および新任教員12名が参加。(実施日:2019年3月27日)

- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
- 1)授業アンケート 次項③参照。
- 2) FDフォーラム

フォーラムを通じて得た知見や情報を活用して、各教員が授業の充実や改善に取り組んでいる。2018年度は、今後本学へ入学する学生がどのような教育を受けて大学のスタート地点に立つのか、そして2020年度以降の大学入試改革に向けて本学にどのような取組みが求められるのか等について共通理解をはかるとともに、授業への活用に資する情報の共有等に取り組んだ。

3)新任教員研修

新任教員が本学における業務をスムーズに遂行できるよう、現在は学内諸業務への円滑な導入に重点を置いた内容となっている。今後は授業改善の視点も加えながら運営の充実や改善に取り組む必要がある。

- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期

実施の有無: 有/実施時期: 春セメスターまたは秋セメスターの期末(年1回)

b 教員や学生への公開状況。方法等

授業科目ごとの評価結果を授業担当教員にフィードバックするとともに、集計結果をまとめた「報告書」を作成し 学内で閲覧できるようにしている。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

「該当なし」

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

総合政策学部設置の目的は、地方創生の役割を担い、現代社会が直面する諸問題の解決策を提案できる実践的な能力を備えた人材を養成することである。

開設3年目となる2019(令和元)年度においても、学部および各学科のアドミッションポリシーに基づき、事前に計画した入学者選抜方法により入試を実施し、入学生を迎え入れた。すべての学科で入学定員を超える学生を確保することができなので、学生確保というとにないて日的は達成できている。

とができたので、学生確保という点において目的は達成できている。 今後も設置計画に基づいて確実に教育課程を実施するとともに、学科の特色の周知等をはじめとする広報活動についても一層の推進を図る。

- ② 自己点検·評価報告書
 - a 公表 (予定) 時期
 - ・令和5年5月1日までに公表
 - b 公表方法
 - ・自己点検・評価報告書を刊行し、関係諸機関、役員および教職員等に配付予定
 - ・本学ホームページ上 (http://www.tokiwa.ac.jp/tokiwa/report/index.html) に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

令和5年度までに評価機関(公益財団法人大学基準協会)の評価を受けるべく、学内で検討中。なお、本学は、平成28 (2016) 年度に公益財団法人大学基準協会による大学評価(認証評価)を受審した。評価の結果、本学は同協会の大学 基準に適合していると認定された。認定の期間は令和6 (2024) 年3月31日までとなる。

(注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

0	設置計画履行状況報告書(令和元年度)			
0	設置計画履行状況報告書			
a	a ホームページへの公表予定の有無	(有 · 無)	
b	公表有の場合の公表(予定)時期	(令和元 年 7 月 1 日)	
k	o 公表無の場合の特段の理由 ()	

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、 「無」にマルを記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人常磐大学

- (2) 大 学 名 常磐**大**学
- (3) 調査対象大学等の位置

〒310-8585 茨城県水戸市見和1丁目430番地の1

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を())書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載して ください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変 更 状 況	備考
理事長	(モリ セイイチ) 森 征一 (平成26年11月)	(オビツ シゲヒデ) 小櫃 重秀 (平成31年4月)	任期満了に伴う変更 平成31年4月1日 (元)
学長	(トミタ ノブホ)	(トミタ ケイコ)	任期満了に伴う変更
	冨田 信穂	富田 敬子	平成31年4月1日
	(平成27年4月)	(平成31年4月)	(元)
学 部 長	(ヒガノ コウキ)	(シオーマサユキ)	前任者役職昇格に伴う変更
	日向野 弘毅	塩 雅之	平成31年4月1日
	(平成29年4月)	(平成31年4月)	(元)
学科長等	(イワタ アツシ)	(ヨシダ ツトム)	前任者体調不良による辞退
	岩田 温	吉田 勉	平成31年4月1日
	_(平成29年4月)	(平成31年4月)	(元)

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ()書きで記入してください。
 - (例) 平成30年度に報告済の内容 → (30) 令和元年度に報告する内容 → (元)
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) · 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください (入試 区分ごとではありません)。
 - ・ <u>なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位</u> <u>(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。</u>
 - ・ <u>様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)です</u>が、 完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、 5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を 記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	備考		
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	1/III
総合政策学部 法律行政学科	法学関係	年 4	人 75	年次 一	人 300	
学士(総合政策学)						

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 - ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -(2) 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平均入学定員	開設年度から 報告年度まで	備考
区分		春季入学 その他の学期		春季入学 その他の学期	超 過 率	の平均入学定 員超過率	V⊞ ~7⊐
A 入学定員	75人 — 75 (—) [—]	75人 — 75 (—) [—]	75人 — 75 (—) [—]	() []			
志願者数	70 — (—) (—) [—] [—]	90 — (—) (—) [—] [—]	169 — (—) (—) [—] [—]	()()			
受験者数	70 — (—) (—) [—] [—]	90 — (—) (—) [—] [—]	168 — (—) [—]	()()	0. 77倍	_	
合格者数	69 — (—) (—) [—] [—]	84 — (—) (—) [—] [—]	155 — (—) (—) [—] [—]	() ()			
B 入学者数	39 — (—) (—) [—] [—]	50 — (—) (—) [—] [—]	86 — (—) (—) [—] [—]	() ()			
入学定員超過率 B/A	0. 52	0.66	1. 14	·			

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ ()内には、<u>編入学の状況について**外数で**記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「一」を記入してください。
 - ・ <u>転入学生は記入しない</u>でください。
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 - ・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ 記入してください。完成年度を越えていない場合は「一」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度	平成2	9 年度	平成 3	0年度	令和元	元年度	令和	12年	度		備
学年	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入	学 その	他の学期		ин
	39	_	50	_	86	_					
1 年次	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]]] []		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)					
			38	_	47	_					
2年次	/		[-]	[-]	[-]	[-]	[][]		
			(-)	(-)	(-)	(-)	() ()		
					37	_					
3 年次	/				[-]	[-]	[] []		
					(-)	(-)	() ()		
4 年次	/						[] []		
							() ()		
	3	19	8	8	17	70					
計	[-]	[-]	[-]]]		
	(—)	(—)	(—)	()		

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ []内には、 $\underline{\mathbf{G学生の状況について$ **内数で** $記入}}$ してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・()内には、 $\underline{\mathbf{BF4}$ の状況について、内数で記入してください。 $\underline{\mathbf{i5}}$ 当がない年には「-」を記入してください。

 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分				内訳		ナかり尚遠古
対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	入学した年度	退学	者数	主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
					うち留学生数	
平成29年度	39 人	1 人	平成29年度	1 人	0 人	就職(1人)
平成30年度	89 人	3 人	平成29年度	1人	0 人	除籍(1人)
十成00年及	89 🔨	3 人	平成30年度	2 人	0 人	就学意欲の低下(2人)
	170 人		平成29年度	人	人	
令和元年度		0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
令和2年度	人	,	平成30年度	人	人	
D THE TIX			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
合 計		4 人		人	人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、<u>留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入</u>してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(O人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

<u>平成29年度の退学者数(a)</u> 平成29年度の在学者数(b)	=	<u>1</u> 39	=	2.56 %
【平成30年度】 平成30年度の退学者数(a) 平成30年度の在学者数(b)	· =	<u>3</u> 89	=	3.37 %
【令和元年度】 <u>令和元年度の退学者数(a)</u> 令和元年度の在学者数(b)	- =	<u>0</u> 170	=	0 %
【令2年度】 <u>令和2年度の退学者数(a)</u> 令和2年度の在学者数(b)	- =	0 0	=	#DIV/0! %

(注)・ <u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示</u>されます。

2 授業科目の概要

<総合政策学部 法律行政学科>

(1)一① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科		授業科目の名称	配当	必	単位数 選	自	教	准准	員等	助	直 助	兼任.
区:	分	授業科目の名称	年 次	修	扱択	由由	· 报	准教授	師	教	斯手	兼担
T		哲学・倫理学	1-2-3-4前-後		2				L DIP	32		1
		人間と宗教	1-2-3-4前-後		2							1
		文学	1-2-3-4前-後		2							1
	Ţ	心理学	1-2-3-4前-後		2							'
	文	1										
	系		1-2-3-4前-後		2							
		歴史学	1-2-3-4前-後		2							1
		地理学	1-2-3-4前-後		2							1
		言語文化論	1-2-3-4前-後		2							1
		法学	1-2-3-4前-後		2							1
		日本国憲法	1-2-3-4前-後		2							1
	社	経済学	1-2-3-4前-後		2							-1
	会	政治学	1-2-3-4前-後		2		1					
	系	社会学	1-2-3-4前-後		2							1
		地域社会論	1-2-3-4前-後		2							1
		文化論	1-2-3-4前-後		2							1
		著作権と情報倫理	1-2-3-4前-後		2							1
	-	生態学	1-2-3-4前-後		2							
		^{主忠子} 物質とエネルギー	1-2-3-4前-後						l			1
	自				2							1
	然	土力とルナ	1-2-3-4前-後		2							
	系		1-2-3-4前-後		2							1
教		科学技術論	1-2-3-4前-後		2							1
養科	i L	科学史	1-2-3-4前-後		2							1
E		生理学	1-2-3-4前-後		2							1
		心の科学	1-2-3-4前・後		2							1
	健		1-2-3-4前-後		2							1
	康系		1-2-3-4前-後		2							1
		生命の科学	1-2-3-4前-後		2							1
		食と健康	1-2-3-4前-後		2							1
	H	情報の科学	1-2-3-4前-後		2							1
学部	**	情報化と社会										
が	理		1-2-3-4前-後		2							1
甬		数学	1-2-3-4前-後		2							
計	情報	· · / (/ / C pill - 2	1-2-3-4前-後		2							1
1	系	ウェブデザイン基礎演習	1-2-3-4前-後		2							1
		グラフィックデザイン基礎演習	1-2-3-4前-後		2							1
		文献講読	1-2-3-4前-後		2							1
		日本語表現演習	1-2-3-4前-後		2							1
		ディベート	1-2-3-4前-後		2							1
	実	伝統文化論	1-2-3-4前-後		2							1
	践		1-2-3-4前-後		2							1
	系	芸術鑑賞論	1-2-3-4前-後		2							1
		身体運動の原理	1-2-3-4前-後		2			Ì	ĺ			1
		健康スポーツA	1-2-3-4前-後		1			Ì	ĺ			1
		健康スポーツB							l			
F	1_		1-2-3-4前-後	_	1		-		<u> </u>	-		1
		英語Ⅰ	1前・後	2						1		3
		英語Ⅱ	1前・後	2				Ì	ĺ	1		3
		英語Ⅲ	1前・後	2					l	1		3
		英語Ⅳ	1前·後	2					l	1		3
		英語V	2前・後	2					l	1		3
		英語VI	2前・後	2				Ì	ĺ	1		3
		上級英語 I	1-2-3-4前-後		2				l			1
		上級英語Ⅱ	1-2-3-4前-後		2				l			1
	語学	上級英語Ⅲ	3・4前・後		2			Ì	ĺ			1
	子科	上級英語Ⅳ	3・4前・後		2			Ì	ĺ			1
	Ħ	中国語 I	1-2-3-4前-後		2				l	1		ľ
								Ì	ĺ			
		中国語Ⅱ	1-2-3-4前-後		2				l	1		
		中国語Ⅲ	1-2-3-4前-後		2				l	1		
		中国語IV	1-2-3-4前-後		2			Ì	ĺ	1		
		韓国·朝鮮語 I	1-2-3-4前-後		2				l			1
- 1		韓国・朝鮮語Ⅱ	1-2-3-4前-後		2							1
1										1	1	
		韓国・朝鮮語皿	1-2-3-4前-後		2							1

【令和元年度】

					Ĺ	单位数	Į.	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼		
_			+5 W		修	択	由	授	授	師	教	手	担
			哲学・倫理学 人間と宗教	1-2-3-4前-後		2							1
			文学	1・2・3・4前・後		2		1					2
		人	心理学	1・2・3・4前・後		2		·					2
		文系	思想史	1・2・3・4前・後		2							2
			歴史学	1・2・3・4前・後		2							3
			地理学	1・2・3・4前・後		2							1
		Ц	言語文化論	1・2・3・4前・後		2							1
			法学	1・2・3・4前・後		2		1					
			日本国憲法 経済学	1-2-3-4前・後		2		1					2
		社会	政治学	1-2-3-4前-後		2		1					-
		系	社会学	1・2・3・4前・後		2							1
			地域社会論	1・2・3・4前・後		2			1				3
			文化論	1・2・3・4前・後		2							2
			著作権と情報倫理	1・2・3・4前・後		2		1					1
			生態学	1・2・3・4前・後		2							1
		白	物質とエネルギー	1・2・3・4前・後		2							1
		然	生活と化学 宇宙の科学	1-2-3-4前-後		2							2 1
	教	系	チョの科チ 科学技術論	1・2・3・4前・後		2							1
	7.養科		科学史	1・2・3・4前・後		2							1
	目	П	生理学	1・2・3・4前・後		2							2
			心の科学	1・2・3・4前・後		2							2
		健康	公衆衛生学	1・2・3・4前・後		2							1
		系	生命倫理	1・2・3・4前・後		2							2
			生命の科学	1・2・3・4前・後		2							3
		Н	食と健康(未開講)	1・2・3・4前・後		2							4
学部		数	情報の科学 情報化と社会(未開講)	1-2-3-4前-後		2							1
共		理.	数学	1・2・3・4前・後		2							1
通科		情	パズルと論理	1・2・3・4前・後		2							1
Ħ		報系	ウェブデザイン基礎演習	1・2・3・4前・後		2							1
			グラフィックデザイン基礎演習	1・2・3・4前・後		2							1
			文献講読	1・2・3・4前・後		2							2
			日本語表現演習	1・2・3・4前・後		2							3
			ディベート	1・2・3・4前・後		2							1
		実	伝統文化論	1・2・3・4前・後		2							1
		践系	創作文化演習 芸術鑑賞論	1-2-3-4前-後		2		1					2
			云 _{州鑑貞 調} 身体運動の原理	1・2・3・4前・後		2		'					1
			健康スポーツA	1・2・3・4前・後		1							2
			健康スポーツB	1・2・3・4前・後		1							2
			英語 I	1前·後	2								6
			英語Ⅱ	1前・後	2								6
			英語皿	1前・後	2								6
			英語Ⅳ	1前·後	2								6
			英語 V 英語 VI	2前·後 2前·後	2								6
			央語Ⅵ 上級英語 I	2 削・仮 1・2・3・4前・後		2							5
			上級英語Ⅱ	1・2・3・4前・後		2							3
	9 0	吾学	上級英語Ⅲ	1-2-3-4前-後		2							2
	Ŧ	4	上級英語Ⅳ	1-2-3-4前-後		2							3
	E	3	中国語 I	1・2・3・4前・後		2			1				1
			中国語Ⅱ	1・2・3・4前・後		2			1				1
			中国語皿	1・2・3・4前・後		2			1				
			中国語Ⅳ	1・2・3・4前・後		2			1				,
			韓国・朝鮮語 I 韓国・朝鮮語 II	1·2·3·4前·後 1·2·3·4前·後		2							2 2
			韓国・朝鮮語皿	1・2・3・4前・後		2							1
			韓国·朝鮮語IV	1・2・3・4前・後		2							1
<u> </u>		_	1/2 mi HM **					-					

【認可時又は届出時】

1.	0		#1 V	Ĺ	单位数	女	_		員等			兼任
	4目	授業科目の名称	配 当年 次	必	選	自	教	准教	講	助	助	· 兼
-		ドイツ語 I	1-2-3-4前-後	修	択 2	由	<u>授</u>	授	師	教	手	担
		トイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ	1-2-3-4前-後		2		1					
		ドイツ語皿	1-2-3-4前-後		2		ľ					1
		ドイツ語Ⅳ	1-2-3-4前-後		2							1
		フランス語 I	1-2-3-4前-後		2							1
		フランス語Ⅱ	1-2-3-4前-後		2							1
		フランス語Ⅲ	1-2-3-4前-後		2							1
		フランス語Ⅳ	1-2-3-4前-後		2							1
	a.T	スペイン語 I	1-2-3-4前-後		2							1
	語学	スペイン語Ⅱ	1-2-3-4前-後		2							1
	科目	スペイン語皿	1-2-3-4前-後		2							1
	п	スペイン語Ⅳ	1-2-3-4前-後		2							1
		日本語 I 日本語 II	1-2-3-4前-後		2							1
		日本語皿	1-2-3-4前-後		2							1
		日本語Ⅳ	1-2-3-4前-後		2							1
		日本語V	1-2-3-4前-後		2							1
学		日本語VI	1-2-3-4前-後		2							1
部		日本語VII	1-2-3-4前-後		2							1
部共通		日本語Ⅷ	1-2-3-4前-後		2							1
i i	全	学びの技法 I	1前·後	2			3					
3	学	学びの技法Ⅱ	1前·後	2			3					
	基本	統計の基礎	1前·後	2								1
	科目	情報の処理 I	1前・後	2								2
ļ		情報の処理Ⅱ	1前・後	2								2
	十十	キャリア形成と大学	1前・後	2								1
	リア	キャリア形成と産業社会	2前・後		2							1
	教育	キャリア演習 I キャリア演習 II	2前・後		2							1
	科	インターンシップ	3前・後 2・3・4前・後		2							1
ŀ	目	プロジェクトA	2・3・4通		4			1				1
	特	プロジェクトB	3・4通		4			1				1
	別企	プロジェクトC	2·3·4前·後		2			1				1
	画	海外研修A	1-2-3-4前-後		2							1
	科目	海外研修B	1-2-3-4前-後		2					1		
L		海外研修C	1-2-3-4前-後		2							1
	柱 雅 存	総合政策概論 I	1前	2			1					2
	目基 本	総合政策概論 Ⅱ	1後	2			1					2
		小計 (99科目)	-	28	166	0	5	1	0	2	0	兼4
		法学原論	1・2前・後	2								1
		憲法Ⅰ	1・2前・後	2				1				
		民法Ⅰ	1・2前・後	2			1					
		民法Ⅱ	1・2前・後	2			1					
		刑法 I 刑事訴訟法	1·2前·後 1·2前·後	2				1				
	学	刑事訴訟法 民事訴訟法	1・2前・後	2			1	'				
	科基	国際法	1・2前・後	2			1					1
	本	政治学原論	1・2前・後	2								1
	科目	政治制度	1・2前・後	2			2					Ī
		国際政治	1・2前・後	2			1					1
		行政学	1・2前・後	2			1					
		行政法I	1・2前・後	2				1				
		基礎ゼミナール	2前	2			2			1		
学		小計 (14科目)	-	28	0	0	4	2	0	1	0	兼2
学科專文		憲法Ⅱ	2-3-4前-後		2			1				
4		民法Ⅲ	2・3・4前・後		2		1					
∄		民法Ⅳ	2·3·4前·後		2		1					,
		商法 I 商法 II	2·3·4前·後		2							1
		労働法	2-3-4前・後		2							1
		地方自治法	2-3-4前・後		2			1				l
	法	行政法Ⅱ	2・3・4前・後		2			1				
		租税法	2·3·4前·後		2							1
	律行				2							1
	行政	経済法	2-3-4前・後		۔ ا			1	l	Ì		
	行		2·3·4前·後 2·3·4前·後		2							
	行政分	経済法			2							1
	行政分	経済法 環境法	2・3・4前・後									1
	行政分	経済法 環境法 国際私法	2·3·4前·後 2·3·4前·後		2							
	行政分	経済法 環境法 国際私法 外国法 法制实 法学演習 I	2·3·4前·後 2·3·4前·後 2·3·4前·後 2·3·4前·後 3·4前·後		2 2 2 2		2	1				1
	行政分	経済法 環境法 国際私法 外国法 法制史	2·3·4前·後 2·3·4前·後 2·3·4前·後 2·3·4前·後		2 2 2		2 2 2					1

【令和元年度】

Г	科目区分 授業科目の名称			ì	单位数	λt	ゥ	.仟数	昌等	の配	置	兼
		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
	נעב		+ 4	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
		ドイツ語 I	1-2-3-4前・後		2		1					
		ドイツ語Ⅱ	1・2・3・4前・後		2		1					
		ドイツ語皿	1-2-3-4前・後		2		1					
		ドイツ語Ⅳ フランス語 I	1·2·3·4前·後 1·2·3·4前·後		2		1					1
		フランス語 I フランス語 II	1-2-3-4前・後		2							1
		フランス語皿	1・2・3・4前・後		2							1
		フランス語Ⅳ	1・2・3・4前・後		2							1
		スペイン語 I	1・2・3・4前・後		2							1
	語学	スペイン語Ⅱ	1・2・3・4前・後		2							1
	科目	スペイン語皿	1-2-3-4前・後		2							1
	П	スペイン語Ⅳ 日本語 I	1·2·3·4前·後 1·2·3·4前·後		2							1
		日本語Ⅱ	1-2-3-4前・後		2							1
		日本語皿	1・2・3・4前・後		2							1
		日本語Ⅳ	1・2・3・4前・後		2							1
		日本語V	1・2・3・4前・後		2							1
学		日本語VI	1・2・3・4前・後		2							1
学部共通		日本語Ⅵ	1-2-3-4前-後		2							1
通科		日本語 歴 学びの技法 I	1・2・3・4前・後	2	2		•					1
目	全学	子びの技法Ⅱ 学びの技法Ⅱ	1前・後	2			2					
I	基本	統計の基礎	1前・後	2			1					1
	科	情報の処理 I	1前・後	2								3
	Ш	情報の処理Ⅱ	1前・後	2								2
	ナヤ	キャリア形成と大学	1前・後	2								3
	リア	キャリア形成と産業社会	2前・後		2							1
	教育	キャリア演習Ⅰ	2前・後		2							1
	科	キャリア演習 Ⅱ インターンシップ	2前·後 2·3·4前·後		2		1					1 2
	目	プロジェクトA	1.2.3.4		4		÷					2
	特	プロジェクトB	2-3-4通		4		1					2
	別企	プロジェクトC(未開講)	1-2-3-4前-後		2							
	画科	海外研修A	1・2・3・4前・後		2			1				9
	目	海外研修B	1・2・3・4前・後		2			1				9
	学	海外研修C	1・2・3・4前・後	_	2			1				9
	科部 目基	総合政策概論Ⅰ	1前	2				1				4
-	本	総合政策概論 II 小計 (99科目)	1後	28	166	0	7	2	0	0	0	4 兼55
-		法学原論	1前・後	2	100	0	<u> </u>	4	0	0	0	1
		憲法Ⅰ	1前・後	2			1					·
		民法 I	1前・後	2			1					
		民法Ⅱ	2前・後	2			1					
		刑法 I	1前・後	2			1					
	学	刑事訴訟法	2前・後	2			1					
	科基本	民事訴訟法 国際法	2前·後 2前·後	2			1					1
	本	国际法 政治学原論	1前・後	2			'					1
	科目	政治制度	2前・後	2			2					'
I		国際政治	2前・後	2			1					
I		行政学	1前・後	2			2					1
I		行政法I	2前・後	2			1					
学		基礎ゼミナール	2前	2	_	_	2	1				J4
学科専		小計 (14科目) 憲法 II	2·3·4前·後	28	0	0	6	1	0	0	0	兼2
攻		憲法Ⅱ 民法Ⅲ	2·3·4前·後		2		1					
科目		氏法™ (未開講)	3-4前-後		2		1					
ľ		商法I	2·3·4前·後		2		1					
I		商法Ⅱ	2·3·4前·後		2		1					
I		労働法(未開講)	2·3·4前·後		2		1					
1	:+	地方自治法	2·3·4前·後		2		1					
I	法律	行政法Ⅱ	2・3・4前・後		2		1					
I	行政	租税法 経済法	2·3·4前·後 2·3·4前·後		2							1 2
I	分野	環境法	2・3・4前・後		2		1					-
I	±ľ	国際私法	2・3・4前・後		2		l .					1
I		外国法(未開講)	2·3·4前·後		2							1
I		法制史	3-4前・後		2							1
I		法学演習 I	3・4前・後		2		5					
1		法学演習Ⅱ	3・4前・後		2		5					
I		法学演習Ⅲ 小計 (1751.日)	3・4前・後	0	34	0	5	0	0	0	0	***
L		小計 (17科目)		V	94	V	Ü	V	V	V	V	兼4

【認可時又は届出時】

Γ		り時又は庙田時	専	任教	員等	の配	置	兼任				
	¥目 ⋜分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助	•
ľ	- / 1		+ %	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
		社会安全政策	2前・後		2		1	1				1
		刑法Ⅱ	2·3·4前·後		2			1				
		犯罪学	2·3·4前·後		2			1				1
		刑事政策	2·3·4前·後		2		1	1				
	社	被害者学	2·3·4前·後		2			2				1
	会	警察法	2·3·4前·後		2		1					
	安全	消防法	2·3·4前·後		2		1					
	全分	防衛法	2·3·4前·後		2		1					
	野	少年法	2・3・4前・後		2			1				
学		消費者法	2・3・4前・後		2							1
科		社会安全政策演習 I	3・4前・後		2		2	1				
専攻		社会安全政策演習Ⅱ	3・4前・後		2		2	1				
学科専攻科目		社会安全政策演習Ⅲ	3・4前・後		2		2	1				
Ħ		小計 (13科目)	-	0	26	0	4	2	0	0	0	兼2
		防災概論(消防と防災)	1前・後		2							2
		危機への対処 (リスクマネジメント) I	2・3・4前・後		2							1
		危機への対処 (リスクマネジメント) II	2・3・4前・後		2							1
	関	災害救援(ボランティア論を含む)	2・3・4前・後		2							1
	連科	救急法の理論と実際	1-2-3-4前-後		2							1
	Ħ	経済学原論	1-2-3-4前-後		2							1
		哲学概論	1-2-3-4前-後		2							1
		倫理学概論	1-2-3-4前-後		2							1
		小計(8科目)	-	0	16	0	0	0	0	0	0	兼8
		ゼミナール I	2後	2			6	3		1		
	卒	ゼミナールⅡ	3前	2			6	3		1		
	卒 業 研	卒業論文 I	3後	2			6	3		1		
	究	卒業論文Ⅱ	4前	2			6	3		1		
	卒業論文Ⅲ 4後			2			6	3		1		
		小計 (5科目)	10	0	0	6	3	0	1	0	0	
L		合計 (156科目)	·	12	44	0	7	3	0	2	0	兼50

卒業要件及び履修方法

学部共通科目から必修科目28単位を含む計38単位以上(教養科目:6系の内5系にわたり6 単位以上、語学科目:英語必修科目12単位・選択科目4単位以上、全学基本科目10単位、 キャリア教養科目2単位以上、特別企画科目、学部基本科目4単位)、学科専攻科目から 必修科目28単位および卒業研究10単位を含む計66単位以上を修得し、残りを学部共通科 目、所属学科以外の科目(関連科目を含む)から20単位以上修得し、合計 124単位以上修得すること。学科専攻科目では、修得する66単位のうち、法律行政分野の 「法学演習 I」「法学演習 II」「法学演習 II」「法学演習 II」「社会安全演習 I」「社会安全演習 I」「社会安全演習 I」「社会安全演習 I」「社会安全演習 I」「社会安全演習 I」「社会安全演習 I」を計ら単位のいずれかを選択必修とす る。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

【令和元年度】

		1470 T 15C 2		<u>i</u>	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
	¥目 ≅分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助	•
ľ	- / J		+ %	修	択	ф	授	教 授	師	教	手	兼担
Г		社会安全政策	2前·後		2		1	1				
		刑法Ⅱ	2・3・4前・後		2		1					
		犯罪学	2・3・4前・後		2		1	1				
		刑事政策	2・3・4前・後		2		1					
	社	被害者学	2·3·4前·後		2		1	1				
	会	警察法	2·3·4前·後		2		1					
	安全分	消防法	3-4前-後		2		2	1				
	分	防衛法	2·3·4前·後		2		1					
	野	少年法	2·3·4前·後		2		1					
学		消費者法	2·3·4前·後		2		1					
科		社会安全政策演習 I	3・4前・後		2		4					
専ひ		社会安全政策演習Ⅱ	3・4前・後		2		4					
学科専攻科目		社会安全政策演習Ⅲ	3・4前・後		2		4					
Ħ		小計 (13科目)	-	0	26	0	6	1	0	0	0	0
		防災概論(消防と防災)	1前·後		2							2
		危機への対処(リスクマネジメント) I	2·3·4前·後		2							2
		危機への対処(リスクマネジメント) II	2·3·4前·後		2							2
	関	災害救援(ボランティア論を含む)	2·3·4前·後		2			1				
	連科	救急法の理論と実際(未開講)	1・2・3・4前・後		2							1
	目	経済学原論	1・2・3・4前・後		2							1
		哲学概論	1・2・3・4前・後		2							1
		倫理学概論	1・2・3・4前・後		2							1
		小計(8科目)	-	0	16	0	0	0	0	0	0	兼7
Г		ゼミナール I	2後	2			7	2				
I	卒	ゼミナールⅡ	3前	2			7	2				
ĺ	卒 業 研	卒業論文 I	3後	2			7	2				
ĺ	究	卒業論文Ⅱ	4前	2			7	2				
ĺ		卒業論文Ⅲ	4後	2			7	2				
L	小計 (5科目) -			10	0	0	7	2	0	0	0	0
Γ		合計 (156科目)		12	44	0	8	2	0	0	0	兼62

卒業要件及び履修方法

学部共通科目から必修科目28単位を含む計38単位以上(教養科目:6系の内5系にわたり6 単位以上、語学科目:英語必修科目12単位・選択科目4単位以上、全学基本科目10単位、 キャリア教養科目2単位以上、特別企画科目、学部基本科目4単位)、学科専攻科目から 必修科目28単位および卒業研究10単位を含む計66単位以上を修得し、残りを学部共通科 目、所属学科以は所属学科以外の科目(関連科目を含む)から20単位以上修得し、合計 124単位以上修得すること。学科専攻科目では、修得する66単位のうち、法律行政分野の 「法学演習Ⅱ」「法学演習Ⅲ」「法学演習Ⅲ」合計6単位または社会安全分野の「社会安 全演習Ⅰ」「社会安全演習Ⅲ」「社会安全演習Ⅲ」合計6単位のいずれかを選択必修とす る。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

対点 単位数 寺は牧員寺の配庫 任									兼			
		授業科目の名称	配当	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
区分	r)	XXIII O III	年 次					教				兼担
T	Τ	哲学・倫理学	1-2-3-4前・後	修	択 2	由	授	授	師	教	手	担 1
		人間と宗教	1-2-3-4前-後		2							1
		文学	1-2-3-4前-後		2							1
	人	心理学	1-2-3-4前-後		2							1
	文系	思想史	1-2-3-4前-後		2							1
	-	歴史学	1-2-3-4前-後		2							1
		地理学	1-2-3-4前-後		2							1
		言語文化論	1-2-3-4前-後		2							1
		法学	1-2-3-4前-後		2							1
		日本国憲法	1-2-3-4前-後		2							1
	社	経済学	1-2-3-4前・後		2							1
	会系	政治学	1-2-3-4前-後		2		1					
	210	社女子	1-2-3-4前-後		2							1
		地域社会論	1-2-3-4前-後		2							1
		文化論	1-2-3-4前-後		2							1
	H	著作権と情報倫理	1-2-3-4前・後	<u> </u>	2		<u> </u>					1
	1	生態学	1-2-3-4前-後		2							1
	自	物質とエネルギー 生活と化学	1-2-3-4前-後		2							1
	然	T/11 C 10 T	1-2-3-4前・後		2							1
教	系	科学技術論	1-2-3-4前-後		2							1
教養科		科学史	1-2-3-4前・後		2							1
科目	┢	生理学	1-2-3-4前-後		2							1
Г		心の科学	1-2-3-4前-後		2							1
	健		1-2-3-4前-後		2							1
	康系	生命倫理	1-2-3-4前-後		2							1
		生命の科学	1-2-3-4前-後		2							1
		食と健康	1-2-3-4前-後		2							1
ź		情報の科学	1-2-3-4前-後		2							1
学派专董斗	数理	情報化と社会	1-2-3-4前・後		2							1
Į.	١.	数学	1-2-3-4前-後		2							1
화 클	情報		1-2-3-4前-後		2							1
1	系	ウェブデザイン基礎演習(未開講)	1-2-3-4前-後		2							1
		グラフィックデザイン基礎演習	1-2-3-4前-後		2							1
		文献講読	1-2-3-4前・後		2							1
		日本語表現演習	1-2-3-4前・後		2							1
		ディベート(未開講)	1-2-3-4前-後		2							1
	実践	伝統文化論 創作文化演習	1-2-3-4前-後		2							1
	以 系	芸術鑑賞論	1-2-3-4前-後		2							1
	1	身体運動の原理	1-2-3-4前・後		2							1
	Ì	健康スポーツA	1-2-3-4前・後		1							1
	1	健康スポーツB	1-2-3-4前-後		1							1
T	-	英語 I	1前·後	2								2
		英語 II	1前・後	2								1
		英語Ⅲ	1前・後	2								2
		英語Ⅳ	1前・後	2				1				1
		英語Ⅴ	2前・後	2						1		3
		英語VI	2前・後	2						1		3
		上級英語 I	1-2-3-4前・後		2							1
ī	吾	上級英語Ⅱ	1-2-3-4前-後		2							1
1 4	語学科	上級英語皿	3・4前・後		2							1
1	目	上級英語Ⅳ	3・4前・後		2							1
1		中国語 I	1-2-3-4前-後		2					1		
		中国語Ⅱ	1-2-3-4前-後		2					1		
		中国語皿	1-2-3-4前-後		2					1		
		中国語Ⅳ	1-2-3-4前・後		2					1		
		韓国・朝鮮語Ⅰ	1-2-3-4前-後		2							1
		韓国・朝鮮語Ⅱ	1-2-3-4前-後		2							1
		韓国・朝鮮語皿	1-2-3-4前-後		2							1
		韓国・朝鮮語Ⅳ	1-2-3-4前-後		۷.							1

【平成30年度】

Ť	7	_	以30年度』				_	_				_	**
£.i	_			#7 N/	Ĺ	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科区			授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
_	_				修	択	由	授	授	師	教	手	担
			哲学・倫理学	1・2・3・4前・後		2							1
			人間と宗教	1・2・3・4前・後		2							4
			文学	1・2・3・4前・後		2							2
	-	人文	心理学	1・2・3・4前・後		2							1
		系	思想史	1・2・3・4前・後		2							2
			歴史学	1・2・3・4前・後		2							4
			地理学	1・2・3・4前・後		2							1
	L		言語文化論	1・2・3・4前・後		2							1
			法学	1・2・3・4前・後		2		1					
			日本国憲法	1・2・3・4前・後		2		1					
	1	社	経済学	1・2・3・4前・後		2							4
	1	숲	政治学	1・2・3・4前・後		2		1					
	ż	系	社会学	1・2・3・4前・後		2							1
			地域社会論	1・2・3・4前・後		2							4
			文化論	1・2・3・4前・後		2							4
			著作権と情報倫理	1・2・3・4前・後		2		1					1
	f	1	生態学	1・2・3・4前・後		2							1
			物質とエネルギー	1・2・3・4前・後		2							2
		自	生活と化学	1・2・3・4前・後		2							1
	ź	然	宇宙の科学	1・2・3・4前・後		2							1
*	- 1	系	科学技術論			2							
孝	\$		科学技術調科学史	1・2・3・4前・後		2							1
和 E	ŧ.	4		1・2・3・4前・後									1
E	1		生理学	1・2・3・4前・後		2							1
	Į,	/z=	心の科学	1・2・3・4前・後		2							2
	J.	埬	公衆衛生学	1-2-3-4前・後		2							1
	3	系	生命倫理	1-2-3-4前・後		2							1
			生命の科学	1・2・3・4前・後		2							2
	L		食と健康(未開講)	1-2-3-4前・後		2							1
学			情報の科学	1・2・3・4前・後		2							1
部		数田	情報化と社会	1・2・3・4前・後		2							1
共通		理・	数学(未開講)	1・2・3・4前・後		2							1
科		情	パズルと論理	1-2-3-4前・後		2							2
目		報系	ウェブデザイン基礎演習	1・2・3・4前・後		2							1
	ľ	//\	グラフィックデザイン基礎演習	1-2-3-4前・後		2							1
	ŀ		文献講読	1・2・3・4前・後		2							2
			日本語表現演習	1-2-3-4前-後		2							3
			ディベート	1・2・3・4前・後		2							1
			伝統文化論	1・2・3・4前・後		2							1
		実											1
		践系	創作文化演習	1・2・3・4前・後		2							
	ſ	1	芸術鑑賞論	1・2・3・4前・後		2							
			身体運動の原理	1・2・3・4前・後		2							1
	J		健康スポーツA	1・2・3・4前・後		1							1
Ļ		_	健康スポーツB	1・2・3・4前・後		1							1
			英語 I	1前・後	2				1		1		4
			英語Ⅱ	1前·後	2				1		1		4
			英語Ⅲ	1前·後	2						1		7
			英語Ⅳ	1前·後	2				1		1		7
			英語Ⅴ	2前・後	2				1		1		6
			英語VI	2前・後	2				1		1		6
			上級英語 I	1・2・3・4前・後		2							4
		.	上級英語Ⅱ	1・2・3・4前・後		2							4
	語学	ì	上級英語Ⅲ	1-2-3-4前-後		2					1		3
	科	ŀ	上級英語Ⅳ	1-2-3-4前-後		2					1		2
	目	۱	中国語 I	1-2-3-4前-後		2					1		1
			中国語Ⅱ	1・2・3・4前・後		2					1		
			中国語皿	1・2・3・4前・後		2					1		
						2					1		
			中国語Ⅳ	1・2・3・4前・後							1		
			韓国·朝鮮語I	1・2・3・4前・後		2							1
			韓国・朝鮮語Ⅱ	1・2・3・4前・後		2							1
			韓国・朝鮮語皿	1・2・3・4前・後		2							1
Ц			韓国・朝鮮語Ⅳ	1・2・3・4前・後		2							1

	<u> </u>	成29年度】		2	单位数	th .	声	ムサ	員等	O ⊞⊐	罢	兼
	4目	授業科目の名称	配当	必	半世第	自	教	准	貝守 講	助助	助	任・
2	⊠分	XXIIIOIII	年 次	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
		ドイツ語 I	1-2-3-4前-後		2		1					
		ドイツ語Ⅱ	1-2-3-4前・後		2		1					
		ドイツ語皿	1-2-3-4前-後		2		1					
		ドイツ語Ⅳ	1-2-3-4前-後		2		1					1
		フランス語 I フランス語 II	1-2-3-4前-後		2							1
		フランス語皿	1-2-3-4前-後		2							1
		フランス語Ⅳ	1-2-3-4前-後		2							1
		スペイン語 I	1-2-3-4前-後		2							1
	語学	スペイン語Ⅱ	1-2-3-4前・後		2							1
	科目	スペイン語皿	1-2-3-4前・後		2							1
		スペイン語Ⅳ 日本語 I	1-2-3-4前-後		2							1
		日本語Ⅱ	1-2-3-4前-後		2							1
		日本語皿	1-2-3-4前-後		2							1
		日本語Ⅳ	1-2-3-4前-後		2							1
		日本語 V (未開講)	1-2-3-4前・後		2							1
学		日本語VI	1-2-3-4前・後		2							1
部井		日本語図	1-2-3-4前・後		2							1
学部共通科目		日本語価(未開講) 学びの技法 I	1-2-3-4前・後	_	2		•					1
科目	全学	字ひの技法 I 学びの技法 II	1前·後 1前·後	2			2					
	基	弁びの技法』 統計の基礎	1前・後	2								1
	本科	情報の処理 I	1前・後	2								1
	目	情報の処理Ⅱ	1前・後	2								1
	+	キャリア形成と大学	1前·後	2								1
	IJ	キャリア形成と産業社会	2前・後		2							1
	ア教	キャリア演習Ⅰ	2前・後		2							1
	育科	キャリア演習Ⅱ	3前・後		2							1
	目	インターンシップ プロジェクトA	2·3·4前·後		4			1				1
	特	プロジェクトB	3.4通		4			1				1
	別企	プロジェクトC	2·3·4前·後		2			1				1
	画科	海外研修A	1-2-3-4前・後		2							1
	目	海外研修B	1-2-3-4前-後		2					1		
		海外研修C	1-2-3-4前・後		2							1
	学科部	総合政策概論I	1前	2			1					2
	目基 本	総合政策概論Ⅱ	1後	2			1					2
		小計 (99科目)	-	28	166	0	5	2	0	2	0	兼38
		法学原論 憲法 I	1前·後 1前·後	2				1				1
		民法Ⅰ	1前・後	2			1	'				
		民法Ⅱ	1前・後	2			1					
		刑法 I	1前・後	2				1				
		刑事訴訟法	2前・後	2				1				
	学	民事訴訟法	2前・後	2			1					
	科基	国際法	2前・後	2			1					1
	本科	政治学原論	1前・後	2			_					1
	Ħ	政治制度 国際政治	2前·後 2前·後	2			2					
		国际政况 行政学	2前・後	2			1					
		行政法I	2前・後	2			l .	1				
		基礎ゼミナール	2前	2	L		2		L	1		
学科		小計 (14科目)	-	28	0	0	4	2	0	1	0	兼2
学科専攻		憲法Ⅱ	2·3·4前·後		2			1				
攻科目		民法Ⅲ	3-4前-後		2		1					
目		民法Ⅳ	3-4前-後		2		1					
		商法 I 商法 II	2·3·4前·後 2·3·4前·後		2							1
		労働法	2・3・4前・後		2							1
		地方自治法	2・3・4前・後		2			1				
	法律	行政法Ⅱ	2·3·4前·後		2			1				
	律行	租税法	2・3・4前・後		2							1
	政分	経済法	2・3・4前・後		2							1
	野	環境法	2-3-4前・後		2			1				
		国際私法	2-3-4前・後		2							1
		外国法	2・3・4前・後		2							1
		法制史 法学演習 I	3·4前·後 3·4前·後		2		2	1				1
		法学演習 Ⅱ	3・4前・後		2		2	1				
		法学演習Ⅲ	3・4前・後		2		2	1				
	L	小計 (17科目)	-	0	34	0	3	1	0	0	0	兼5
_											_	

【平成30年度】

Г		从00千尺1		Ĺ	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼
	料目区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助	任・
L	<u></u> 2π		+ 1/4	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
F		ドイツ語 I	1・2・3・4前・後		2		1	-				
		ドイツ語Ⅱ	1・2・3・4前・後		2		1					
		ドイツ語Ⅲ	1・2・3・4前・後		2		1					
		ドイツ語Ⅳ	1・2・3・4前・後		2		1					
		フランス語 I	1・2・3・4前・後		2							1
		フランス語Ⅱ	1・2・3・4前・後		2							1
		フランス語Ⅲ	1・2・3・4前・後		2							1
		フランス語Ⅳ	1・2・3・4前・後		2							1
		スペイン語 I	1・2・3・4前・後		2							1
	語	スペイン語Ⅱ	1-2-3-4前-後		2							1
	語学科	スペイン語皿	1・2・3・4前・後		2							1
	目	スペイン語Ⅳ	1-2-3-4前-後		2							1
		日本語I	1-2-3-4前-後		2							1
		日本語Ⅱ	1-2-3-4前-後		2							1
		日本語皿	1-2-3-4前-後		2							1
		日本語Ⅳ	1・2・3・4前・後		2							2
		日本語V	1.2.3.4前.後		2							2
		日本語VI	1-2-3-4前-後		2							1
学		日本語VI	1-2-3-4前・後		2							2
部共		日本語「四			2							1
通		ロ本語 Will 学びの技法 I	1.2.3.4前.後	2			,					H
科目	全学	字びの技法Ⅱ 学びの技法Ⅱ					2					
	基	字ひの技法Ⅱ 統計の基礎	1前・後	2			4					1
1	本	統計の基礎 情報の処理 I	1前・後	2								1
	科目		1前・後	2								2
	+	情報の処理Ⅱ	1前・後	2			_					2
	ヤ	キャリア形成と大学	1前・後	2	_							1
	リア	キャリア形成と産業社会	2前・後		2							1
	教	キャリア演習Ⅰ	2前・後		2							1
	育科	キャリア演習Ⅱ	3前・後		2			١.				1
	目	インターンシップ	2·3·4前·後		2			1				3
	#±	プロジェクトA	1-2-3-4週		4			1				2
	特別	プロジェクトB	2・3・4通		4			1				2
	企	プロジェクトC(未開講)	1-2-3-4前-後		2		1					1
	画科	海外研修A	1・2・3・4前・後		2					2		9
	目	海外研修B	1・2・3・4前・後		2					2		9
		海外研修C	1・2・3・4前・後		2					2		9
	学 科部	総合政策概論I	1前	2			1					4
	目基 本	総合政策概論Ⅱ	1後	2			1					4
		小計 (99科目)	-	28	166	0	8	2	0	2	0	兼56
		法学原論	1前・後	2								1
		憲法 I	1前・後	2				1				
		民法 I	1前・後	2			1					
		民法Ⅱ	1前・後	2			1					
		刑法I	1前・後	2				1				
	***	刑事訴訟法	2前・後	2				1				
	学科	民事訴訟法	2前・後	2			1					
	基	国際法	2前・後	2			1					1
	本科	政治学原論	1前・後	2								1
I	Ħ	政治制度	2前・後	2			2					
		国際政治	2前・後	2			1					
I		行政学	2前・後	2			1					
		行政法 I	2前・後	2			'	1				
		基礎ゼミナール	2前	2			2	<u>'</u>		1		
学		小計 (14科目)	- 0-1	28	0	0	4	2	0	1	0	兼2
学科専		憲法Ⅱ	2·3·4前·後	20	2	V	_	1	Ÿ		V	AN4
攻		民法Ⅲ	3-4前・後		2		1	'				
科		民法Ⅳ	3・4前・後		2		1					
目		成法I(未開講)	2・3・4前・後		2		1					
		商法Ⅱ			2		1					
I		商法Ⅱ 労働法	2·3·4前·後 2·3·4前·後		2		1					
		労働法 地方自治法	2·3·4前·後		2		l	1				
I	法	地方自治法 行政法Ⅱ			2							
	律		2・3・4前・後					1				
I	行政	租税法(未開講)	2・3・4前・後		2							
I	政分	経済法(未開講)	2・3・4前・後		2							1
1	野	環境法	2・3・4前・後		2			1				
I		国際私法(未開講)	2·3·4前·後		2							1
		外国法	2·3·4前·後		2							1
I		法制史	3-4前・後		2							1
		法学演習 I	3・4前・後		2		2	1				
I		法学演習Ⅱ	3・4前・後		2		2	1				
		法学演習Ⅲ	3・4前・後		2		2	1				
L		小計 (17科目)	-	0	34	0	4	1	0	0	0	兼2
	_											_

Г		灰と9千尺』		Ĺ	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
	¥目 区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助	ı - I
	<u> </u>		+ %	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
		社会安全政策	2前・後		2		1	1				1
		刑法Ⅱ	2・3・4前・後		2			1				
		犯罪学	2・3・4前・後		2			1				1
		刑事政策	2・3・4前・後		2		1	1				
		被害者学	2・3・4前・後		2			2				1
	社	警察法	2・3・4前・後		2		1					
	会安	消防法	3-4前-後		2		1					
	安全分	防衛法	2・3・4前・後		2		1					
	分野	少年法	2・3・4前・後		2			1				
学		消費者法	2・3・4前・後		2							1
科		社会安全政策演習I	3⋅4前・後		2		2	1				
専攻		社会安全政策演習Ⅱ	3⋅4前・後		2		2	1				
学科専攻科目		社会安全政策演習Ⅲ	3⋅4前・後		2		2	1				
Ħ		小計 (13科目)	-	0	26	0	4	2	0	0	0	兼2
		防災概論(消防と防災)	1前・後		2							2
		危機への対処(リスクマネジメント) I	2・3・4前・後		2							1
		危機への対処(リスクマネジメント) II	2・3・4前・後		2							1
	関	災害救援(ボランティア論を含む)	2·3·4前·後		2							1
	連科	救急法の理論と実際	1-2-3-4前-後		2							1
	目	経済学原論	1-2-3-4前-後		2							1
		哲学概論	1-2-3-4前-後		2							1
		倫理学概論	1-2-3-4前-後		2							1
		小計 (8科目)	-	0	16	0	0	0	0	0	0	兼3
		ゼミナール I	2後	2			6	3		1		
	卒	ゼミナールⅡ	3前	2			6	3		1		
	卒業研究	卒業論文 I	3後	2			6	3		1		
	究	卒業論文Ⅱ	4前	2			6	3		1		
		卒業論文Ⅲ	4後	2			6	3		1		
L		小計 (5科目)	-	10	0	0	6	3	0	1	0	0
	合計 (156科目)			12	44	0	7	3	0	1	0	兼48

卒業要件及び履修方法

【平成30年度】

Ĺ				È	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
	¥目 区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助	-
ľ	-/,		1 %	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
		社会安全政策	2前・後		2		1	1				1
		刑法Ⅱ	2・3・4前・後		2			1				
		犯罪学	2・3・4前・後		2			1				1
		刑事政策	2・3・4前・後		2		1	1				
		被害者学	2・3・4前・後		2			2				1
	社会	警察法	2・3・4前・後		2		2					
	安	消防法	3-4前-後		2		1					
	全分野	防衛法	2・3・4前・後		2		1					
	分野	少年法	2・3・4前・後		2			1				
学		消費者法	2・3・4前・後		2		1					
科		社会安全政策演習 I	3・4前・後		2		2	1				
専攻	社会安全政策演習Ⅱ 3·4前·後				2		2	1				
学科専攻科目		社会安全政策演習Ⅲ	3・4前・後		2		2	1				
Ħ		小計 (13科目)	-	0	26	0	5	2	0	0	0	兼1
		防災概論(消防と防災)	1前·後		2							2
		危機への対処(リスクマネジメント) I	2・3・4前・後		2							1
		危機への対処 (リスクマネジメント) Ⅱ	2・3・4前・後		2							1
	関	災害救援(ボランティア論を含む)	2·3·4前·後		2							1
	連科	救急法の理論と実際	1・2・3・4前・後		2							1
	Ħ	経済学原論	1・2・3・4前・後		2							1
		哲学概論	1・2・3・4前・後		2							1
		倫理学概論	1・2・3・4前・後		2							1
		小計 (8科目)	-	0	16	0	0	0	0	0	0	兼3
Г		ゼミナール I	2後	2			7	3		1		
ĺ	卒	ゼミナールⅡ	3前	2			7	3		1		
ĺ	卒 業 研	卒業論文 I	3後	2			7	3		1		
ĺ	究	卒業論文 Ⅱ	4前	2			7	3		1		
ĺ	卒業論文Ⅲ 4後		2			7	3		1			
L		小計 (5科目)	-	10	0	0	7	3	0	1	0	0
		合計 (156科目)		12	44	0	8	3	0	2	0	兼60

卒業要件及び履修方法

学部共通科目から必修科目28単位を含む計38単位以上(教養科目:6系の内5系にわたり6 単位以上、語学科目:英語必修科目12単位・選択科目4単位以上、全学基本科目10単位、 キャリア教養科目2単位以上、特別企画科目、学部基本科目4単位)、学科専攻科目から 必修科目28単位および卒業研究10単位を含む計66単位以上を修得し、残りを学部共通科 目、所属学科又は所属学科以外の科目(関連科目を含む)から20単位以上修得し、合計 124単位以上修得すること。学科専攻科目では、修得する66単位のうち、法律行政分野の 「法学演習 I」「法学演習 I」「法学演習 I」「法学演習 I」「法学演習 I」「法学演習 I」「法学演習 I」「法学演習 I」「法学演習 I」「法学演習 I」「社会安全演習 I」を計6単位のいずれかを選択必修とす る。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を
 - 黒字で記入してください。その上で、<u>認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**</u>としてください。 ・ 履修希望者がいなかったために<u>未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入</u>してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

```
●教育効果の向上を図るため、次の授業科目の配当年次を変更。
  「法学原論」「憲法Ⅰ」「民法Ⅰ」「民法Ⅱ」「刑法Ⅰ」および「政治学原論」··· 何れも「1・2前・後」→「1前・後」
  「刑事訴訟法」「民事訴訟法」「国際法」「政治制度」「国際政治」「行政学」および「行政法Ⅰ」… 何れも「1・2前・後」→「2前・後」
「民法Ⅲ」「民法Ⅳ」「法制史」および「消防法」… 何れも「2・3・4前・後」→「3・4前・後」

●履修者数等に基づくクラス数の調整により、次の授業科目の専任教員等の配置および担当する兼任・兼担の教員の数を変更。
  「英語 I 」…「助教 1 」→「助教 0 」、「兼任・兼担 3 」→「兼任・兼担 2 」
「英語 I 」…「助教 1 」→「助教 0 」、「兼任・兼担 3 」→「兼任・兼担 1 」
  「英語Ⅲ」…「助教 I」→「助教の」、「兼任・兼担3」→「兼任・兼担2」
「英語Ⅲ」…「助教 I」→「助教の」、「兼任・兼担3」→「兼任・兼担2」
「英語Ⅳ」…「推教授の」→「准教授 I」、「助教 I」→「助教の」、「兼任・兼担3」→「兼任・兼担1」
「ドイツ語Ⅲ」および「ドイツ語Ⅳ」… 何れも「教授 O・兼 1」→「教授 1・准教授 O」
「学びの技法 I」および「学びの技法 I」… 何れも「教授3」→「教授2」
  「情報の処理Ⅰ」および「情報の処理Ⅱ」… 何れも「兼任・兼担2」→「兼任・兼担1」
●届出時の誤記入を訂正するため、「国際政治」を担当する兼担・兼任の教員の数を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担0」に変更(削除)。
```

【平成30年度】

```
●語学教育の充実を目的とする全学的な英語教育プログラムの見直しにより、次の授業科目の配当年次を変更。
「上級英語Ⅲ」および「上級英語Ⅳ」··· 何れも「3・4前・後」→「1・2・3・4前・後」
●教育効果の向上を図るため、次の授業科目の配当年次を変更。
  「プロジェクトA」…「2·3·4通」→「1·2·3·4通」
  「プロジェクトB」…「3・4通」→「2・3・4通」
  「プロジェクトC」…「2・3・4前・後」→「1・2・3・4前・後」
●語学教育の充実を目的とする全学的な英語教育プログラムの見直しにより、次の授業科目の専任教員等の配置および担当する兼任・兼担の教員の数を変更。
  「英語 I」…「准教授 O」→「准教授 1」、「助教 O」→「助教 1」、「兼任・兼担 2」→「兼任・兼担 4」
「英語 I」…「准教授 O」→「准教授 1」、「助教 O」→「助教 1」、「兼任・兼担 1」→「兼任・兼担 4」
  「英語Ⅲ」…「助教0」→「助教1」、「兼任・兼担2」→「兼任・兼担7」
 「英語□」・・・「助教 0」→「助教 1」、「兼任・兼担 2」→「兼任・兼担 7」
「英語Ⅳ」・・「准教授 1」→「推教授 0」→「助教 1」、「 助教 1」、「 兼任・兼担 1」→「 兼任・兼担 6」
「英語 V」・・・「准教授 0」→「 准教授 1」、「 助教 1」→「 助教 0」、「 兼任・兼担 3」→「 兼任・兼担 6」
「英語 V」・・・「 准教授 0」→「 准教授 1」、「 助教 1」→「 助教 0」、「 責任・兼担 3」→「 兼任・ 兼担 6」
「 上級英語 I」 および「 上級英語 I」・・・ 何れも「 兼任・兼担 1」→「 兼任・ 兼担 4」
「 上級英語 I」 および 「 上級英語 I」・・ 「 助教 0」→「 助教 1」、「 兼任・ 兼担 1」→「 兼任・ 兼担 3」
「 上級英語 I」・・ 「 助教 0」→「 助教 1」、「 兼任・ 兼担 1」→「 兼任・ 兼担 2」
●国際化の推進を目的とする海外研修プログラムの実施方法の見直しにより、次の授業科目の専任教員等の配置および担当する兼任・兼担の教員の数を変更。
「海外研修A」および「海外研修B」… 何れも「助教O」→「助教2」、「兼任・兼担1」→「兼任・兼担9」
「海外研修C」…「助教O」→「助教2」、「兼任・兼担1」→「兼任・兼担8」
●教育効果の向上を図るため、次の授業科目の専任教員等の配置および担当する兼任・兼担の教員の数を変更。
  「総合政策概論Ⅰ」および「総合政策概論Ⅱ」… 何れも「兼任・兼担2」→「兼任・兼担4」
  「警察法」…「教授1」→「教授2」
  「消費者法」…「教授○」→「教授1」、「兼任・兼担1」→「兼任・兼担0」
●専任教員(教授1名)の就任により、次の授業科目の専任教員等の配置および担当する兼任・兼担の教員の数を変更。
  守に私員(私区・ロイルがはにより、次の以来や日の守正教員→の礼庫おおびにヨッる末に、本座の教員の数と変支。
「商法I」「商法I」および「労働法」・・何れも「教授の」→「教授)」、「兼任・兼担1」→「兼日・日
「ゼミナールI」「ゼミナールⅡ」「卒業論文I」「卒業論文Ⅱ」および「卒業論文Ⅲ」・・・何れも「教授の」→「教授7」
●兼担教員(准教授1名)の辞任により、次の授業科目を担当する兼任・兼担の教員の数を変更。
 「租税法」…「兼任・兼担1」→「兼任・兼担0」
●履修者数等に基づくクラス数の調整により、次の授業科目を担当する兼任・兼担の教員の数を変更。
「情報の処理 I 」および「情報の処理 II」・・・ 何れも「兼任・兼担 1 」 → 「兼任・兼担 2 」
●新学部(看護学部)の開設等を踏まえたクラス数および担当者の調整により、次の授業科目の専任教員等の配置および担当する兼任・兼担の教員の数を変更。
  「人間と宗教」…「兼任・兼担1」→「兼任・兼担4」
  「文学」…「兼任・兼担1」→「兼任・兼担2」
  「思想史」…「兼任・兼担1」→「兼任・兼担2」
  「歴史学」…「兼任・兼担1」→「兼任・兼担4」
  「法学」…「教授 0 」→「教授 1 」、「兼任・兼担 1 」→「兼任・兼担 0 」
  「日本国憲法」…「教授O」→「教授1」、「兼任・兼担1」→「兼任・兼担0」
「経済学」…「兼任・兼担1」→「兼任・兼担4」
  「地域社会論」…「兼任・兼担1」→「兼任・兼担4」
  「文化論」⋯「兼任・兼担1」→「兼任・兼担4」
  「著作権と情報倫理」…「教授 0 」→「教授 1」
  「物質とエネルギー」…「兼任・兼担1」→「兼任・兼担2」
  「心の科学」…「兼任・兼担1」→「兼任・兼担2」
  「生命の科学」…「兼任・兼担1」→「兼任・兼担2」
  「パズルと論理」…「兼任・兼担1」→「兼任・兼担2」
  「文献講読」…「兼任・兼担1」→「兼任・兼担2」
  「日本語表現演習」、「兼任・兼担1」→「兼任・兼担3」
「日本語表現演習」、「兼任・兼担1」→「兼任・兼担3」
「インターンシップ」…「准教授0」→「准教授1」、「兼任・兼担1」→「兼任・兼担3」
  「プロジェクトA」および「プロジェクトB」… 何れも「兼任・兼担1」→「兼任・兼担3」
  「プロジェクトC」…「教授0」→「教授1」、「准教授1」→「准教授0」
「日本語Ⅳ」「日本語Ⅳ」および「日本語Ⅲ」… 何れも「兼任・兼担1」→「兼任・兼担2」
```

【令和元年度】

```
●教育効果の向上を図るため、次の授業科目の配当年次を変更。
  「キャリア演習Ⅱ」…「3前・後」→「2前・後」
  「民法Ⅱ」… 「1前・後」→「2前・後」
  「行政学」··· 「2前·後」→「1前・後」
●教育効果の向上を図るため、次の授業科目の専任教員等の配置および担当する兼任・兼担の教員の数を変更。
  「文学」… 「教授 0 」→「教授 1 」
「心理学」… 「兼任・兼担 1 」→「兼任・兼担 2 」
  「芸術鑑賞論」··· 「教授 O」→「教授 1」、「兼任・兼担 1」→「兼任・兼担 2」
  「健康スポーツA」「健康スポーツB」… 何れも「兼任・兼担1」→「兼任・兼担2」
  「韓国・朝鮮語Ⅰ」「韓国・朝鮮語Ⅱ」… 何れも「兼任・兼担1」→「兼任・兼担2」
  「キャリア形成と大学」… 「兼任・兼担1」→「兼任・兼担3」
  「行政学」··· 「教授 1」→「教授 2」、「兼任・兼担 0」→「兼任・兼担 1」
  「経済法」… 「兼任・兼担1」→「兼任・兼担2」
  「法学演習Ⅰ」「法学演習Ⅱ」「法学演習Ⅲ」… 何れも「教授2」→「教授5」、「准教授1」→「准教授0」
  「消防法」··· 「教授 1」→「教授 2」
「社会安全政策演習 I」「社会安全政策演習 II」「社会安全政策演習 II」・・・ 何れも「教授 2」→「教授 4」
●他学部とのクラス数および担当者の調整により、次の授業科目の専任教員等の配置および担当する兼任・兼担の教員の数を変更。
  「上級英語 I 」… 「兼任・兼担 4 」→「兼任・兼担 5 」
●担当科目数等の調整により、次の授業科目の専任教員等の配置および担当する兼任・兼担の教員の数を変更。
 「経済学」… 「兼任・兼担4」→「兼任・兼担2」
「ゼロチ」・ 「米吐・米セ・」 「米吐・米セン」
「ブロジェクトC」・ 「教授 1」 → 「教授 0」、「兼任・兼担 1」 → 「兼任・兼担 0」
●クラス数の調整により、次の授業科目の専任教員等の配置および担当する兼任・兼担の教員の数を変更。
 グラス級の調査により、次の反素や目の等在教員等の配置の
「歴史学」… 「兼任・兼担4」→「兼任・兼担2」
「文化論」… 「兼任・兼担4」→「兼任・兼担2」
「パズルと論理」… 「兼任・兼担2」→「兼任・兼担1」
「情報の処理Ⅰ」… 「兼任・兼担2」→「兼任・兼担3」
●専任教員(准教授→教授2名、助教→准教授1名)の昇格により、次の授業科目の専任教員の配置を変更。
 「中国語I」「中国語I」「中国語II」「中国語IV」「基礎ゼミナール」… 「助教 1」→「助教 0」、「准教授 0」→「准教授 1」「インターンシップ」… 「准教授 1」→「准教授 0」、「教授 0」→「教授 1」「プロジェクトA」「プロジェクトB」… 何れも「准教授 1」→「准教授 0」、「教授 0」→「教授 1」
  「海外研修A」「海外研修B」「海外研修C」… 何れも「准教授 O」→「准教授 1」
「憲法Ⅰ」「刑法Ⅰ」「刑事訴訟法」「行政法Ⅰ」「憲法Ⅱ」「地方自治法」「行政法Ⅱ」「環境法」「刑法Ⅱ」「少年法」··· 何れも「准教授1」→「准教授0」、「教授0」→「教授1」
  「犯罪学」「被害者学」… 何れも「教授 0 」→「教授 1 」
  「刑事政策」… 「准教授1」→「准教授0」
  「社会安全政策演習 I」「社会安全政策演習 I」「社会安全政策演習 I」・・ 何れも「准教授 1」→「准教授 0」「ゼミナール I」「ゼミナール I」「卒業論文 I」「卒業論文 II」「卒業論文 II」・・ 何れも「助教 1」→「助教 0」
●専任教員(准教授1名)の就任により、次の授業科目の専任教員等の配置および担当する兼任・兼担の教員の数を変更。
 「地域社会論」… 「准教授0」→「准教授1」、「兼任・兼担4」→「兼任・兼担3」
  「総合政策概論Ⅰ」「総合政策概論Ⅱ」… 「准教授0」→「准教授1」
  「社会安全政策」「犯罪学」… 「兼任・兼担 1」→「兼任・兼担 0」
「被害者学」… 「准教授 2」→「准教授 1」、「兼任・兼担 1」→「兼任・兼担 0」
 「消防法」「災害救援(ボランティア論を含む」… 何れも「准教授 0」→「准教授 1」、「兼任・兼担 1」→「兼任・兼担 0」
●兼担教員(教授1名、准教授1名)の就任により、次の授業科目の専任教員等の配置および兼任・兼担の教員の数を変更。
 「生活と化学」「生理学」「生命倫理」… 何れも「兼任・兼担1」→「兼任・兼担2」
  「生命の科学」…「兼任・兼担2」→「兼任・兼担3」
  「危機への対処 (リスクマネジメント) I」「危機への対処 (リスクマネジメント) I」… 何れも「兼任・兼担1」→「兼任・兼担2」
●兼任教員(1名)の就任により、次の授業科目の兼任・兼担の教員の数を変更。
 「租税法」… 「兼任・兼担0」→「兼任・兼担1」
●専任教員(教授1名、准教授1名、助教1名)の辞任およびこれに伴う担当者の調整により、次の授業科目の専任教員等の配置および担当する兼任・兼担の教員の数を
変更
 ···
「英語Ⅰ」「英語Ⅱ」··· 何れも「准教授1」→「准教授0」、「助教1」→「助教0」、「兼任・兼担4」→「兼任・兼担6」
  「英語 V」「英語 VI」…何れも「准教授 1」→「准教授 0」、「助教 1」→「助教 0」
  「総合政策概論Ⅰ」「総合政策概論Ⅱ」… 「教授1」→「教授0」
  「警察法」… 「教授 2」→「教授 1」
「ゼミナールI」「ゼミナールII」「卒業論文 I」「卒業論文 I」「卒業論文 I」「本業論文 I」・何れも「准教授 3」→「准教授 2」
●兼担教員(教授 1 名、准教授 4 名、助教 4 名)の辞任およびこれに伴う担当者の調整により、次の授業科目の専任教員等の配置および兼任・兼担の教員の数を変更。
「物質とエネルギー」… 「兼任・兼担 2 」→「兼任・兼担 1 」
  「食と健康」・・・「兼任・兼担1」→「兼任・兼担0」
  「上級英語Ⅱ」… 「兼任・兼担4」→「兼任・兼担3」
  「上級英語Ⅲ」… 「助教 1」→「助教 0」、「兼任・兼担 3」→「兼任・兼担 2」
「上級英語Ⅳ」… 「助教 1」→「助教 0」、「兼任・兼担 2」→「兼任・兼担 3」
●兼任教員(2名)の辞任およびこれに伴う担当者の調整により、次の授業科目の専任教員等の配置および兼任・兼担の教員の数を変更。
 「日本語IV」「日本語 V」「日本語 VI」・・・ 「兼任・兼担 2 」→「兼任・兼担 1 」
```

- ・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、 授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。 ・ 不要な年度(平成29年度開設であわげ変は29年度)のまたが、のまたができまった。

(2) 授業科目数

	設置時(の計画			変更	状況		農 老
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	1佣-5
33 科目	123 科目	0 科目	156 科目	33 科目 [0]	123 科目 [0]	0 科目 [0]	156 科目 [0]	

未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を 記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	食と健康	2	1・2・3・4前・後	一般	選択	専任教員の辞任(後任未定)、次年度開講予定
2	情報化と社会	2	1・2・3・4前・後	一般	選択	担当者の総担当科目数等を考慮、次年度開講予定
3	プロジェクトC	2	1·2·3·4前·後	一般	選択	近年の履修希望者数の推移等を考慮、次年度開講予定
4	民法Ⅳ	2	3·4前·後	専門	選択	担当者の総担当科目数等を考慮、次年度開講予定
5	労働法	2	2・3・4前・後	専門	選択	担当者の総担当科目数等を考慮、次年度開講予定
6	外国法	2	2・3・4前・後	専門	選択	担当者の総担当科目数等を考慮、次年度開講予定
7	救急法の理論と実際	2	1・2・3・4前・後	専門	選択	近年の履修希望者数の推移等を考慮、次年度開講予定

- (注)・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- (4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

すべての未開講科目は、次年度に開講して履修機会を確保することとしている。 学生に対しては、ガイダンスや掲示等を通じて未開講となることを説明し、周知している。

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目(3)と廃止科目(4)の計 設置時の計画の授業科目数の計(A) = 7 = 4.48 %

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況,経費

	区		分				内				容	ł		備考
(1)		区	分		専	用	共	用		共用する 学校等の			計	常磐短期大学(必要面積4,800m) と共用 (収容定員:480人)
l		校翁	き 敷 坮	<u>h</u>		0 m²		67, 555. 62			0r	nt	67, 555. 62 m	1
校		運動	場用地	ļ.		0m²		17, 503. 00	m		0r	nî	17, 503. 00 m	1
地		小	計	-		0 m²		85, 058. 62	mi		0r	ก๋	85, 058. 62 m	(大音) (大音) (大音) (大音) (大音) (大音) (大音) (大音)
等		そ	の他	ļ		0m²		5, 497. 81	m		0r	ก๋	5, 497. 81 m	 2 運動場敷地 借地面積 17,503.00㎡ 借用期間 20年間
ħ.		合	計	-		0 m²		90, 556. 43	m		0r	n [†]	90, 556. 43 m	
					専	用	共	用		ŧ用する 学校等σ			計	常磐短期大学(必要面積
(2) 校			舎			23, 856. 00 m²		19, 401. 02	m [*]	2	2, 218. 76r	n [*]	45, 475. 78m	・
					(23, 856. 00m²)		(19, 4	101. 02 m ²)	(2, 218.	76 m ²)	(45	, 475. 78m²)	
				講	義室	義室 演習		実験実	習室	情報	処理学習加	色設 言	吾学学習施設	
(3) 教		室	等		39	室	51室		63室		功職員 4	8室 人) (補	2室 前助職員 1人)	
					新設学部等		等の名称			<u> </u>	室	数	t	
(4) 専	任教	対員研 究	室		総合政	法律	学科 行政学科 政策学科						11 室 12 室 12 室	
				3	图 書	学術	雑誌							
(5)	¥	新設学語 の名		〔う	ち外国書〕	〔うちタ	国書]	電子ジャ	ーナル	視聴	覚資料 🥻	機械・器具	標本 	大学全体での共用分 図書 381,858 [83,550]
						m	種	〔うち外	国書〕		点	ı	点点	378, 768 (83, 518) 377, 481 (83, 297)
	611	\	- 224 +11	44,	718 [8, 255] 268 [8, 302] 202 [8, 287]	345 (134)	4 [1 4 [1 4 [1)	12	249 263 258	9, 63	39 118	(373, 421 〔82, 678〕) (365, 783 〔82, 1713〕) (358, 389 〔6, 2183〕) 学術雑誌 14, 650 〔8, 584〕 14, 671 〔8, 696〕
図書・	₩.E	洽 政策	子部	(41,	843 (7, 990) 433 (7, 957) 077 (7, 902)	(339 [131)	4 [1 4 [1 4 [1)	(1,	188) 180) 163)	(9, 379) (9, 249) (9, 119)	(118)	21, 851 〔15, 984〕 (14, 614 [8, 558]) (14, 607 [8, 657]) (13, 076 [5, 929]) 視聴覚資料 21, 333 (20, 786)
設備		=1		44,	718 [8, 255] 268 [8, 302] 202 [8, 287]	345 (134)	4 (1 4 (1 4 (1)	12	249 263 258	9, 63	39 118	21,894(21,157) 21,948 (20,961) 表中の学術雑誌・電子ジャー ナル数は、カウント方法を変 更したために訂正(29)。
		計		(41,	843 (7, 990) 433 (7, 957) 077 (7, 902)	(339 [131)	4 (1 4 (1 4 (1)	(1,	188) 180) 163)	(9, 379) (9, 249) (9, 119)	(118)	機械・器具、標本は、学部単 位での特定不能なため、大学 全体の数
(6) 図		書	館		面	積		閲覧座	席数		収	納可	能 冊 数	-大学全体
(0) 🗵			ᅜᆸ			4, 476. 25	ōm¹			472			256, 020冊	
					面	積			体育館以	外のスを	ポーツ施言	设の概要		大学全体
(7) 体	体 育 館 2,884.33n 2,864.00n						S㎡ Am Ami	場			弓道場			体育館面積の差異は改築 に伴う計画と登記上の面 積の誤差である(30)
		ራ ₽ ≠+	Σ	Σ.	分	開設年度	完成年度	隻 区	分	開設す	前年度	開設年度	完成年度	
(8)			教員 1	人当り	研究費等	350千円	350 	千円 図書	購入費	1, 0	000千円	2, 762千日	円 10,871千円	
経費の 積り及	び	積り	共 同	研 3	党 費 等	800千円	800 1	千円 設備	購入費		- 千円	320千日	円 990千円	届出学部全体 - 図書費には電子ジャーナ
維持方 の 概	法	学生 1 に		第	1 年次	第2年次	第	3 年次	第4年	下次	第 5	年次	第6年次	- 凶音員には電子ジャー) ル・データベースの整備 費(運用コスト含む)を
		納作			1,280千円	1, 030 1	·円	1,030千円	1, 0	30千円	-	- 千円	— 千円	♠ + \
		学生	納付金	 以外の約	維持方法の概			『補助金収入 にり維持を図		息・配	当金収入	 、付随事業	・収益事業収	

(注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び「(2) 校舎」は大学全体の数字を、その他の 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、 その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	常:	磐大	学大	学院	2						備	
人子の石が	т :			+ 10		TT 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	定員変更				NH	75
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	b		
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年	- 度		
人間科学研究科												
人間科学研究科博士課程(後期)	3	2	-	6	博士 (人間科学)	0.00	-	平成5	茨城県水戸市 見和一丁目		平成28年。	より定員派
人間科学専攻修士課程	2	10	-	20	修士 (人間科学)	0. 55	-	平成元	430番地の1			
大学院全体		12		26		0. 30						
大学の名称	常	磐大	学			1	定員変更		<u> </u>		備	考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	年度 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	b		
	年	人	年次	人		倍	年度	年度	年	度		
人間科学部		396	人	1, 581	学士 (人間科学)	1. 03	-	昭和58]			
心理学科	4	90	_	365	学士 (人間科学)	1.03	-	平成20			平成31年4月 学定員募集	
教育学科	4	66	3年次	244	学士 (人間科学)	1. 16	-	平成20			平成31年4月	3年次編
初等教育コース	4	50	4 3年次	183	学士 (人間科学)	1.06	_	平成26			学定員変更平成31年4月	3年次編
中等教育コース	4	16	2 3年次 2	61	(人間科学) 学士 (人間科学)	1. 48	_	平成26			学定員変更 平成31年4月 学定員変更	3年次編
現代社会学科	4	90	_	354	学士 (人間科学)	1. 19	_	平成16			平成31年4月 学定員募集	3年次編
コミュニケーション学科	4	70	_	294	学士 (人間科学)	0. 65	_	昭和58			平成31年4月	3年次編
健康栄養学科	4	80	_	324	学士 (人間科学)	1. 13	_	平成20			学定員募集平成31年4月	3年次編
総合政策学部		245	_	735	学士 (総合政策学)	0. 97	_	平成29			学定員募集	1字Ⅲ 4→U
経営学科	4	85	_	255	学士 (総合政策学)	1. 28	_	平成29	茨城県水戸			
	4	75	_	225	学士 (総合政策学)	0. 77	_	平成29	見和一丁 430番地の			
総合政策学科	4	85	-	255	学士 (総合政策学)	0. 85	_	平成29				
国際学部		-	_	-	学士 (国際学)	-	_	平成8			平成29年学	生募集停」
経営学科	4	-	-	-	学士 (国際学)	-	-	平成20			※平成29年学生 (3年次編入学 4月募集停止)	
英米語学科	4	-	-	-	学士 (国際学)	-	-	平成16			※平成29年学生 (3年次編入学 4月募集停止)	
コミュニティ振興学部		-	-	-	学士 (コミュニティ振興 学)	-	-	平成12			平成29年学	生募集停」
コミュティ文化学科	4	-	-	-	学) 学士 (コミュニティ振興 学)	-	-	平成12			※平成29年学生 (3年次編入学 4月募集停止)	
地域政策学科	4	-	-	-	学) 学士 (コミュニティ振興 学)	-	-	平成18			4月募集停止) ※平成29年学生 (3年次編入学 4月募集停止)	
ヒューマンサービス学科	4	-	-	-	デナ 学士 (コミュニティ振興 学)	-	-	平成12			※平成29年学生 (3年次編入学 4月募集停止)	
看護学部		80		160	学士 (看護学)	1. 17	-	平成30	茨城県水戸市 見和一丁目 430番地の1			
看護学科	4	80		160	学士 (看護学)	1. 17	-	平成30	茨城県東茨城 茨城町桜の 280番地			
大学全体		721		2, 476		1.01						
大学の名称	常	磐短	期大	学		ı			1		備	考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	ģ		
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	 年	度		
キャリア教養学科	2	100	_	200	短期大学士 (キャリア教養学)	0. 81	-	平成15	茨城県水戸市			
幼児教育保育学科	2	140	-	280	短期大学士 (幼児教育保育学)	0. 93	-	昭和43	・見和一丁目 430番地の1			
大学全体		240	-	480	(初ル 扶日 成日子)	0. 88	-	昭和43	٢			
						l	l				l	

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び 高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。 (専攻科及び別科を除く)。
 - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている 場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を 記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附帯事項	等	履行状況		今後の の実施計画
	・完程を関する性が、では、、では、、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	留意事項	総合政策学科では、12名 の専任教員に対して、3名の 教員が完成年度前に定年年 齢を超えることとなる。た だし、その他の教員の年齢 は各年代に分散しており、 編制上均衡を維持してい る。(29)	履行中	該当する3名の担当分野について、完成年度までには計画的に募集を行い充当する。その際、学科内の教員の年齢構成に留意し、組織編制の適正化を図る。(29)
認可時(平成29年)	・人一を発生している。 ・人のでは、というでは、 ・人のでは、というでは、 ・人のでは、 ・んの	留意事項	平成29年度の人間科学部 コミュニケーション学科の 入学者数は前年の36名から 43名に増加したものの、 学定員充足率は0.61に止 学定った。 カリとまでが、カリキュー、 キュラ、入学定員を80名か 70名に変更している。 (29)	履行済	では実ど験視のすにの 29年にかります。 では、シャーのでは、 では、シャーのでは、 では、シャーのでは、 では、シャーのでは、 では、シャーのでは、 では、シャーのでは、 では、シャーのでは、 では、、 では、、 では、、 では、、 でいでも、 でいでも、 でいでも、 でいでも、 でいでも、 でいでも、 でいでも、 でいでも、 でいでも、 でいでも、 でいでも、 でいでも、 でいでも、 でいでも、 でいでも、 でいでも、 でいでも、 でいでも、 でいがす上会校解の入 でいますに、 でいでも、 でいがすと、 でいでも、 でいがすと、 でいでも、 でいがする。 でいが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいががが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいががが、 でいがが、 でいがが、 でいががが、 でいがが、 でいがが、 でいがががががががががががががががががががががががががががががががががががが
	・総合政策学部法律行政学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となってとから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見るしについて検討すること。	改善意見	総合政策学部法律行政学 科の平成30年度定員充足率 平均0.59倍であった。入学 者数は、29年度の39名から 平成30年度は50名で対前年 比128%と増加したものの留 意事項0.7倍には未達であっ た。(30)		設置2年目となり、広報活動による、学科の特色等の周知の効果も出ている活動の決を図る。また大会では表するとして、大会では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年)	・総合政策学部総合政策学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見しについて検討すること。	改善意見	総合政策学部総合政策学 科の平成30年度定員充足率 は0.7倍であった。入学者数 は、平成29年度の58名から 平成30年度は62名へと増加 した。(30)	履行済	
	・同一設置者が設置する既設書等(人間ション学のでは、 一般では、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、	改善意見	人間科学部コミュニケーション学科の平成30年度定員充足率は平均0.6倍であった。入学者数は平成29年度の43名から平成30年度は49名に増加し、単年度では0.7倍に達したものの、平均で未達であった。(30)	履行済	グローバルコミュニケーション領域に関する周のでは、 ・ はないでは、 ・ はないではないではないでは、 ・ はないではないではないではないではないではないではないではないではないではないで

区 分	附帯事項等	履行状況	今後の の実施計画
調 宜 吁	・入学定員未充足の改善 善に努めること。(総:指摘事項 合政策学部法律行政学 (改善) 科)	総合政策学部法律行政学科 の令和元年度入学定員充足 率は、1.14倍であった。 (元) 履行済	

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。</u>) と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、<u>当該大学に付された指摘を</u> 全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<総合政策学部 法律行政学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	① 英語を中心とした語学教育に注力するため、既設学部とともに全学的に「語学科目」の配置を一部変更し、必修英語以外の語学科目はすべて選択科目とした。(別添「新旧対象表」参照)(29)
② 卒業要件(教育方法、履修指導方法及び卒業要件)	② 上記①の変更に伴い、「卒業要件」の内訳を一部変更 した。 (別添「新旧対象表」参照) (29)
	③ 学生の進路選択をより広範なものとすること等を目的として、「高等学校教諭一種免許状(公民)」の資格を取得するための教職課程認定申請と学則変更(平成30(2018)年度入学生より適用)を行った。(29)上記教職課程の認定を受けた(平成29年12月4日付29文科初第1143号)ことに伴い、「司書教諭」の資格を取得するための学則変更(平成30(2018)年度入学生より適用)を行った。(30)

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

「常磐大学ファカルティ・ディベロップメント委員会」を設置している。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

2018年度は5回開催。

委員会はの構成員は14名(うち教員13名)である。構成員の内訳は次のとおり。

- ·副学長(1名)
- ・各学部において各学科から選出された者(11名)
- ・総合講座委員会において委員のうちから選出された者(1名)
- ・学事センター統括【事務職員】(1名)
- c 委員会の審議事項等 ※「常磐大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程」第3条
 - ・FD(ファカルティ・ディベロップメント、以下同じ)に関する研究活動
- ・FD推進のための企画および実施に関すること
- ・FDに関する報告書等の作成に関すること
- その他FDの推進に関すること
- ② 実施状況
 - a 実施内容 b 実施方法 および c 開催状況(教員の参加状況含む)
 - 1) 授業アンケート

学生を対象に、授業の内容、教員や学生自身の授業に対する姿勢・取り組み、到達度等に関するアンケート調査を実施。2018年度の実施状況等は次項③参照。

2) FDフォーラム

教職員を対象に、本学教員による講演や事例報告からなる集会を開催。2018年度は「新学習指導要領と大学入試改革」をテーマとして開催し、113名(専任教員58名〔全体の約46%〕、併設短期大学の専任教員4名および事務職員等51名)が参加。(開催日:2019年3月6日)

3)新任教員研修

新任教員を対象に、着任後直ちに必要となる業務に関するオリエンテーション等を実施。2018年度はFD委員2名および新任教員12名が参加。(実施日:2019年3月27日)

- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
- 1)授業アンケート 次項③参照。
- 2) FDフォーラム

フォーラムを通じて得た知見や情報を活用して、各教員が授業の充実や改善に取り組んでいる。2018年度は、今後本学へ入学する学生がどのような教育を受けて大学のスタート地点に立つのか、そして2020年度以降の大学入試改革に向けて本学にどのような取組みが求められるのか等について共通理解をはかるとともに、授業への活用に資する情報の共有等に取り組んだ。

3)新任教員研修

新任教員が本学における業務をスムーズに遂行できるよう、現在は学内諸業務への円滑な導入に重点を置いた内容となっている。今後は授業改善の視点も加えながら運営の充実や改善に取り組む必要がある。

- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期

実施の有無:有/実施時期:春セメスターまたは秋セメスターの期末(年1回)

b 教員や学生への公開状況,方法等

授業科目ごとの評価結果を授業担当教員にフィードバックするとともに、集計結果をまとめた「報告書」を作成し 学内で閲覧できるようにしている。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

「該当なし」

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

総合政策学部設置の目的は、地方創生の役割を担い、現代社会が直面する諸問題の解決策を提案できる実践的な能力を備えた人材を養成することである。

開設3年目となる2019(令和元)年度においても、学部および各学科のアドミッションポリシーに基づき、事前に計画した入学者選抜方法により入試を実施し、入学生を迎え入れた。すべての学科で入学定員を超える学生を確保することができたので、学生確保という点において目的は達成できている。

今後も設置計画に基づいて確実に教育課程を実施するとともに、学科の特色の周知等をはじめとする広報活動についても一層の推進を図る。

- ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表 (予定) 時期
 - ・令和5年5月1日までに公表
 - b 公表方法
 - ・自己点検・評価報告書を刊行し、関係諸機関、役員および教職員等に配付予定
 - ・本学ホームページ上(http://www.tokiwa.ac.jp/tokiwa/report/index.html)に公開予定
- ③ 認証評価を受ける計画

令和5年度までに評価機関(公益財団法人大学基準協会)の評価を受けるべく、学内で検討中。なお、本学は、平成28 (2016)年度に公益財団法人大学基準協会による大学評価(認証評価)を受審した。評価の結果、本学は同協会の大学 基準に適合していると認定された。認定の期間は令和6(2024)年3月31日までとなる。 (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。 また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を 含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

0	設置計画履行状況報告書(令和元年度)		
0	設置計画履行状況報告書		
а	ホームページへの公表予定の有無	(有 · 無)
b	公表有の場合の公表(予定)時期	(令和元 年 7 月 1 日)
b	公表無の場合の特段の理由()

(注) · 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人常磐大学

- (2) 大 学 名 常磐**大**学
- (3) 調査対象大学等の位置

〒310-8585 茨城県水戸市見和1丁目430番地の1

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を() 書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載して ください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(モリ セイイチ) 森 征一 (平成26年11月)	(オビツ シゲヒデ) 小櫃 重秀 (平成31年4月)	任期満了に伴う変更 平成31年4月1日 (元)
学長	(トミタ ノブホ) 冨田 信穂 _(平成27年4月)	(トミタ ケイコ) 富田 敬子 (平成31年4月)	任期満了に伴う変更 平成31年4月1日 (元)
学 部 長	(ヒガノ コウキ) 日向野 弘毅 (平成29年4月)	(シオ マサユキ) 塩 雅之 (平成31年4月)	前任者役職昇格に伴う変更 平成31年4月1日 (元)
学科長等	(シオ マサユキ) 塩 雅 之 (平成29年4月)		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ()書きで記入してください。
 - (例) 平成30年度に報告済の内容 → (30) 令和元年度に報告する内容 → (元)
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) · 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください (入試 区分ごとではありません)。
 - ・ <u>なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位</u> <u>(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。</u>
 - ・ <u>様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)です</u>が、 完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、 5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を 記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	の計画		備考
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	1/H − 75
総合政策学部 総合政策学科	法学関係 経済学関係	年 4	人 85	年次 -	人 340	
学士(総合政策学)						

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 - ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -(2) 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度	平成29年度	F度 平成30年度 令和元年度 令		令和2年度	平均入学定員	開設年度から 報告年度まで	備考
区分		春季入学 その他の学期		春季入学 その他の学期	超 過 率	の平均入学定 員超過率	и⊞ 7⊃
A 入学定員	85人 — 85 (—) [—]	85人 — 85 (—) [—]	85人 — 85 (—) [—]	()			
志願者数	122 — (—) (—) [—] [—]	119 — (—) (—) [—] [—]	198 — (—) (—) [—] [—]	() ()			
受験者数	122 — (—) (—) [—] [—]	119 — (—) (—) [—] [—]	195 — (—) (—) [—] [—]	() ()	0.85倍	_	
合格者数	114 — (—) (—) [—] [—]	110 — (—) (—) [—] [—]	180 — (—) (—) [—] [—]	() ()			
B 入学者数	58 — (—) (—) [—] [—]	62 — (—) (—) [—] [—]	98 — (—) (—) [—] [—]	()()			
入学定員超過率 B/A	0. 68	0. 72	1. 15				

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ ()内には、<u>編入学の状況について**外数で**記入</u>してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「一」を記入してください。
 - 転入学生は記入しないでください。
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。<u>春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入</u>してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 - ・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ 記入してください。完成年度を越えていない場合は「一」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年 春季入学 その他の学問 春季入学 その他の学 を見から またままたままたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたまた		対象年度	平成2	9 年度	平成 3	0年度	令和元	元年度	令和	112年	度		備
1年次 [-] [-] [-] [-] [-] [-] [-] [-] [-] [-]	学	年	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入	.学 その	他の学期		VH3
(一) (一)<			58	_	62	_	98	_					
2年次 59 - 62 -		1 年次	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[] []		
2年次 [-] [-] [-] [-] [-] [] [] [] (-) (-) (3) (-) () () 3年次 55 - [-] [-] [] [] [] (-) (-) (-) () () (-) () 4年次 [] [] [] 58 121 215 [] [] 計 [-] [-] [-] [] [] []			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)					
3年次 (-) (-) (3) (-) () () 10 (-) (-) (3) (-) () () 10 (-) (-) () () 10 (-) (-) () () 12 (-) (-) (-) () 12 (-) (-) (-) (-) (-) (-) 12 (-) (-) (-) (-) (-) (-) 12 (-) (-) (-) (-) (-) (-) (-) (-) 12 (-) (-) (-) (-) (-) (-) (-) (-) (-) 12 (-) (-) (-) (-) (-) (-) (-) (-) (-) (-)					59	_	62	_					
3年次 55 -		2 年次			[-]	[-]	[-]	[-]	[] []		
3年次 [-] [-] [] [] () () () () () () () () () ((-)	(-)	(3)	(-)	() ()		
4年次 (-) (-) () () () 58 121 215 計 [] [-] [-] []							55	_					
4年次 [] [] () () () () () () () () () (3 年次					[-]	[-]	[] []		
58 121 215 at [-] [-] [-] []							(-)	(-)	() ()		
58 121 215 at [-] [-] [-] []													
# [-] [-] [-] [j		4 年次							[] []		
# [-] [-] [-]									() ()		
			5	i8	12	21	2	15					
		計	[-]	[-]	[—]	[]		

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ []内には、<u>留学生の状況について**内数で**記入</u>してください。該当がない年度には「一」を記入してください。
 - ・()内には、 $\underline{\mathbf{BF4}$ の状況について、内数で記入してください。 $\underline{\mathbf{i5}}$ 当がない年には「-」を記入してください。

 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分				内訳		A-4-70 #4 700 -4
対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	入学した年度	退学	者数うち留学生数	主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
平成29年度	58 人	2 人	平成29年度	2 人	0 人	就職(1人)、除籍(1人)
亚代00左连	101	2 1	平成29年度	0 人	0 人	
平成30年度	121 人	3 人	平成30年度	3 人	0 人	他の教育機関への入学(1人)、除籍(2人)
			平成29年度	人	人	
令和元年度	215 人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
17112-712			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
合 計		5 人		人	人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)

・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍

- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、<u>留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入</u>してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(O人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学

・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

2 7 777		
平成29年度の退学者数(a) = 2 平成29年度の在学者数(b) 58	=	3.44 %
【平成30年度】		
平成30年度の退学者数(a) = 3 平成30年度の在学者数(b) 121	=	2.47 %
【令和元年度】		
令和元年度の退学者数(a) = 0 令和元年度の在学者数(b) 215	=	0 %
【令2年度】		
令和2年度の退学者数(a) = 0 令和2年度の在学者数(b) 0	=	#DIV/0! %

(注)・ <u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示</u>されます。

2 授業科目の概要

<総合政策学部 総合政策学科>

(1)一① 授業科目表

【認可時又は届出時】

					È	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
	E		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助	
-	-/-	,		1 %	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
			哲学・倫理学	1・2・3・4前・後		2							1
			人間と宗教	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
			文学	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
		人文	心理学	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
		系	思想史	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
			歴史学	1・2・3・4前・後		2							1
			地理学	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
			言語文化論	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
			法学	1・2・3・4前・後		2							1
			日本国憲法	1・2・3・4前・後		2							1
			経済学	1-2-3-4前-後		2			1				
		社会	政治学	1-2-3-4前・後		2							1
		系	社会学	1-2-3-4前・後		2							1
			地域社会論	1-2-3-4前・後		2							1
			文化論	1-2-3-4前・後		2							1
			著作権と情報倫理	1-2-3-4前・後		2		1					
			生態学	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2		1					
		自	物質とエネルギー	1・2・3・4前・後		2							1
		然	生活と化学 宇宙の科学	1・2・3・4前・後		2							1
Ш	₩.	系		1・2・3・4前・後		2							1
1	教養		科学技術論 科学史	1-2-3-4前-後		2							1
1	科目		生理学	1-2-3-4前-後		2							1
П	Ħ		土理子 心の科学	1-2-3-4前-後		2							1
		健		1・2・3・4前・後		2							1
		康	生命倫理	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
		系	生命の科学	1・2・3・4前・後		2		1					1
			食と健康	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2		'					1
			情報の科学	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
学部共通		数	情報化と社会	1 · 2 · 3 · 4前 · 徐		2							1
共		理	数学	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
通科		· 情	パズルと論理	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2		1					·
目		報系	ウェブデザイン基礎演習	1-2-3-4前-後		2		·					1
		N.	グラフィックデザイン基礎演習	1-2-3-4前-後		2							1
			文献講読	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
			日本語表現演習	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
			ディベート	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
		実	伝統文化論	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
		践	創作文化演習	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
		系	芸術鑑賞論	1・2・3・4前・後		2							1
			身体運動の原理	1・2・3・4前・後		2							1
			健康スポーツA	1・2・3・4前・後		1							1
			健康スポーツB	1・2・3・4前・後		1		L					1
			英語I	1前·後	2			1		1			2
			英語Ⅱ	1前·後	2			1		1			2
			英語Ⅲ	1前·後	2			1		1			2
			英語Ⅳ	1前·後	2			1		1			2
			英語V	2前・後	2			1		1			2
			英語VI	2前・後	2			1		1			2
			上級英語 I	1・2・3・4前・後		2		1					
	#3	Ā	上級英語Ⅱ	1・2・3・4前・後		2				1			
	語当	141	上級英語Ⅲ	3・4前・後		2		1					
	科目		上級英語Ⅳ	3・4前・後		2							1
	-	1	中国語I	1・2・3・4前・後		2							1
			中国語Ⅱ	1・2・3・4前・後		2							1
			中国語皿	1・2・3・4前・後		2							1
			中国語Ⅳ	1-2-3-4前-後		2							1
Ш			韓国・朝鮮語 I	1-2-3-4前-後		2							1
			韓国・朝鮮語Ⅱ	1・2・3・4前・後		2							1
			韓国・朝鮮語Ⅲ	1・2・3・4前・後		2							1
Ш			韓国・朝鮮語Ⅳ	1・2・3・4前・後	l	2				l	l		1

【令和元年度】

				Ĺ	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
科 区2		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助	
			,	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
Ī	Ī	哲学・倫理学	1-2-3-4前・後		2							1
		人間と宗教	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							4
		文学	1-2-3-4前-後		2				1			2
	人文	心理学	1-2-3-4前-後		2							2
	文系		1-2-3-4前-後		2							2
		歴史学	1-2-3-4前-後		2							3
		地理学	1-2-3-4前-後		2							1
	_	言語文化論 法学	1-2-3-4前・後		2							1
		法子 日本国憲法	1-2-3-4前・後		2							1
		口本国憲法 経済学	1-2-3-4前-後		2							1 2
	社		1-2-3-4前・後		2							1
	会系	11 0 11	1-2-3-4前・後		2							1
	21	地域社会論	1-2-3-4前-後		2							4
		文化論	1-2-3-4前-後		2							2
		著作権と情報倫理	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							2
	r	生態学	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2		1					
	l	物質とエネルギー	1-2-3-4前・後		2		1					
	自然		1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							2
	然系	宇宙の科学	1-2-3-4前・後		2							1
教	Z	科学技術論	1-2-3-4前・後		2							1
養科		科学史	1-2-3-4前-後		2							1
目		生理学	1-2-3-4前・後		2							2
	/z#	心の科学	1-2-3-4前・後		2							2
	健康	AKRY!	1-2-3-4前-後		2							1
	系		1-2-3-4前-後		2							2
		生命の科学	1-2-3-4前・後		2		1					2
	-	食と健康(未開講) 情報の科学	1-2-3-4前-後		2			1				
学部	数		1-2-3-4前・後		2			'				1
	理		1-2-3-4前・後		2							1
共 通 科	情		1-2-3-4前・後		2		1					'
目	報系		1-2-3-4前-後		2		•					1
	21	グラフィックデザイン基礎演習	1-2-3-4前-後		2							1
		文献講読	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							2
		日本語表現演習	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							3
		ディベート	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
	実	伝統文化論	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
	践	創作文化演習	1-2-3-4前-後		2							1
	系	芸術鑑賞論	1-2-3-4前・後		2							3
		身体運動の原理	1-2-3-4前・後		2							1
		健康スポーツA	1-2-3-4前・後		1							2
L	L	健康スポーツB	1-2-3-4前・後		1							2
		英語I	1前・後	2			1		1			4
		英語Ⅱ	1前・後	2			1		1			4
		英語皿	1前・後	2					1			5
		英語Ⅳ 英語Ⅴ	1前·後 2前·後	2			1		1			5 5
		英語 V 英語 VI	2前・後	2			1					5
		上級英語 I	2月1-1支 1-2-3-4前-後		2		1		1			3
		上級英語Ⅱ	1-2-3-4前・後		2		'		1			3
1	語学	上級英語皿	1-2-3-4前-後		2		1		<u> </u>			1
,	科	上級英語Ⅳ	1-2-3-4前-後		2		1					2
	目	中国語 I	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							2
		中国語Ⅱ	1-2-3-4前・後		2							2
		中国語皿	1-2-3-4前-後		2							1
		中国語Ⅳ	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
		韓国·朝鮮語 I	1-2-3-4前・後		2							2
		韓国・朝鮮語Ⅱ	1-2-3-4前・後		2							2
		韓国・朝鮮語Ⅲ	1-2-3-4前・後		2							1
		韓国·朝鮮語IV	1 - 2 - 3 - 4前 - 後	L	2							1

【認可時又は届出時】

		り时又は個山时		į	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
	¥目 ≅分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
_		1° / w=== 1		修	択	由	授	授	師	教	手	担
		ドイツ語 I ドイツ語 Ⅱ	1-2-3-4前-後		2							1
		ドイツ語皿	1-2-3-4前-後		2							1
		ドイツ語Ⅳ	1-2-3-4前-後		2							1
		フランス語 I	1-2-3-4前-後		2							1
ı		フランス語Ⅱ	1-2-3-4前-後		2							1
		フランス語皿	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
		フランス語Ⅳ	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
		スペイン語 I	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
	語学	スペイン語Ⅱ	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
	子科	スペイン語皿	1-2-3-4前・後		2							1
	目	スペイン語Ⅳ	1-2-3-4前・後		2							1
		日本語I	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
		日本語Ⅱ	1-2-3-4前-後		2							1
		日本語皿	1-2-3-4前・後		2							1
		日本語Ⅳ	1-2-3-4前・後		2							1
		日本語Ⅴ	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
学部		日本語Ⅵ	1-2-3-4前・後		2							1
部共		日本語Ⅵ	1-2-3-4前・後		2							1
通科		日本語価	1 - 2 - 3 - 4前 - 後	<u> </u>	2		<u> </u>	<u> </u>				1
Ħ	全	学びの技法 I	1前・後	2			2	2		1		
	学基	学びの技法 II	1前・後	2			2	2		1		
	本	統計の基礎	1前・後	2								1
	科目	情報の処理Ⅰ	1前・後	2				1				1
-	+	情報の処理Ⅱ キャリア形成と大学	1前・後	2				1				1
	ヤリ	キャリア形成と産業社会	2前・後		2							1
	ア	キャリア演習I	2前・後		2							1
	教育	キャリア演習Ⅱ	3前・後		2							1
	科目	インターンシップ	2·3·4前·後		2					1		ľ
ŀ	Н	プロジェクトA	2·3·4通		4							2
1	特	プロジェクトB	3・4通		4							2
	別企	プロジェクトC	2·3·4前·後		2							2
1	画	海外研修A	1-2-3-4前・後		2							1
1	科目	海外研修B	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
	_	海外研修C	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
	学科部	総合政策概論 I	1前	2			1					2
	日基本	総合政策概論 Ⅱ	1後	2			1					2
T		小計 (99科目)	_	28	166	0	5	3	1	1	0	兼37
7		法学原論	1・2前・後	2			1					
		憲法	1・2前・後	2			1					
		政治学原論	1・2前・後	2				1				
		現代日本政治	1・2前・後	2				1				
		行政学原論	1・2前・後	2	Ì		Ī	1				
	学	BH 자쓰 Fish						'				
- 1	知	財政学原論	1・2前・後	2				1				
ļ	科基	知以子原論 経済学原論	1·2前·後 1·2前·後	2								
	本							1				
	科基本科目	経済学原論 環境学原論 現代日本経済	1·2前·後 1·2前·後 1·2前·後	2 2 2				1				
	本科	経済学原論 環境学原論 現代日本経済 経営学原論	1·2前·後 1·2前·後 1·2前·後 1·2前·後	2 2 2 2				1 1 1		1		
	本科	経済学原論 環境学原論 現代日本経済 経営学原論 国際関係論	1·2前·後 1·2前·後 1·2前·後 1·2前·後 1·2前·後	2 2 2 2 2			1	1 1 1 1		1		
学科	本科	経済学原論 環境学原論 現代日本経済 経営学原論 国際関係論 公共政策	1·2前·後 1·2前·後 1·2前·後 1·2前·後 1·2前·後 2·3前·後	2 2 2 2 2 2				1 1 1				
学科専作	本科	経済学原論 環境学原論 現代日本経済 経営学原論 国際関係論 公共政策 基礎ゼミナール	1·2前·後 1·2前·後 1·2前·後 1·2前·後 1·2前·後 2·3前·後 2·3前	2 2 2 2 2 2 2 2			2	1 1 1 1		1		
専攻科	本科	経済学原論 環境学原論 現代日本経済 経営学原論 国際関係論 公共政策 基礎ゼミナール 小計 (13科目)	1·2前·後 1·2前·後 1·2前·後 1·2前·後 1·2前·後 2·3前·後 2·3前·	2 2 2 2 2 2	0	0		1 1 1 1	0		0	兼0
専攻科	本科	経済学原論 環境学原論 現代日本経済 経営学原論 国際関係論 公共政策 基礎ゼミナール 小計 (13科目) 総合政策演習 (政治・行政)	1・2前・後 1・2前・後 1・2前・後 1・2前・後 1・2前・後 2・3前・6 2・前	2 2 2 2 2 2 2 2	2	0	2	1 1 1 1	0	1	0	
専攻科	本科	経済学原論 環境学原論 現代日本経済 経営学原論 国際関係論 公共政策 基礎ゼミナール 小計 (13科目) 総合政策演習 (政治・行政) 行政法	1·2前·後 1·2前·後 1·2前·後 1·2前·後 2·3前·後 2·前 2·前 2·前	2 2 2 2 2 2 2 2	2 2	0	2	1 1 1 1	0	1	0	1
専攻科	本科	経済学原論 環境学原論 現代日本経済 経営学原論 国際関係論 公共政策 基礎ゼミナール 小計 (13科目) 総合政策演習 (政治・行政) 行政法 社会安全政策	1·2前·後後 1·2前·後後 1·2前·後後 1·2前·後 1·2前·後 2·3前·後 2·前 2·前 2·前 2·3前·後	2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2	0	2	1 1 1 1 1 3	0	1	0	
専攻科	本科	経済学原論 環境学原論 現代日本経済 経営学原論 国際関策 公共政策 本礎ゼミナール 小計 (13科目) 総合政策演習 (政治・行政) 行政法 社会安全政策 交通政策	1·2前·後 1·2前·後後 1·2前·後後後 1·2前·後 2·3前·後 2·前 2·前 2·3前·後 2·3前·後	2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2	0	3	1 1 1 1	0	1	0	1
専攻科	本科目 政	経済学原論 環境学原論 現代日本経済 経営学原論 国際関策 当本共政策 本提礎ゼミナール 小計 (13科目) 総合政策演習 (政治・行政) 行政法 社会安全政策 交化政策	1·2前·後 1·2前·後後後後後 1·2前·前· 1·2前·前· 2·3前·後 2·3前·後 2·3前·後 2·3前·後	2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2	0	2	1 1 1 1 1 3 2	0	1	0	1
専攻科	本科目	経済学原論 環境学原論 現代日本経済 経営学開議 国際機能 公共政策 基礎ゼミナール 小計 (13科目) 総合政策演習 (政治・行政) 行政法 社会安全政策 交化境政策	1·2前·後後 1·2前·後後 1·2前·後後 1·2前·後後 2·3前·後 2·前 2·前 2·前 2·前 2·3前·後 2·3前·後 2·3前·後 2·3前·後	2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2	0	3	1 1 1 1 1 3	0	1	0	1
専攻科	本科目 政治行政	経済学原論 環境学原論 現代日本経済 経営学関係論 公共政策・ナール 小計(13科目) 総合政法 (政治・行政) 行政法 全女 変策 文と変変 変文化境政策 情報政策	1・2前・後後 1・2前・後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後後	2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2	0	3	1 1 1 1 1 3 2	0	1	0	1 1
専攻科	本科目 政治行	経済学原論 環境学原論 現代世学原論 国公共を 基間公共を 本語 国公共を 本語 (政治・行政) (大田) (大田) (大田) (大田) (大田) (大田) (大田) (大田	1·2前·後 1·2前·後 1·2前·後 1·2前·後 2·3前·後 2·前 2·前 2·前 2·3前·後 2·3前·後 2·3前·後 2·3前·後 2·3前·後 2·3前·後 2·3前·後	2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2	0	3	1 1 1 1 1 3 2	0	1	0	1 1 1
専攻科	本科目 政治行政分	経済学原論 環境学原論 現代世学原統 国公基礎 (以治・行政) 小計 (13科目) 総合政法 全政策 (政治・行政) 行社交通政策策策 (職報教科計画)	1 · 2前 · 後 · 後 · 後 · 後 · 後 · 後 · 後 · 後 · 後 ·	2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	3	1 1 1 1 1 3 2	0	1	0	1 1
学科専攻科目	本科目 政治行政分	経済学原論 環境学原論 現代世学関係策 国公基礎 リカー リー	1 · 2前 · 後 · 後 · 後 · 後 · 後 · 後 · 後 · 後 · 後 ·	2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	3	1 1 1 1 1 3 2 3 1	0	1	0	1 1 1
専攻科	本科目 政治行政分	経済学原論 環境学原論 現代世学原統 国公基礎 (以治・行政) 小計 (13科目) 総合政法 全政策 (政治・行政) 行社交通政策策策 (職報教科計画)	1 · 2前 · 後 · 後 · 後 · 後 · 後 · 後 · 後 · 後 · 後 ·	2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2	0	3	1 1 1 1 1 3 2	0	1	0	1 1 1

【令和元年度】

日本語 日本	Г		们儿牛皮】		Í	单位数	ŻĮ.	車	任教	員等	の配	置	兼
「ドイツ語II			授業科目の名称						准				任・
ドイツ語Ⅱ	ľ	<u>Δ</u> η		+ 1/4	修	扣	ф	拇		舗	教	重	兼担
ドイツ語Ⅲ			ドイツ語 I	1-2-3-4前-後	112			18	18	U.17	70		1
ドイツ語が			ドイツ語Ⅱ	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
フランス語コ				1-2-3-4前・後		2							1
フランス語 フラン48 フラン48 フランス語 フランス語 フランス語 フラン48 フランス語 フラン48 フラ													1
フランス語Ⅲ フラン48-8 2 2 7 7 7 7 7 7 8 7 8 7 8 7 9 7 9 7 9 7 9 7													1
マランス語 マスペイン語 コ													1
スペイン語目 19-3-4m-8 2 2 3 4 4 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1						_							1
### 123-48-9													1
和		語											1
日 日 日本語 I		学科	****										1
日本語 II			スペイン語Ⅳ	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
日本語田			日本語I	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
日本語V 1-23-48-8 2 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			日本語Ⅱ	1-2-3-4前-後		2							1
世常 日本語 V 1-2-3-48-8 2 2 日本語 W 1-2-3-48-8 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				1-2-3-4前・後									1
日本語切													1
日 全 学 基本科目	灬												1
日 全学	部												1
日 全学	共通												1
Yell	科日				2	-			2				H
本本 情報の処理 I	ľ	学	学びの技法Ⅱ		2				2				
科情報の処理Ⅱ			統計の基礎	1前・後	2								1
情報の処理日		科	情報の処理 I	1前·後	2			1	1				1
中				1前·後	2				1				2
P		ヤ			2								3
本・リア演習 II 3前・後 2 2 3 3前・後 2 2 3 4 4 2 3 4 4 4 2 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4													1
日本		教											1
プロジェクトA		科											2
特別企画 プロジェクトC (未開講) 12-3-4前-世 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3		В											3
□ プロジェクトC (未開講) 1-2-3-4素+費 2			プロジェクトB			4							3
日 海外研修B			プロジェクトC(未開講)	1-2-3-4前-後		2							
日 海外研修B 1-2-3-4病+设 2 2			海外研修A	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							10
事態 総合政策概論 I 1前 2 1 1 1 0 0 3 水計(99科目) 一 28 166 0 4 2 1 0 0 3 法学原論 2前・後 2 1			海外研修B	1-2-3-4前-後		2							10
日本本 1日 1日 2		466		1-2-3-4前-後		2							10
Table Ta		科部											4
法学原論									_				4
憲法					_	166	0		2	1	0	0	兼58
政治学原論 1前・後 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1													
現代日本政治 2前・後 2 1 1 1 2 1 1 2 2 1 1 1 2 2 1 1 1 2 2 1 1 1 2 2 1 1 1 2 2 1 1 1 2 2 1 1 1 2 2 1 1 1 2 2 1 1 1 2 2 1 1 1 2 2 1 1 1 2 2 1 1 1 2 2 1 1 1 2 2 1 1 1 2 2 1 1 1 2 2 1 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1								'	1				
学科 経済学原論 1前・後 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1													
A			行政学原論	1前・後	2				2				
基 接済学原論	I	学科	財政学原論	2前・後	2				1				1
科 現代日本経済 2前・後 2 1 1 2前・後 2 1 1 2前・後 2 1 1 2 1 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1	I	基		1前・後	2								1
日 現代日本経済 2前・後 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1	1	科											
国際関係論 2前・後 2 1 1 1 2 1 2 1 1 1 2 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1 1 1 2 1	1								1				
学科	1							1					
専 本能でミデール 2削 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	学							'	1				
日	科声							2					
日	攻以					0	0			0	0	0	兼1
社会安全政策 3-4前·使 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 3 3-4前·後 2 2 3 3-4前·後 3 3-4前·使 3 3-4前	目		総合政策演習(政治・行政)	3-前		2			2				
交通政策 3-4前·後 2 政 文化政策 (未開講) 2·3前·後 2 治 環境政策 2·3前·後 2 行情報政策 2·3前·後 2 分 文教科学政策 3·4前·後 2	1												1
政 文化政策(未開講) 2·3前·後 2 治 環境政策 2·3前·後 2 行 情報政策 2·3前·後 2 分 文教科学政策 3·4前·後 2	1												1
以 治 環境政策 行 情報政策 分 文教科学政策 3-4前·後 2	1								2				1
行 情報政策 2·3前·後 2 分 文教科学政策 3·4前·卷 2	1								4				
改	1	行							'				1
I #\$	1	政											1
	1	野		2・3前・後									1
立法技術論 3·4前·後 2 1	1								1				1
政策過程論 2⋅3前・後 2 2	1		政策過程論	2-3前-後		2			2				
政策過程分析 3-4前-後 2 1	1					2							
小計 (12科目) - 0 24 0 0 3 0 0 0 3	L		小計 (12科目)	-	0	24	0	0	3	0	0	0	兼5

【認可時又は届出時】

				<u>i</u>	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
科目区分		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助	
E.7.	,		+ %	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
T		総合政策演習(経済・経営)	2·前		2			1		1		
		経済政策概論	2前・後		2			1				
		国際経済	2・3前・後		2			1				
		金融政策	2・3前・後		2			1				
糸	圣	財政政策	2・3前・後		2			1				
3	斉	資源論	2・3前・後		2							1
彩岩	堂	社会保障概論	2前・後		2							1
5 里	分	社会保障政策	2・3前・後		2							1
	P	経営戦略論	2・3前・後		2					1		
		国際経営論	3⋅4前・後		2							1
		経営政策概論	2前・後		2					1		
		企業論	2・3前・後		2			1				
L		小計 (12科目)	-	0	24	0	0	1	0	1	0	兼
		まちづくり論	1-2-3-4前・後		2			3				
	地	市民活動論I	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
	方創	市民活動論Ⅱ	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
	生	NPO・NGO経営論	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
	関連	ホスピタリティ論	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
7	科	地域文化資源と観光	2・3前・後		2		1					
科 専	目	地域文化資源のデザイン	2・3・4前・後		2		1					
攻 科 目		小計 (7科目)	-	0	14		1	3	0	0	0	兼:
目		地域観光産業	1-2-3-4前・後		2		1					
		観光マーケティング	1-2-3-4前・後		2		1					
	観	観光概論	1-2前-後		2		1					
		観光ビジネス実務総論	2・3前・後		2		1					
関連	光関連	観光ビジネス実務演習	1-2-3-4前・後		2		1					
	科目	観光外国語	1-2-3-4前・後		2		1					1
B	目	旅行業法・旅行業約款	1・2前・後		2							1
		国内旅行実務	2・3前・後		2							1
		海外旅行実務	2・3前・後	_	2				_			1
	Н	小計 (9科目)	-	0	18		2	0	0	0	0	兼
		人文地理学 I 人文地理学 II	1·2·3·4前·後		2							1
		人文地理学 I 自然地理学 I	1-2-3-4前・後		2			1				'
	任	自然地理学Ⅱ	1-2-3-4前・後		2			1				
	意	地誌	1-2-3-4前・後		2			'				1
	科目	^{地認} 地域研究入門	1-2-3-4前-後		2			1				
	П	哲学概論	1-2-3-4前-後		2			'				1
		百子似論 倫理学概論	1-2-3-4前-後		2							1
		小計 (8科目)	. Z.O.480 BX	0	16	0	0	1	0	0	0	兼:
	Ч	ゼミナール I	2後	2	10	v	6	4	1	1	U	лK.
		ゼミナールⅡ	3前	2			6	4	1	1		
卒業		卒業論文Ⅰ	3後	2			6	4	1	1		
研		卒業論文Ⅱ	4前	2			6	4	1	1		
究		卒業論文Ⅲ	4後	2			6	4	1	1		
	ŀ		· 15%									<u> </u>
		小計(5科目)	-	10	0	0	6	4	1	1	0	0

卒業要件及び履修方法

学部共通科目から必修科目28単位を含む計38単位以上(教養科目:6系の内5系にわたり6単位以上、語学科目:英語必修科目12単位・選択科目4単位以上、全学基本科目10単位、キャリア教養科目2単位以上、特別企画科目、学部基本科目4単位)、学科専攻科目から必修科目26単位および卒業研究10単位を含む計66単位以上を修得し、残りを学部共通科目、所属学科又は所属学科以外の科目(関連科目を含む)から20単位以上修得し、合計124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

【令和元年度】

Г	÷		加ルナルスタ		4	单位数	il-	—	红数	号笙	の配	罢	兼
	科目		授業科目の名称	配当	必	単122多	自	教	·性教 准	貝寺講	助	直助	任
[区分	ł	授耒仲日の名称	年 次					教	神			兼
F	_				修	択	由	授	授	師	教	手	担
I			総合政策演習(経済・経営)	3・前		2			1				
			経済政策概論(未開講)	2前・後		2			1				١.
1			国際経済	2-3-4前・後		2							1
			金融政策	3-4前-後		2							1
I	糸	圣	財政政策	3-4前-後		2			1				
	分糸	斉以	資源論	2・3前・後		2							1
1	2	営	社会保障概論	2前・後		2							1
	5	分野	社会保障政策(未開講)	3-4前-後		2							1
I	*	r	経営戦略論(未開講)	3前・後		2							
			国際経営論	3-4前・後		2							1
			経営政策概論(未開講)	2前・後		2							1
			企業論	2・3前・後		2						لــــا	1
I			小計 (12科目)	-	0	24	0	0	1	0	0	0	兼5
			まちづくり論	2-3-4前・後		2			2			į l	
		地	市民活動論 I	1-2-3-4前・後		2							1
I		方創	市民活動論 Ⅱ	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
I		生	NPO・NGO経営論	3-4前-後		2							1
1		関連	ホスピタリティ論 (未開講)	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							
学科	:	科	地域文化資源と観光	2・3前・後		2		1					
科専		目	地域文化資源のデザイン	3-4前-後		2		1					
攻	:		小計(7科目)	-	0	14		1	2	0	0	0	兼1
科目	1	П	地域観光産業	2-3-4前・後		2		1				П	
			観光マーケティング	3-4前-後		2		1					
			観光概論	1・2前・後		2		1					
I		観	観光ビジネス実務総論	2前・後		2		1					
I	関	光関	観光ビジネス実務演習	3前・後		2		1					
1	連科	連	観光外国語	3-4前-後		2		1					1
I		科目	旅行業法・旅行業約款(未 <mark>開講</mark>)	2-3前-後		2							1
			国内旅行実務	3-4前-後		2							1
			海外旅行実務(未開講)	3-4前-後		2							1
			小計 (9科目)	-	0	18		2	0	0	0	0	兼1
		H	人文地理学 I	1-2-3-4前-後		2						П	1
			人文地理学Ⅱ	1-2-3-4前-後		2							1
			自然地理学 I	1-2-3-4前-後		2			1				
		任	自然地理学Ⅱ	1-2-3-4前-後		2			1				
		意	地誌	1-2-3-4前-後		2							1
I		科目	地域研究入門	1-2前-後		2			1				
			哲学概論	1-2-3-4前-後		2							1
			倫理学概論	1-2-3-4前-後		2							1
			小計 (8科目)	_	0	16	0	0	1	0	0	0	兼2
\vdash		L	ゼミナール I	2後	2	10	-	5	4		-	H	<i>7</i> 1\-∟
			ゼミナールⅡ	3前	2			5	4				
	卒		卒業論文 I	3後	2			5	4				
	業研		平未酬文 I 卒業論文 II	4前	2			5	4				
	究		平未酬又 II 卒業論文 III	4例	2			5	4				
		究	☆未舗又Ⅲ 小計(5科目)	41次	10	0	0	5	4	1	0	0	0
\vdash		_	小計 (5科目) 合計 (165科目)		64	268	0	5		Ť	0	0	兼62
H	_		合計 (105件日)	立 学	64	268	0	Б	4	1	U	U	飛⁰∠

卒業要件及び履修方法

学部共通科目から必修科目28単位を含む計38単位以上(教養科目:6系の内5系にわたり6単位以上、語学科目:英語必修科目12単位・選択科目4単位以上、全学基本科目10単位、キャリア教養科目2単位以上、特別企画科目、学部基本科目4単位)、学科専攻科目から必修科目26単位および卒棄研究10単位を含む計66単位以上を修得し、残りを学部共通科目、所属学科又は所属学科以外の科目(関連科目を含む)から20単位以上修得し、合計124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

4 4 (#7 W	Ĺ	单位数	汝	専	任教	員等	の配	置	兼任
科 区		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
_	T	哲学・倫理学	1-2-3-4前-後	修	択	由	授	授	師	教	手	担
		日子・冊理子 人間と宗教	1-2-3-4前-後		2							1
		文学	1-2-3-4前-後		2							1
	人	心理学	1-2-3-4前-後		2							1
	文	思想史	1-2-3-4前・後		2							1
	系	歴史学	1-2-3-4前・後		2							1
		地理学	1 · 2 · 3 · 4前 · 後		2							1
		言語文化論	1-2-3-4前-後		2							1
	H	法学	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
		日本国憲法	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
		経済学	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2			1				
	社	政治学	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
	会系	社会学	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
		地域社会論	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
		文化論	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
		著作権と情報倫理	1-2-3-4前・後		2		1					
		生態学	1-2-3-4前-後		2		1					
		物質とエネルギー	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
	自然	生活と化学	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
	系	宇宙の科学 (未開講)	1-2-3-4前・後		2							1
教		科学技術論	1-2-3-4前・後		2							1
養科		科学史	1-2-3-4前・後		2							1
目	ı	生理学	1-2-3-4前-後		2							1
		心の科学	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
	健康	公衆衛生学	1-2-3-4前-後		2							1
	系	生命倫理	1-2-3-4前-後		2							1
		生命の科学	1-2-3-4前・後		2		1					1
		食と健康	1-2-3-4前-後		2							1
学	200	情報の科学	1-2-3-4前・後		2			1				
部共	致 理	情報化と社会	1-2-3-4前-後		2							1
通		数学	1-2-3-4前-後		2							1
科目	報	パズルと論理	1-2-3-4前・後		2		1					
	系		1-2-3-4前・後		2							1
	-	グラフィックデザイン基礎演習	1-2-3-4前・後		2							1
		文献講読 日本語表現演習	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
		ロ本語	1-2-3-4前-後		2							1
		伝統文化論	1-2-3-4前・後		2							' 1
	実践		1-2-3-4前・後		2							1
	系	芸術鑑賞論	1-2-3-4前・後		2							1
		身体運動の原理	1-2-3-4前-後		2							1
		健康スポーツA	1-2-3-4前・後		1							1
		健康スポーツB	1-2-3-4前・後		1							1
H	1_	英語I	1前・後	2	Ė				1			1
		英語Ⅱ	1前・後	2								2
		英語Ⅲ	1前・後	2								2
		英語IV	1前・後	2								2
		英語Ⅴ	2前·後	2			1		1			2
		英語VI	2前·後	2			1		1			2
		上級英語 I	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2		1					
١,	ŧŦ.	上級英語Ⅱ	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2				1			
1	語学	上級英語Ⅲ	3・4前・後		2		1					
1	科	上級英語Ⅳ	3・4前・後		2							1
	目	中国語 I	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
		中国語Ⅱ	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
		中国語Ⅲ	1-2-3-4前・後		2							1
		中国語Ⅳ	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
		韓国·朝鮮語 I	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
		韓国・朝鮮語Ⅱ	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
		韓国・朝鮮語皿	1-2-3-4前・後		2							1
		韓国·朝鮮語IV	1-2-3-4前・後		2			l	l			1

【平成30年度】

		成30千段』		į	单位数	Į.	専	任教	員等	の配	置	兼任
科 区 2		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准教	講	助	助	兼
	_	+5 W		修	択	由	授	授	師	教	手	担
		哲学・倫理学 人間と宗教	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
		入间と示教 文学	1-2-3-4前-後		2				1			1
	人	心理学	1-2-3-4前・後		2				•			1
	文系	思想史	1-2-3-4前・後		2							2
	/ (歴史学	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							4
		地理学	1・2・3・4前・後		2							1
		言語文化論	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
		法学	1-2-3-4前・後		2							1
		日本国憲法	1-2-3-4前・後		2							1
	社	経済学	1-2-3-4前・後		2			1				3
	会	政治学 社会学	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
	系	地域社会論	1-2-3-4前-後		2							1
		文化論	1-2-3-4前・後		2							4
		ろに端 著作権と情報倫理	1-2-3-4前・後		2							2
	H	生態学	1-2-3-4前・後		2		1					-
	1	物質とエネルギー	1-2-3-4前・後		2		1					1
	自	生活と化学	1-2-3-4前・後		2							1
	然系	宇宙の科学	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
教	1	科学技術論	1-2-3-4前・後		2							1
教養科		科学史	1-2-3-4前・後		2							1
目		生理学	1-2-3-4前・後		2							1
		心の科学	1-2-3-4前・後		2							2
	健康	公衆衛生学	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
	原系	生命倫理	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
		生命の科学	1-2-3-4前・後		2		1					1
		食と健康(未開講)	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
学	-44.6	情報の科学	1-2-3-4前・後		2			1				
部 共	数理	INTRIDE IZZ	1-2-3-4前・後		2							1
Ã	· 情	数学(未開講)	1-2-3-4前・後		2							1
科目	報	パズルと論理	1-2-3-4前・後		2		1					1
	系	ウェブデザイン基礎演習	1-2-3-4前・後		2							1
	_	グラフィックデザイン基礎演習 文献講読	1-2-3-4前-後		2							2
		日本語表現演習	1-2-3-4前・後		2							3
		ディベート	1-2-3-4前・後		2							1
		伝統文化論	1-2-3-4前・後		2							1
	実践	創作文化演習	1-2-3-4前・後		2							1
	系	芸術鑑賞論	1-2-3-4前・後		2							1
		身体運動の原理	1-2-3-4前・後		2							1
		健康スポーツA	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		1							1
		健康スポーツB	1・2・3・4前・後		1							1
	•	英語 I	1前・後	2			1		1			4
		英語Ⅱ	1前·後	2			1		1			4
		英語Ⅲ	1前・後	2								8
		英語Ⅳ	1前·後	2								9
		英語 V	2前・後	2			1		1			6
		英語Ⅵ	2前・後	2			1		1			6
		上級英語I	1-2-3-4前・後		2		1					3
1	語学	上級英語Ⅱ	1-2-3-4前・後		2		1		1			2
1	学科	上級英語Ⅲ	1・2・3・4前・後		2							3
li	1	上級英語Ⅳ 中国語 I	1-2-3-4前-後		2		1					2
			1-2-3-4前-後		2							1
		中国語 II 中国語 II	1-2-3-4前-後		2							1
		中国語址 中国語IV	1-2-3-4前-後		2							1
		中国 n I v 韓国・朝鮮語 I	1-2-3-4前・後		2							1
		韓国・朝鮮語Ⅱ	1-2-3-4前・後		2							1
		韓国・朝鮮語皿	1-2-3-4前・後		2							1
		韓国・朝鮮語Ⅳ	1-2-3-4前・後		2							1

科	e l	1541	配当		单位数				員等			兼任
区		授業科目の名称	年次	必	選	自	教	准教	講	助	助工	兼
		ドイツ語 I	1-2-3-4前・後	修	択2	由	授	授	師	教	手	<u>担</u>
		ドイツ語 Ⅱ	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
		ドイツ語Ⅲ	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
		ドイツ語Ⅳ	1-2-3-4前-後		2							1
		フランス語 I	1-2-3-4前-後		2							1
		フランス語Ⅱ	1-2-3-4前-後		2							1
		フランス語皿	1 · 2 · 3 · 4前 · 後		2							1
		フランス語Ⅳ	1 · 2 · 3 · 4前 · 後		2							1
		スペイン語 I	1-2-3-4前-後		2							1
	語	スペイン語Ⅱ	1-2-3-4前・後		2							1
	語学	スペイン語皿	1-2-3-4前-後		2							1
	科目	スペイン語Ⅳ	1-2-3-4前・後		2							1
		日本語Ⅰ	1-2-3-4前-後		2							1
		日本語Ⅱ	1-2-3-4前-後		2							1
		日本語皿	1-2-3-4前-後		2							1
		日本語IV	1-2-3-4前-後		2							
J.E		日本語V(未開講)	1-2-3-4前・後		2							
学		日本語Ⅵ	1-2-3-4前-後		2							1
部共		日本語班(去門港)	1-2-3-4前-後		2							1
画料		日本語価(未開講)	1・2・3・4前・後	_	2							1
 科 目	全 学	学びの技法 I	1前・後	2				2				
	学基	学びの技法Ⅱ	1前・後	2				2				
	本	統計の基礎	1前・後	2								1
	科目	情報の処理 I	1前・後	2			1	1				
		情報の処理Ⅱ	1前・後	2			1	1				
	キャ	キャリア形成と大学	1前·後	2								1
	IJ	キャリア形成と産業社会	2前・後		2							1
	ア 教	キャリア演習 I	2前・後		2							1
	育科	キャリア演習Ⅱ	3前·後		2							1
	目	インターンシップ	2・3・4前・後		2					1		
Γ		プロジェクトA	2·3·4通		4							2
	特	プロジェクトB	3・4通		4							2
	別企	プロジェクトC	2·3·4前·後		2							2
	画	海外研修A										
	科目	海外研修B	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
			1-2-3-4前-後		2							1
Ŀ		海外研修C	1 - 2 - 3 - 4前 · 後	•	2		1					1
秉	本学科部	総合政策概論Ⅰ	1前	2			1					2
-	目 基	総合政策概論Ⅱ	1後	2			1					2
+		小計 (99科目)	-	28	166	0	5	3	1	1	0	兼37
		法学原論	1前・後	2			1					
		憲法	2前・後	2			1					
		政治学原論	1前・後	2				1				
		現代日本政治	2前-後	2				1				
	۸,	行政学原論	1前・後	2				1				
	学科	財政学原論	2前・後	2				1				
	基	経済学原論	1前・後	2				1				
	本科	環境学原論	1前・後	2				1				
	目	現代日本経済	2前・後	2				1				
		経営学原論	1前・後	2						1		
		国際関係論	2前・後	2			1					
学		公共政策	2前・後	2				1				
專		基礎ゼミナール	2前	2			1	L	L	1	L	L
学科專女科		小計 (13科目)	-	26	0	0	2	3	0	1	0	0
타 目		総合政策演習(政治・行政)	3-前		2			2				
		行政法	2前·後		2							1
		社会安全政策	2・3前・後		2							1
		交通政策	2・3前・後		2			3				
	_,	文化政策	2・3前・後		2		1					
	政治	環境政策	2・3前・後		2		·	1				
	行	^{環境政策} 情報政策	2·3削·後 2·3前·後		2			'				1
	政											
	分 野	文教科学政策	2・3前・後		2							1
		都市計画	2.3前.後		2							1
		立法技術論	2.3前.後		2			1				
		政策過程論	2・3前・後		2			1				
		政策過程分析	3・4前・後		2			1				
		小計 (12科目)	_				1	3	0	0	0	兼5

【平成30年度】

Γ				<u>i</u>	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任
	科目 区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助	
ľ	_/,		1 20	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担
		ドイツ語 I	1-2-3-4前・後		2							1
		ドイツ語Ⅱ	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1
		ドイツ語Ⅲ	1-2-3-4前・後		2							1
		ドイツ語Ⅳ	1-2-3-4前・後		2							1
		フランス語 I	1-2-3-4前-後		2							1
		フランス語Ⅱ	1-2-3-4前・後		2							1
		フランス語皿	1-2-3-4前-後		2							1
		フランス語Ⅳ	1-2-3-4前-後		2							1
	語	スペイン語Ⅰ	1-2-3-4前-後		2							1
	学	スペイン語 Ⅱ スペイン語 Ⅲ	1-2-3-4前-後		2							1
	科目	スペイン語皿 スペイン語Ⅳ	1-2-3-4前-後		2							1
		日本語Ⅰ	1-2-3-4前-後		2							1
		日本語Ⅱ	1-2-3-4前-後		2							1
		日本語皿	1-2-3-4前-後		2							1
		日本語Ⅳ	1-2-3-4前・後		2							2
		日本語Ⅴ	1-2-3-4前・後		2							2
学		日本語VI	1-2-3-4前・後		2							1
部		日本語VII	1-2-3-4前-後		2							2
,部共通		日本語呱	1-2-3-4前-後		2							1
科目	全	学びの技法 I	1前·後	2				2				
Γ	学	学びの技法Ⅱ	1前・後	2				2				
	基本	統計の基礎	1前・後	2								1
	科	情報の処理 I	1前・後	2			1	1				2
	目	情報の処理Ⅱ	1前・後	2			1	1				1
	キャ	キャリア形成と大学	1前・後	2								1
	リア	キャリア形成と産業社会	2前・後		2							1
	教	キャリア演習I	2前・後		2							1
	育科	キャリア演習Ⅱ	3前・後		2							1
	目	インターンシップ	2·3·4前·後		2					1		3
	4+	プロジェクトA	1・2・3・4運		4							3
	特別	プロジェクトB	2・3・4通		4							3
	企画	プロジェクトC(未開講)	1-2-3-4前-後		2							2
	科	海外研修A	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							11
	目	海外研修B	1-2-3-4前-後		2							11
		海外研修C	1-2-3-4前・後		2							11
	本学 科部	総合政策概論I	1前	2			1					4
L	目基	総合政策概論Ⅱ	1後	2	100		1	•	1	4	^	4
-		小計 (99科目) 法学原論	140 66	28	166	0	5	3	1	1	0	兼60
		憲法	1前·後 2前·後	2			1					
		政治学原論		2			'	1				
		現代日本政治	1前·後 2前·後	2				1				
I		行政学原論	1前・後	2				1				
l	学	財政学原論	2前・後	2				1				1
I	科基本科	経済学原論	1前·後	2				1				
I	本	環境学原論	1前・後	2				1				
l	科目	現代日本経済	2前・後	2				1				
I		経営学原論	1前・後	2						1		
I		国際関係論	2前・後	2			1					
学科		公共政策	2前・後	2				1				
学科専攻科目		基礎ゼミナール	2前	2			2			1		
攻科		小計 (13科目)	-	26	0	0	3	3	0	1	0	兼1
目		総合政策演習(政治・行政)	3-前		2			2				
I		行政法	2前・後		2							1
I		社会安全政策	3-4前-後		2							1
I		交通政策	3-4前-後		2			3				
l	政	文化政策(未開講)	2.3前.後		2		1					
I	治行	環境政策	2・3前・後		2			1				١, ١
I	政	情報政策 文教科学政策	2・3前・後		2							1
l	分野	文教科学政策 都市計画	3·4前·後 2·3前·後		2							1
I		都市計画 立法技術論	2·3削·後		2			1				'
I		立法技術論 政策過程論	3・4前・彼 2・3前・後		2			1				
I		政策過程分析	3-4前-後		2			1				
I		小計 (12科目)	J · 4 削 · 1友	0	24	0	1	3	0	0	0	兼5
_		. e. (-911H/		Ť	-1	v	•	ŭ		ŭ	-	-111.0

æ				#7 V		单位数					の配	-	兼任
	斗 E 区 分		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助	
				,	修	択	由	授	教 授	師	教	手	兼担
			総合政策演習(経済・経営)	3-前		2			1		1		
			経済政策概論	2前・後		2			1				
			国際経済	2・3前・後		2			1				
			金融政策	2・3前・後		2			1				
	糸	¥	財政政策	2・3前・後		2			1				
	3	各	資源論	2・3前・後		2							1
	糸宮	Ŧ	社会保障概論	2前・後		2							1
	タ 里) E	社会保障政策	2・3前・後		2							1
	#	:r	経営戦略論	2・3前・後		2					1		
			国際経営論	3-4前-後		2							1
			経営政策概論	2前・後		2					1		
			企業論	2・3前・後		2			1				
H	Ц,		小計 (12科目)	-	0	24	0	0	1	0	1	0	兼3
			まちづくり論	1・2・3・4前・後		2			3				L
		تاء		1・2・3・4前・後		2							1
		方創	市民活動論Ⅱ	1・2・3・4前・後		2							1
		生関	NPO・NGO経営論	3-4前-後		2							1
学		連	ホスピタリティ論(未開講)	1・2・3・4前・後		2							1
科		科目	地域文化資源と観光	2·3前·後 2·3·4前·後		2							
専攻		1	地域文化資源のデザイン	2・3・4削・後	0	2		0	0	0	0	0	¥-0
科		Н	小計 (7科目) 地域観光産業	2・3・4前・後	0	14 2		0	3	0	0	0	兼2
目			地域観光座来 観光マーケティング			2							
			観光概論(未開講)	3·4前·後 1·2前·後		2							
		観		2・3前・後		2							
	関	光	観光ビジネス実務演習	3前・後		2							
	連	関連	観光外国語	3・4前・後		2		1					1
	科目	科目	旅行業法・旅行業約款	2・3前・後		2		'					1
	1	п	国内旅行実務	2・3前・後		2							1
			海外旅行実務	2・3前・後		2							1
			小計 (9科目)		0	18		1	0	0	0	0	兼2
		H	人文地理学 I	1 · 2 · 3 · 4前 · 後		2							1
			人文地理学Ⅱ	1・2・3・4前・後		2							1
			自然地理学 I	1・2・3・4前・後		2			1				
		任	自然地理学Ⅱ	1・2・3・4前・後		2			1				
		意科	地誌	1-2前-後		2							1
		日	地域研究入門	1・2・3・4前・後		2			1				
			哲学概論	1・2・3・4前・後		2							1
			倫理学概論	1・2・3・4前・後		2							1
			小計(8科目)	-	0	16	0	0	1	0	0	0	兼2
			ゼミナール I	2後	2			5	4	1	1		
	卒		ゼミナールⅡ	3前	2			5	4	1	1		
	業		卒業論文 I	3後	2			5	4	1	1		
	研究		卒業論文Ⅱ	4前	2			5	4	1	1		
	究		卒業論文Ⅲ	4後	2			5	4	1	1		
			小計(5科目)	-	10	0	0	5	4	1	1	0	0
		1	合計 (165科目)	-	64	268	0	5	4	1	1	0	兼47

卒業要件及び履修方法

学部共通科目から必修科目28単位を含む計38単位以上(教養科目:6系の内5系にわたり6単位以上、語学科目:英語必修科目12単位・選択科目4単位以上、全学基本科目10単位、キャリア教養科目2単位以上、特別企画科目、学部基本科目4単位)、学科専攻科目から必修科目26単位および卒業研究10単位を含む計66単位以上を修得し、残りを学部共通科目、所属学科又は所属学科以外の科目(関連科目を含む)から20単位以上修得し、合計124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

【平成30年度】

_	_	_	及りし千皮』					,						
Г					Ĺ	单位数	女	専	任教	員等	の配	置	兼任	
	科 目 区 タ		授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准	講	助	助		
ľ		,		+ 4	修	択	由	授	教授	師	教	手	兼担	
F			総合政策演習(経済・経営)	3・前	201	2	ш	18	1	Дib	1			
			経済政策概論	2前·後		2			1					
			国際経済	2-3-4前-後		2							1	
			金融政策	3-4前-後		2							1	
		⊽	財政政策	3-4前-後		2			1					
	1 3	圣	資源論	2・3前・後		2							1	
	希中	圣堂	社会保障概論(未開講)	2前·後		2							1	
	3	ł	社会保障政策	3-4前-後		2							1	
	1	F	経営戦略論	3前・後		2					1			
			国際経営論	3・4前・後		2							1	
			経営政策概論	2前·後		2					1		1	
			企業論	2・3前・後		2			1				1	
			小計 (12科目)	_	0	24	0	0	1	0	1	0	兼6	
			まちづくり論	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2			3					
		地	市民活動論 I	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1	
			市民活動論Ⅱ	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1	
		方創生	NPO・NGO経営論	3-4前-後		2							1	
		関	ホスピタリティ論(未開講)	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2								
学	:	連科	地域文化資源と観光	2・3前・後		2		1						
科専		目	地域文化資源のデザイン	3-4前-後		2		1						
学科専攻科			小計(7科目)	-	0	14		1	3	0	0	0	兼2	
科目			地域観光産業	2-3-4前-後		2		1						
ľ			観光マーケティング	3-4前-後		2		1						
			観光概論	1・2前・後		2		1						
		観火	観光ビジネス実務総論	2前・後		2		1						
	関	光関連	観光ビジネス実務演習	3前・後		2		1						
	連科目	連科	観光外国語	3-4前-後		2		1					1	
	目	目	旅行業法・旅行業約款	2-3前-後		2							1	
			国内旅行実務	3-4前-後		2							1	
			海外旅行実務	3-4前-後		2							1	
			小計(9科目)	_	0	18		2	0	0	0	0	兼2	
			人文地理学 I	1-2-3-4前-後		2							1	
I			人文地理学Ⅱ	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1	
1			自然地理学 I	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2			1					
		任	自然地理学Ⅱ	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2			1					
		意科	地誌	1-2-3-4前-後		2							1	
		目	地域研究入門	1-2前-後		2			1					
			哲学概論	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1	
			倫理学概論	1 - 2 - 3 - 4前 - 後		2							1	
			小計(8科目)	-	0	16	0	0	1	0	0	0	兼2	
Г			ゼミナール I	2後	2			6	4	1	1			
I	卒		ゼミナールⅡ	3前	2			6	4	1	1			
1	業研		卒業論文I	3後	2			6	4	1	1			
1	究		卒業論文Ⅱ	4前	2			6	4	1	1			
1			卒業論文Ⅲ	4後	2			6	4	1	1	L		
L			小計(5科目)	-	10	0	0	6	4	1	1	0	0	
Г			合計 (165科目)	-	64	268	0	6	4	1	1	0	兼66	
		_		太坐	T (4 T	パ屋な	- 1 - 1							

卒業要件及び履修方法

学部共通科目から必修科目28単位を含む計38単位以上(教養科目:6系の内5系にわたり6単位以上、語学科目:英語必修科目12単位・選択科目4単位以上、全学基本科目10単位、キャリア教養科目2単位以上、特別企画科目、学部基本科目4単位)、学科専攻科目から必修科目26単位および卒業研究10単位を含む計66単位以上を修得し、残りを学部共通科目、所属学科又は所属学科以外の科目(関連科目を含む)から20単位以上修得し、合計124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。 ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。

 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。 ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を
 - 黒字で記入してください。その上で、<u>認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**</u>としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。 (<u>2つの表が1ページに表示されるように</u>してください。)

```
●教育効果の向上を図るため、次の授業科目の配当年次を変更。
「法学原論」「政治学原論」「行政学原論」「経済学原論」「環境学原論」および「経営学原論」… 何れも「1・2前・後」→「1前・後」
「憲法」「現代日本政治」「財政学原論」「現代日本経済」および「国際関係論」… 何れも「1・2前・後」→「2前・後」
  「公共政策」…「2・3前・後」→「2前・後」
  「総合政策演習(政治・行政)」および「総合政策演習(経済・経営)」… 何れも「2前」→「3前」
  「政策過程論」…「3・4前・後」→「2・3前・後」
  「NPO・NGO経営論」「観光マーケティング」および「観光外国語」… 何れも「1・2・3・4前・後」→「3・4前・後」
  「地域観光産業」…「1・2・3・4前・後」→「2・3・4前・後」
  「観光ビジネス実務演習」…「1 · 2 · 3 · 4 前 · 後」→「3 前 · 後」
  「旅行業法・旅行業約款」…「1・2前・後」→「2・3前・後」
  「地誌」…「1・2・3・4前・後」→「1・2前・後」
●履修者数等に基づくクラス数の調整により、次の授業科目の専任教員等の配置および担当する兼任・兼担の教員の数を変更。
  「英語 I」・・・「教授 1」→「教授 0」、「兼任・兼担 2」→「兼任・兼担 1」
「英語 II」「英語Ⅲ」および「英語Ⅳ」・・・ 何れも「教授 1」→「教授 0」、「講師 1」→「講師 0」
  「学びの技法 I 」および「学びの技法 I 」 … 何れも「教授 2 」 \rightarrow 「教授 0 」、「助教 1 」 \rightarrow 「助教 0 」
●担当教員の総担当科目数等の調整のため、次の授業科目の専任教員等の配置および担当する兼任・兼担の教員の数を変更。
  「情報の科学」…「准教授0」→「准教授1」、「兼任・兼担1」→「兼任・兼担0」
  「情報の処理 I 」および「情報の処理 I 」 … 何れも「教授 0 」 \rightarrow 「教授 1 」、「兼任・兼担 1 」 \rightarrow 「兼任・兼担 0 」
●専任教員(教授1名)の就任辞退により、次の授業科目の専任教員等の配置を変更。
  「基礎ゼミナール」…「教授2」→「教授1」
  - 1 地域文化資源と観光」「地域文化資源のデザイン」「地域観光産業」「観光マーケティング」「観光概論」「観光ビジネス実務総論」および「観光ビジネス実務演習」・・ 何れも「教授 1 」→「教授 0 」
  「ゼミナールⅠ」「ゼミナールⅡ」「卒業論文Ⅰ」「卒業論文Ⅱ」および「卒業論文Ⅲ」… 何れも「教授6」→「教授5」
```

```
【平成30年度】
●語学教育の充実を目的とする全学的な英語教育プログラムの見直しにより、次の授業科目の配当年次を変更。
 「上級英語Ⅲ」および「上級英語Ⅳ」… 何れも「3・4前・後」→「1・2・3・4前・後」
●教育効果の向上を図るため、次の授業科目の配当年次を変更。
 「プロジェクトA」…「2・3・4通」→「1・2・3・4通」
「プロジェクトB」…「3・4通」→「2・3・4通」
 「プロジェクトC」…「2・3・4前・後」→「1・2・3・4前・後」
 「社会安全政策」「交通政策」「文教科学政策」「立法技術論」「金融政策」「財政政策」「社会保障政策」「国内旅行実務」および「海外旅行実務」… 何れも「2・3
前・後」→「3・4前・後」
 「国際経済」…「2・3前・後」→「2・3・4前・後」
 「経営戦略論」…「2・3前・後」→「3前・後」
「地域文化資源のデザイン」…「2・3・4前・後」→「3・4前・後」
 「観光ビジネス実務総論」…「2・3前・後」→「2前・後」
 「地域研究入門」…「1·2·3·4前·後」→「1·2前·後」
●昨年度(平成29年度)報告時の誤記入を訂正するため、次の授業科目の配当年次を変更。
 「地誌」…「1・2前・後」→「1・2・3・4前・後」
●語学教育の充実を目的とする全学的な英語教育プログラムの見直しにより、次の授業科目の専任教員等の配置および担当する兼任・兼担の教員の数を変更。
 「英語 I」…「教授 O」→「教授 1」、「兼任・兼担 1」→「兼任・兼担 4」
「英語 II」…「教授 O」→「教授 1」、「講師 O」→「講師 1」、「兼任・兼担 2」→「兼任・兼担 4 」
 「英語皿」…「兼任・兼担2」→「兼任・兼担6」
  「英語Ⅳ」…「兼任・兼担2」→「兼任・兼担6」
 「英語 V」…「教授 1」→「教授 0」、「講師 1」→「講師 0」、「兼任・兼担 2」→「兼任・兼担 5」「英語 VI」…「講師 1」→「講師 0」、「兼任・兼担 2」→「兼任・兼担 4」「上級英語 I」…「兼任・兼担 0」→「兼任・兼担 3」
 「上級英語I」…「教授O」→「教授I」、「兼任・兼担O」→「兼任・兼担2」
「上級英語II」…「教授O」→「教授O」、「兼任・兼担O」→「兼任・兼担3」
「上級英語IV」…「教授O」→「教授 I」、「兼任・兼担1」→「兼任・兼担2」
●国際化の推進を目的とする海外研修プログラムの実施方法の見直しにより、次の授業科目の専任教員等の配置および担当する兼任・兼担の教員の数を変更。
 「海外研修A」および「海外研修B」… 何れも「兼任・兼担1」→「兼任・兼担11」
「海外研修C」…「兼任・兼担1」→「兼任・兼担11」
教育効果の向上を図るため、次の授業科目の専任教員等の配置および担当する兼任・兼担の教員の数を変更。
 「総合政策概論Ⅰ」および「総合政策概論Ⅱ」… 何れも「兼任・兼担2」→「兼任・兼担4」
 「財政学原論」「経営政策概論」および「企業論」…「兼任・兼担0」→「兼任・兼担1」
●専任教員(教授1名)の就任により、次の授業科目の専任教員等の配置を変更。
 「基礎ゼミナール」…「教授1」→「教授2」
 「地域文化資源と観光」「地域文化資源のデザイン」「地域観光産業」「観光マーケティング」「観光概論」「観光ビジネス実務総論」および「観光ビジネス実務演習」…
何れも「教授0」→「教授1」
 「ゼミナール I 」「ゼミナール I 」「卒業論文 I 」「卒業論文 I 」 および「卒業論文I 」 がよび「卒業論文I 」 が存ら」
●兼任教員(1名)の就任辞退により、次の授業科目を担当する兼任・兼担の教員の数を変更。
 「ホスピタリティ論」…「兼任・兼担1」→「兼任・兼担0」
●履修者数等に基づくクラス数の調整により、次の授業科目の専任教員等の配置および担当する兼任・兼担の教員の数を変更。
  「情報の処理Ⅰ」… 「兼任・兼担0」→「兼任・兼担2」
●新学部(看護学部)の開設等を踏まえたクラス数および担当者の調整により、次の授業科目の専任教員等の配置および担当する兼任・兼担の教員の数を変更。
 「人間と宗教」…「兼任・兼担1」→「兼任・兼担4」
 「文学」…「講師O」→「講師1」
「思想史」…「兼任・兼担1」→「兼任・兼担2」
  「歴史学」…「兼任・兼担0」→「兼任・兼担4」
  「経済学」…「兼任・兼担○」→「兼任・兼担3」
 「地域社会論」…「兼任・兼担1」→「兼任・兼担4」
 「物質とエネルギー」…「教授 0」→「教授 1」、「兼任・兼担 1」→「兼任・兼担 0」
  「心の科学」…「兼任・兼担1」→「兼任・兼担2」
 「パズルと論理」…「兼任・兼担0」→「兼任・兼担1」
 「文献講読」…「兼任・兼担1」→「兼任・兼担2」
「日本語表現演習」…「兼任・兼担1」→「兼任・兼担3」
  「インターンシップ」…「兼任・兼担0」→「兼任・兼担3」
  「プロジェクトA」および「プロジェクトB」… 何れも「兼任・兼担2」→「兼任・兼担3」
 「日本語Ⅳ」「日本語Ⅴ」および「日本語Ⅷ」・・・何れも「兼任・兼担1」→「兼任・兼担2」
●担当教員の総担当科目数等の調整のため、次の授業科目の専任教員等の配置および担当する兼任・兼担の教員の数を変更。
「国際経済」および「金融政策」・・・「准教授1」→「准教授0」、「兼任・兼担0」→「兼任・兼担1」
```

【令和元年度】

```
●教育効果の向上を図るため、次の授業科目の配当年次を変更。
 「キャリア演習Ⅱ」…「3前・後」→「2前・後」
「まちづくり論」… 「1・2・3・4前・後」→「2・3・4前・後」
教育効果の向上を図るため、次の授業科目の専任教員等の配置および担当する兼任・兼担の教員の数を変更。
 「文学」… 「兼任・兼担1」→「兼任・兼担2」
 「心理学」… 「兼任・兼担1」→「兼任・兼担2」
 「芸術鑑賞論」… 「兼任・兼担1」→「兼任・兼担3」
 「健康スポーツA」「健康スポーツB」… 何れも「兼任・兼担1」→「兼任・兼担2」
 「立法技術論」… 「兼任・兼担 0 」→「兼任・兼担 1 」
●他学部とのクラス数および担当者の調整により、次の授業科目の専任教員等の配置および担当する兼任・兼担の教員の数を変更。
 「上級英語Ⅰ」… 「講師0」→「講師1」
●担当科目数等の調整により、次の授業科目の専任教員等の配置および担当する兼任・兼担の教員の数を変更。
 「経済学」… 「兼任・兼担3」→「兼任・兼担2」
 「プロジェクトC」… 「兼担2」→「兼担0」
 「ゼミナールⅠ」… 「講師1」→「講師0」
●クラス数の調整により、次の授業科目の専任教員等の配置および担当する兼任・兼担の教員の数を変更。
 「歴史学」… 「兼任・兼担4」→「兼任・兼担3」
「文化論」… 「兼任・兼担4」→「兼任・兼担2」
 「パズルと論理」… 「兼任・兼担1」→「兼任・兼担0」
 「情報の処理Ⅰ」… 「兼任・兼担2」→「兼任・兼担1」
「情報の処理Ⅱ」… 「教授1」→「教授0」、「兼任・兼担1」→「兼任・兼担2」
●専任教員(准教授1名)の就任により、次の授業科目の専任教員等の配置および担当する兼任・兼担の教員の数を変更。
 「行政学原論」「政策過程論」… 「准教授1」→「准教授2」
 「基礎ゼミナール」… 「准教授0」→「准教授1」
●兼担教員(教授1名、准教授1名)の就任により、次の授業科目の専任教員等の配置および兼任・兼担の教員の数を変更。
 「生活と化学」「生理学」「生命倫理」「生命の科学」・・・何れも「兼任・兼担1」→「兼任・兼担2」
●専任教員 (教授1名、准教授1名、助教1名) の辞任およびこれに伴う担当者の調整により、次の授業科目の専任教員等の配置および担当する兼任・兼担の教員の数を変
 。
「経済学」「企業論」… 「准教授1」→「准教授0」
「まちづくり論」… 「准教授3」→「准教授2」
 「インターンシップ」… 「助教 1」→「助教 0」、「兼任・兼担 3」→「兼任・兼担 2」
 「経済学原論」… 「准教授1」→「准教授0」、「兼任・兼担0」→「兼任・兼担1」
 「基礎ゼミナール」「経営学原論」… 何れも「助教 1 」→「助教 0 」
 「交通政策」… 「准教授3」→「准教授2」、「兼任・兼担0」→「兼任・兼担1」
 「文化政策」… 「教授1」→「教授0」
 「総合政策演習(経済・経営」「経営戦略論」「経営政策概論」··· 「助教 1 」→「助教 0 」
 「ゼミナール I」「ゼミナール I」「卒業論文 I」「卒業論文 I」「卒業論文 I」「卒業論文 I」「「教授 I」 I 「教授 I」 I 「助教 I」 I 「助教 I」 I 「助教 I」 I 「
●兼担教員(教授1名、准教授4名、助教4名)の辞任およびこれに伴う担当者の調整により、次の授業科目の専任教員等の配置および兼任・兼担の教員の数を変更。
 「物質とエネルギー」… 「兼任・兼担1」→「兼任・兼担0」
 「食と健康」… 「兼任・兼担1」→「兼任・兼担0」
 「英語Ⅲ」…「講師0」→「講師1」、「兼任・兼担8」→「兼任・兼担5」
 「英語Ⅳ」…「講師0」→「講師1」、「兼任・兼担9」→「兼任・兼担5」
 「英語Ⅴ」「英語Ⅵ」・・・「講師1」→「講師0」、「兼任・兼担6」→「兼任・兼担5」
 「上級英語Ⅰ」… 「講師〇」→「講師1」
 「上級英語Ⅱ」… 「教授1」→「教授0」
 「上級英語Ⅲ」… 「教授 O」→「教授 1」、「兼任・兼担 3」→「兼任・兼担 1」
 「海外研修A」「海外研修B」「海外研修C」… 何れも「兼任・兼担11」→「兼任・兼担10」
●兼任教員(2名)の辞任およびこれに伴う担当者の調整により、次の授業科目の専任教員等の配置および兼任・兼担の教員の数を変更。
「日本語Ⅳ」「日本語Ⅴ」「日本語Ⅵ」・・・「兼任・兼担2」→「兼任・兼担1」
```

- 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、 授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。

 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

Г		設置時 <i>0</i>	の計画			変更	夏状況		供来
	必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	備考 ————————————————————————————————————
	32 科目	133 科目	0 科目	165 科目	32 科目 [0]	133 科目 [0]	0 科目 [0]	165 科目 [0]	

(注)・ <u>未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入</u>するとともに、 [] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ 1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1	食と健康	2	1·2·3·4前·後	一般	選択	専任教員の辞任(後任未定)、次年度開講予定
2	情報化と社会	2	1・2・3・4前・後	一般	選択	担当者の総担当科目数等を考慮、次年度開講予定
3	プロジェクトC	2	1·2·3·4前·後	一般	選択	近年の履修希望者数の推移等を考慮、次年度開講予定
4	文化政策	2	2.3前.後	専門	選択	専任教員の辞任(後任未定)、次年度開講予定
5	経済政策概論		2前・後	専門	選択	専任教員の辞任(後任未定)、次年度開講予定
6	社会保障政策		3⋅4前・後		選択	兼任教員の辞任(後任未定)、次年度開講予定
7	経営戦略論	2	3前・後	専門	選択	専任教員(令和元年9月採用予定)により今年度開講予定
8	経営政策概論		2前・後	専門	選択	専任教員(令和元年9月採用予定)により今年度開講予定
9	市民活動論Ⅱ	2	1・2・3・4前・後	専門	選択	近年の履修希望者数の推移等を考慮、次年度開講予定
1 0	ホスピタリティ論	2	1·2·3·4前·後	専門	選択	兼任教員の就任辞退(後任未定)、次年度開講予定
1 1	旅行業法・旅行業約款	2	2·3前·後	専門	選択	近年の履修希望者数の推移等を考慮、次年度開講予定
1 2	海外旅行実務	2	3.4前.後	専門	選択	近年の履修希望者数の推移等を考慮、次年度開講予定

- (注)・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入して ください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - · 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入して ください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「経営戦略論」および「経営政策概論」を除くすべての未開講科目は、次年度に開講して履修機会を 確保することとしている。「経営戦略論」および「経営政策概論」は令和元(2019)年度中に開講予定 として後任者を選考中である。

学生に対しては、ガイダンスや掲示等を通じて未開講となることを説明し、周知している。

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、 学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目(3)と廃止科目(4)の計 7.27 % 設置時の計画の授業科目数の計(A)

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

3 施設・設備の整備状況,経費

	区		分				内				容	ł		備考
(1)		区	分		専	用	共	用		共用する 学校等の			計	常磐短期大学(必要面積4,800m) と共用 (収容定員:480人)
l		校翁	き 敷 坮	<u>h</u>		0 m²		67, 555. 62			0r	nt	67, 555. 62 m	
校		運動	場用地	ļ.		0m²		17, 503. 00	m		0r	nî	17, 503. 00 m	
地		小	計	-		0 m²		85, 058. 62	mi		0r	ก๋	85, 058. 62 m	21,878.42㎡ 借用期間 30年間他
等		そ	の他	ļ		0m²	5, 497. 81 m²		m	0 m ²		ก๋	5, 497. 81 m	 2 運動場敷地 借地面積 17,503.00㎡ 借用期間 20年間
ħ.		合	計	-		0 m²		90, 556. 43	m			n [†]	90, 556. 43 m	
					専	用	共	用		ŧ用する 学校等σ			計	- 常磐短期大学(必要面積
(2) 校			舎			23, 856. 00 m²		19, 401. 02	m [*]	2	2, 218. 76r	n [*]	45, 475. 78m	# 4 150㎡)と共用 (収容定員:480人)
					(23, 85	6.00m²)	(19, 4	101. 02 m ²)	(2, 218.	76 m ²)	(45	, 475. 78m²)	
				講	義室	演習	室室	実験実	習室	情報	処理学習加	色設 言	吾学学習施設	
(3) 教		室	等		39	室	51室		63室		功職員 4	8室 人) (補	2室 前助職員 1人)	
						 新設学部	等の名称			<u> </u>	室	数	t	
(4) 専	任教	対員研 究	室		総合政	法律	学科 行政学科 政策学科						11 室 12 室 12 室	-
				3	图 書	学術	雑誌							
(5)	(5) 新設学部等 の名称				ち外国書〕	〔うちタ	国書]	電子ジャ	ーナル	視聴	覚資料 🥻	機械・器具	標 本 	大学全体での共用分 図書 381,858 [83,550]
					m	種	〔うち外	国書〕		点	ı	点点	378, 768 (83, 518) 377, 481 (83, 297)	
	60 A TL 07 24 40		44, 718 [8, 255] 44, 268 [8, 302] 44, 202 [8, 287]		345 (134)	4 [1 4 [1 4 [1)	12	249 263 258	9, 63	39 118	(373, 421 [82, 678]) (365, 783 [82, 171]) (358, 389 [6, 218]) 学術雑誌 14, 650 [8, 584]	
図書・	₩.E	総合政策学部		(42, 843 [7, 99) (41, 433 [7, 95) (41, 077 [7, 90)		(339 [131)	4 [1 4 [1 4 [1)	(1, 188) -(1, 180) -(1, 163)		(9, 379) (9, 249) (9, 119)	(118)	21, 851 〔15, 984〕 (14, 614 〔8, 558〕) (14, 607 〔8, 657〕) (13, 076 〔5, 929〕) 視聴覚資料 21, 333 (20, 786)
設備				44,	718 [8, 255] 268 [8, 302] 202 [8, 287]	345 (134)	4 (1 4 (1 4 (1)	12	249 263 258	9, 63	39 118	21,894(21,157) 21,948 (20,961) 表中の学術雑誌・電子ジャー ナル数は、カウント方法を変 更したために訂正(29)。
		計		(41,	843 (7, 990) 433 (7, 957) 077 (7, 902)	(339 [131)	4 (1 4 (1 4 (1)	(1,	188) 180) 163)	(9, 379) (9, 249) (9, 119)	(118)	機械・器具、標本は、学部単 位での特定不能なため、大学 全体の数
(6) 図		書	館		面	積		閲覧座	席数		収	納可	能 冊 数	-大学全体
(0) 🗵			ᅜᆸ			4, 476. 25	ōm¹			472			256, 020冊	
					面	積			体育館以	外のスを	ポーツ施言	设の概要		大学全体
(7) 体		育	館			2, 884. 33 2, 864. 0 0	S㎡ Am Ami	場			弓道場			体育館面積の差異は改築 に伴う計画と登記上の面 積の誤差である(30)
		ራ ₽ ≠+	Σ	Σ.	分	開設年度	完成年度	隻 区	分	開設す	前年度	開設年度	完成年度	
(8)			教員 1	人当り	研究費等	350千円	350 	千円 図書	購入費	1, 0	000千円	2, 762千日	円 10,871千円	
経費の 積り及	び	積り	共 同	研 3	党 費 等	800千円	800 1	千円 設備	購入費		- 千円	320千日	円 990千円	届出学部全体 図書費には電子ジャーナ
維持方 の 概	法	学生 1 に		第	1 年次	第2年次	第	3 年次	第4年	下次	第 5	第5年次 第6年次		- 図書員には電子ジャー) ル・データベースの整備 費(運用コスト含む)を
		納作			1,280千円	1, 030 1	·円	1,030千円	1, 0	30千円	-	- 千円	— 千円	♠ + \
学生納付金以外の維持方法の概要 学生納付金以外の維持方法の概要 入、雑収入等により維持を図る。							息・配	当金収入	 、付随事業	・収益事業収				

(注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び「(2) 校舎」は大学全体の数字を、その他の 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、 その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	常	磐大	学大	学院	7					備	
八子切石标	173				-	π # 1#	定員変更			VHI	د.
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地		
	年	人	年次	人		倍	年度	年度	年度		
人間科学研究科			人								
人間科学研究科博士課程(後期)	3	2	-	6	博士 (人間科学)	0.00	-	平成5	茨城県水戸市	平成28年	より定員源
人間科学専攻修士課程	2	10	-	20	修士 (人間科学)	0. 55	_	平成元	- 見和一丁目 430番地の1		
大学院全体		12		26		0.30			-		
大学の名称	常	磐大	学							備	考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地		
	年	人	年次	人		倍	年度	年度	年度		
人間科学部		396	人	1 501	学士	1.03	_	пл≠п∈0]		
	,			1, 581	(人間科学) 学士			昭和58		平成31年4	月3年次編フ
心理学科	4	90	- 3年次	365	(人間科学)	1.03	_	平成20		学定員募集	集停止 5→0 月3年次編 <i>7</i>
教育学科	4	66	4	244	学士 (人間科学)	1. 16	_	平成20		学定員変更	E 2→4
初等教育コース	4	50	3年次	183	学士 (人間科学)	1.06	_	平成26		学定員変更	-
中等教育コース	4	16	3年次 2	61	学士 (人間科学)	1. 48	-	平成26		平成31年4 学定員変更	月3年次編 <i>]</i> € 1→2
現代社会学科	4	90	-	354	学士 (人間科学)	1. 19	_	平成16			月3年次編 <i>7</i> 集停止 4→0
コミュニケーション学科	4	70	-	294	学士 (人間科学)	0. 65	_	昭和58		平成31年4	月3年次編 <i>7</i> 長停止 4→0
健康栄養学科	4	80	-	324	学士 (人間科学)	1. 13	_	平成20		平成31年4	月3年次編 <i>7</i> 長停止 4→0
<u>総合政策学部</u>		245	-	735	学士 (総合政策学)	0. 97	_	平成29		厂化贝芬	×1711 7 70
経営学科	4	85	-	255	学士 (総合政策学)	1. 28	-	平成29	茨城県水戸市		
<u>法律行政学科</u>	4	75	-	225	学士 (総合政策学)	0. 77	-	平成29	- 見和一丁目 430番地の1		
<u>総合政策学科</u>	4	85	-	255	学士 (総合政策学)	0. 85	-	平成29			
国際学部		-	-	-	学士 (国際学)	_	-	平成8		平成29年皇	学生募集停」
経営学科	4	-	-	-	学士 (国際学)	-	-	平成20		※平成29年学 (3年次編入等 4月募集停止)	生募集停止 学定員は平成31:
英米語学科	4	-	-	-	学士 (国際学)	_	_	平成16		※平成29年学	生募集停止 学定員は平成31:
コミュニティ振興学部		-	-	-	学士 (コミュニティ振興 学)	_	_	平成12			学生募集停山
コミュティ文化学科	4	-	-	-	ゲ/ 学士 (コミュニティ振興 学)	_	_	平成12		※平成29年学 (3年次編入等 4月募集停止)	生募集停止 学定員は平成31:
地域政策学科	4	-	-	-	デナ 学士 (コミュニティ振興 学)	_	_	平成18		※平成29年学	生募集停止 学定員は平成31:
ヒューマンサービス学科	4	-	-	-	デ/ 学士 (コミュニティ振興 学)	_	_	平成12		※平成29年学	生募集停止 学定員は平成31:
看護学部		80		160	学士 (看護学)	1. 17	-	平成30	茨城県水戸市 見和一丁目 430番地の1		
看護学科	4	80		160	学士 (看護学)	1. 17	-	平成30	茨城県東茨城郡 茨城町桜の郷 280番地		
大学全体		721		2, 476		1.01					
大学の名称	常	磐短	期大	学						備	考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学定 員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地		
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度		
キャリア教養学科	2	100	_ ^	200	短期大学士 (キャリア教養学)	0.81	_	平成15	茨城県水戸市		
幼児教育保育学科	2	140	_	280	短期大学士 (幼児教育保育学)	0. 93	_	昭和43	- 見和一丁目 430番地の1		
大学全体		240	_	480	(列元教目体目子)	0. 88	_	昭和43	۲		
				·					I.	L	

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び 高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。 (専攻科及び別科を除く)。
 - ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている 場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を 記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附帯事項	等	履行状況		今後の の実施計画
	・完程を関する性が、では、、では、、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	留意事項	総合政策学科では、12名 の専任教員に対して、3名の 教員が完成年度前に定年年 齢を超えることとなる。た だし、その他の教員の年齢 は各年代に分散しており、 編制上均衡を維持してい る。(29)	履行中	該当する3名の担当分野について、完成年度までには計画的に募集を行い充当する。その際、学科内の教員の年齢構成に留意し、組織編制の適正化を図る。(29)
認可時(平成29年)	・人一を発生している。 ・人のでは、というでは、 ・人のでは、というでは、 ・人のでは、 ・んの	留意事項	平成29年度の人間科学部 コミュニケーション学科の 入学者数は前年の36名から 43名に増加したものの、 学定員充足率は0.61に止 学定った。 カリとまでが、カリキュー、 キュラ、入学定員を80名か 70名に変更している。 (29)	履行済	では実ど験視のすにの 29年にかります。 では、シャーのでは、 では、シャーのでは、 では、シャーのでは、 では、シャーのでは、 では、シャーのでは、 では、シャーのでは、 では、シャーのでは、 では、、 では、、 では、、 では、、 でいでも、 でいでも、 でいでも、 でいでも、 でいでも、 でいでも、 でいでも、 でいでも、 でいでも、 でいでも、 でいでも、 でいでも、 でいでも、 でいでも、 でいでも、 でいでも、 でいでも、 でいでも、 でいがす上会校解の入 でいますに、 でいでも、 でいがすと、 でいでも、 でいがすと、 でいでも、 でいがする。 でいが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいががが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいがが、 でいががが、 でいがが、 でいがが、 でいががが、 でいがが、 でいがが、 でいがががががががががががががががががががががががががががががががががががが
	・総合政策学部法律行政学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となってとから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見るしについて検討すること。	改善意見	総合政策学部法律行政学 科の平成30年度定員充足率 平均0.59倍であった。入学 者数は、29年度の39名から 平成30年度は50名で対前年 比128%と増加したものの留 意事項0.7倍には未達であっ た。(30)		設置2年目となり、広報活動による、学科の特色等の周知の効果も出ている活動の決を図る。また大会では表するとして、大会では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年)	・総合政策学部総合政策学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見しについて検討すること。	改善意見	総合政策学部総合政策学 科の平成30年度定員充足率 は0.7倍であった。入学者数 は、平成29年度の58名から 平成30年度は62名へと増加 した。(30)	履行済	
	・同一設置者が設置する既設書等(人間ション学のでは、 一般では、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 のでは、	改善意見	人間科学部コミュニケーション学科の平成30年度定員充足率は平均0.6倍であった。入学者数は平成29年度の43名から平成30年度は49名に増加し、単年度では0.7倍に達したものの、平均で未達であった。(30)	履行済	グローバルコミュニケーション領域に関する周のでは、 ・ はないでは、 ・ はないではないではないでは、 ・ はないではないではないではないではないではないではないではないではないではないで

区 分	附帯事項等	履行状況	今後の の実施計画
前 宜 吋	・入学定員未充足の改善に努めること。(総:指摘事項 合政策学部法律行政学 (改善) 科)	総合政策学部法律行政学科 の令和元年度入学定員充足 率は、1.14倍であった。 (元) 履行済	

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。</u>) と、それに対する履行状況等について、 具体的に記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、<u>当該大学に付された指摘を</u> 全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。 その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<総合政策学部 総合政策学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	① 英語を中心とした語学教育に注力するため、既設学部とともに全学的に「語学科目」の配置を一部変更し、必修英語以外の語学科目はすべて選択科目とした。(別添「新旧対象表」参照)(29)
② 卒業要件(教育方法、履修指導方法及び卒業要件)	② 上記①の変更に伴い、「卒業要件」の内訳を一部変更 した。 (別添「新旧対象表」参照) (29)
	③ 学生の進路選択をより広範なものとすること等を目的として、「高等学校教諭一種免許状(公民)」の資格を取得するための教職課程認定申請と学則変更(平成30(2018)年度入学生より適用)を行った。(29)上記教職課程の認定を受けた(平成29年12月4日付29文科初第1143号)ことに伴い、「司書教諭」の資格を取得するための学則変更(平成30(2018)年度入学生より適用)を行った。(30)

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

「常磐大学ファカルティ・ディベロップメント委員会」を設置している。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

2018年度は5回開催。

委員会はの構成員は14名(うち教員13名)である。構成員の内訳は次のとおり。

- ·副学長(1名)
- ・各学部において各学科から選出された者(11名)
- ・総合講座委員会において委員のうちから選出された者(1名)
- ・学事センター統括【事務職員】(1名)
- c 委員会の審議事項等 ※「常磐大学ファカルティ・ディベロップメント委員会規程」第3条
 - ・FD(ファカルティ・ディベロップメント、以下同じ)に関する研究活動
- ・FD推進のための企画および実施に関すること
- ・FDに関する報告書等の作成に関すること
- その他FDの推進に関すること
- ② 実施状況
 - a 実施内容 b 実施方法 および c 開催状況(教員の参加状況含む)
 - 1) 授業アンケート

学生を対象に、授業の内容、教員や学生自身の授業に対する姿勢・取り組み、到達度等に関するアンケート調査を 実施。2018年度の実施状況等は次項③参照。

2) FDフォーラム

教職員を対象に、本学教員による講演や事例報告からなる集会を開催。2018年度は「新学習指導要領と大学入試改革」をテーマとして開催し、113名(専任教員58名〔全体の約46%〕、併設短期大学の専任教員4名および事務職員等51名)が参加。(開催日:2019年3月6日)

3)新任教員研修

新任教員を対象に、着任後直ちに必要となる業務に関するオリエンテーション等を実施。2018年度はFD委員2名および新任教員12名が参加。(実施日:2019年3月27日)

- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
- 1)授業アンケート 次項③参照。
- 2) FDフォーラム

フォーラムを通じて得た知見や情報を活用して、各教員が授業の充実や改善に取り組んでいる。2018年度は、今後本学へ入学する学生がどのような教育を受けて大学のスタート地点に立つのか、そして2020年度以降の大学入試改革に向けて本学にどのような取組みが求められるのか等について共通理解をはかるとともに、授業への活用に資する情報の共有等に取り組んだ。

3)新任教員研修

新任教員が本学における業務をスムーズに遂行できるよう、現在は学内諸業務への円滑な導入に重点を置いた内容となっている。今後は授業改善の視点も加えながら運営の充実や改善に取り組む必要がある。

- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期

実施の有無:有/実施時期:春セメスターまたは秋セメスターの期末(年1回)

b 教員や学生への公開状況,方法等

授業科目ごとの評価結果を授業担当教員にフィードバックするとともに、集計結果をまとめた「報告書」を作成し 学内で閲覧できるようにしている。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

「該当なし」

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

総合政策学部設置の目的は、地方創生の役割を担い、現代社会が直面する諸問題の解決策を提案できる実践的な能力を備えた人材を養成することである。

開設3年目となる2019(令和元)年度においても、学部および各学科のアドミッションポリシーに基づき、事前に計画した入学者選抜方法により入試を実施し、入学生を迎え入れた。すべての学科で入学定員を超える学生を確保することができたので、学生確保という点において目的は達成できている。

今後も設置計画に基づいて確実に教育課程を実施するとともに、学科の特色の周知等をはじめとする広報活動についても一層の推進を図る。

- ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表 (予定) 時期
 - ・令和5年5月1日までに公表
 - b 公表方法
 - ・自己点検・評価報告書を刊行し、関係諸機関、役員および教職員等に配付予定
 - ・本学ホームページ上(http://www.tokiwa.ac.jp/tokiwa/report/index.html)に公開予定
- ③ 認証評価を受ける計画

令和5年度までに評価機関(公益財団法人大学基準協会)の評価を受けるべく、学内で検討中。なお、本学は、平成28 (2016)年度に公益財団法人大学基準協会による大学評価(認証評価)を受審した。評価の結果、本学は同協会の大学 基準に適合していると認定された。認定の期間は令和6(2024)年3月31日までとなる。 (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。 また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を 含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

0	設置計画履行状況報告書(令和元年度)					
0	設置計画履行状況報告書					
а	ホームページへの公表予定の有無	(有 ·	無)	
b	公表有の場合の公表(予定)時期	(令和元 年 7	月 1	日)
b	公表無の場合の特段の理由()		

(注) · 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。